

---

久喜市子育て支援に関するアンケート調査  
久喜市子どもの生活に関する調査  
結果報告書（案）

---

令和6年7月  
久喜市



# 目次

1. 調査の概要.....	1
1.1 調査の目的.....	1
1.2 実施概要.....	1
1.3 回収結果.....	1
1.4 報告書の見方.....	1
2. 子ども・子育て支援施策に関するアンケート調査結果.....	2
2.1 子どもと家族の状況.....	2
2.2 定期的な教育・保育事業の利用と地域子ども・子育て支援事業の利用状況（就学前 児童保護者）.....	4
2.3 不定期的な教育・保育事業の利用.....	21
2.4 放課後の過ごし方（来年度就学児・小学生保護者）.....	26
2.5 保護者の就労状況・職場の両立支援.....	32
2.6 子どもの育ちを取り巻く環境.....	38
2.7 アンケート結果から見える現状・課題.....	41
3. 子どもの生活に関する調査結果.....	42
3.1 保護者.....	43
3.2 小・中学生.....	73
3.3 アンケート結果から見える現状・課題.....	93
4. 資料（クロス集計表など）	



# 1. 調査の概要

## 1.1 調査の目的

久喜市のこどもと子育て家庭の状況を把握するとともに、市の子育て支援施策等のニーズを把握し、「子ども子育て支援事業計画」や「子どもの貧困対策推進計画」を包含した「久喜市こども計画」の策定及び市の子育て支援施策・こども・若者支援施策の検討のための基礎資料とするため、本調査を実施しました。

## 1.2 実施概要

	対象者	調査期間	調査方法
子ども・子育て支援施策に関するアンケート調査	就学前児童保護者：2,000件	令和6年2月2日～ 令和6年2月22日	郵送により配布、webによる回答・一部郵送により回収
	小学1・2年生保護者：700件		
子どもの生活に関する調査	小学5年生保護者：1,033件 中学2年生保護者：1,028件	令和6年2月7日～ 令和6年2月22日	
	小学5年生本人：1,033件 中学2年生本人：1,028件		

## 1.3 回答結果

対象者	配布数	有効回答数	有効回答率	
子ども・子育て支援施策に関するアンケート調査				
就学前児童保護者	2,000	1,402	70.1%	
小学1・2年生保護者	700	507	72.4%	
子どもの生活に関する調査				
小学5年生保護者	市実施	1,033	707	68.4%
	県実施	-	71	-
中学2年生保護者	市実施	1,028	431	41.9%
	県実施	-	36	-
小学5年生本人	市実施	1,033	981	95.0%
	県実施	-	71	-
中学2年生本人	市実施	1,028	883	85.9%
	県実施	-	36	-

## 1.4 報告書の見方

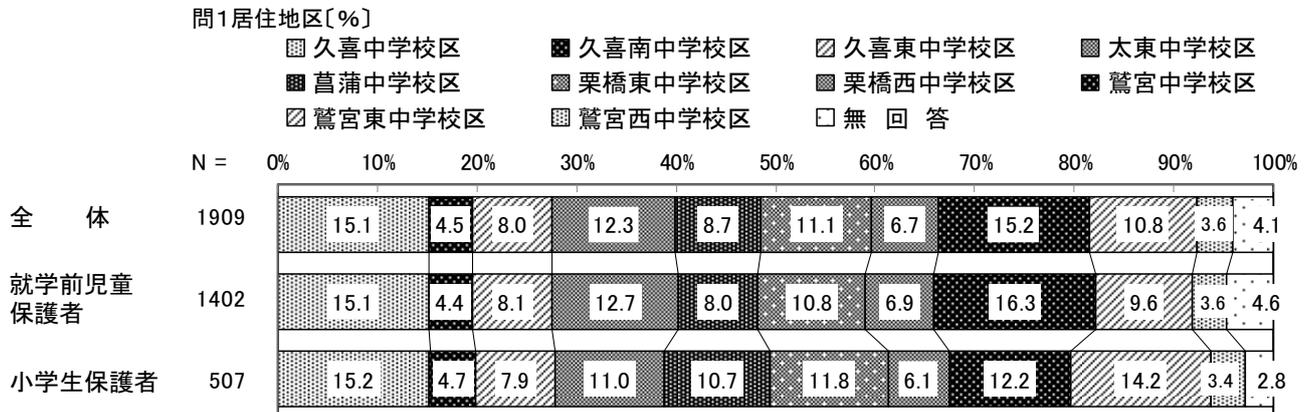
- ・調査結果の数値は、各問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で表記しています。ただし、経年変化等の母数が異なるものを比較する場合は、割合の差（ポイント）で表記しています。
- ・集計は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表記しています。このため、回答比率の合計が100.0%にならない場合があります。また、複数回答可の質問では、回答者数（N）に対する回答比率のため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・本報告書では、設問や選択肢の番号及び文言を一部省略しているところがあります。
- ・回答者数が少ないものについては、参考値として示しているところがあります。
- ・◆のある記述は、クロス集計結果となります。詳細は、4. 資料の図表をご参照ください。

## 2. 子ども・子育て支援施策に関するアンケート調査結果

### 2.1 子どもと家族の状況

問1 お住まいの地区は次のうちどちらですか。＜共通＞

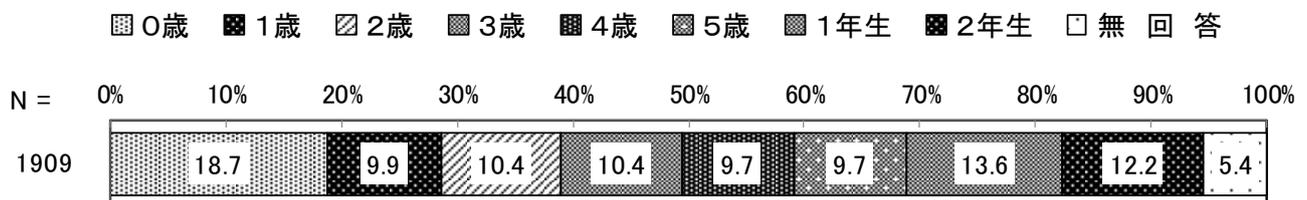
全体では、「鷺宮中学校区」が15.2%、「久喜中学校区」が15.1%、「太東中学校区」が12.3%となっています。



問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。＜共通＞

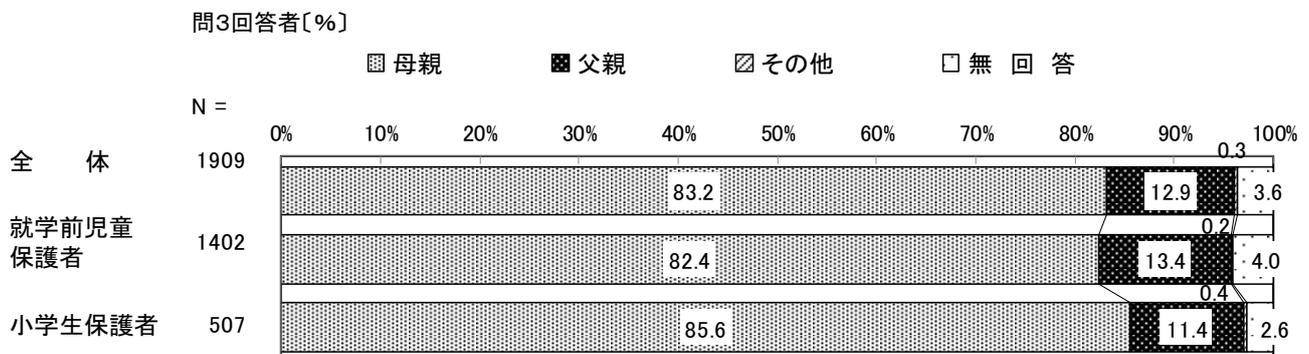
全体では、「0歳」が18.7%と多く、次いで「1年生」が13.6%、「2年生」が12.2%となっています。

問2子どもの年齢・学年[%]



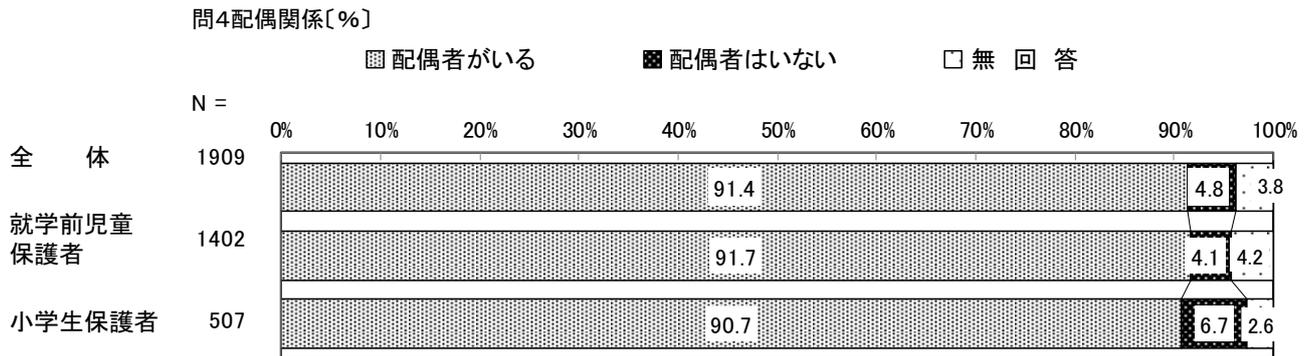
問3 この調査にご回答いただく方はどなたですか。＜共通＞

全体では、「母親」が83.2%、「父親」が12.9%となっています。



問4 この調査にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。＜共通＞

全体では、「配偶者がいる」が91.4%、「配偶者はいない」が4.8%となっています。



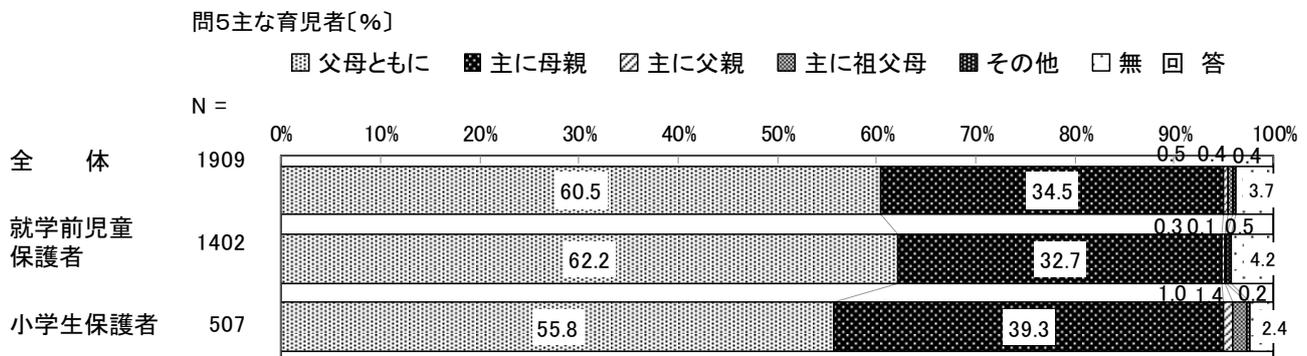
問5 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方をお答えください。＜共通＞

全体では、「父母ともに」が60.5%と多く、「主に母親」が34.5%、「主に父親」が0.5%となっています。

就学前保護者は、前回調査より「父母ともに」が62.2%（前回52.5%）と9.7ポイント増え、「主に母親」が32.7%（前回44.6%）と11.9ポイント減っており、小学生保護者は「父母ともに」が55.8%（前回55.8%）と前回同様となっています。

◆配偶者の有無別では、配偶者はいない回答者で「主に母親」が78.3%となっています。

◆保護者の就業状況別では、「主に母親」は共働きでない世帯で44.7%、その他の世帯で41.9%となっています。（図表2-1）



## 2.2 定期的な教育・保育事業の利用と地域子ども・子育て支援事業の利用状況 (就学前児童保護者)

問6 宛名のお子さんは、①現在「定期的に」以下の事業を利用していますか。また、②今後、「定期的に」利用したいですか。

### ①定期的に利用している教育・保育事業

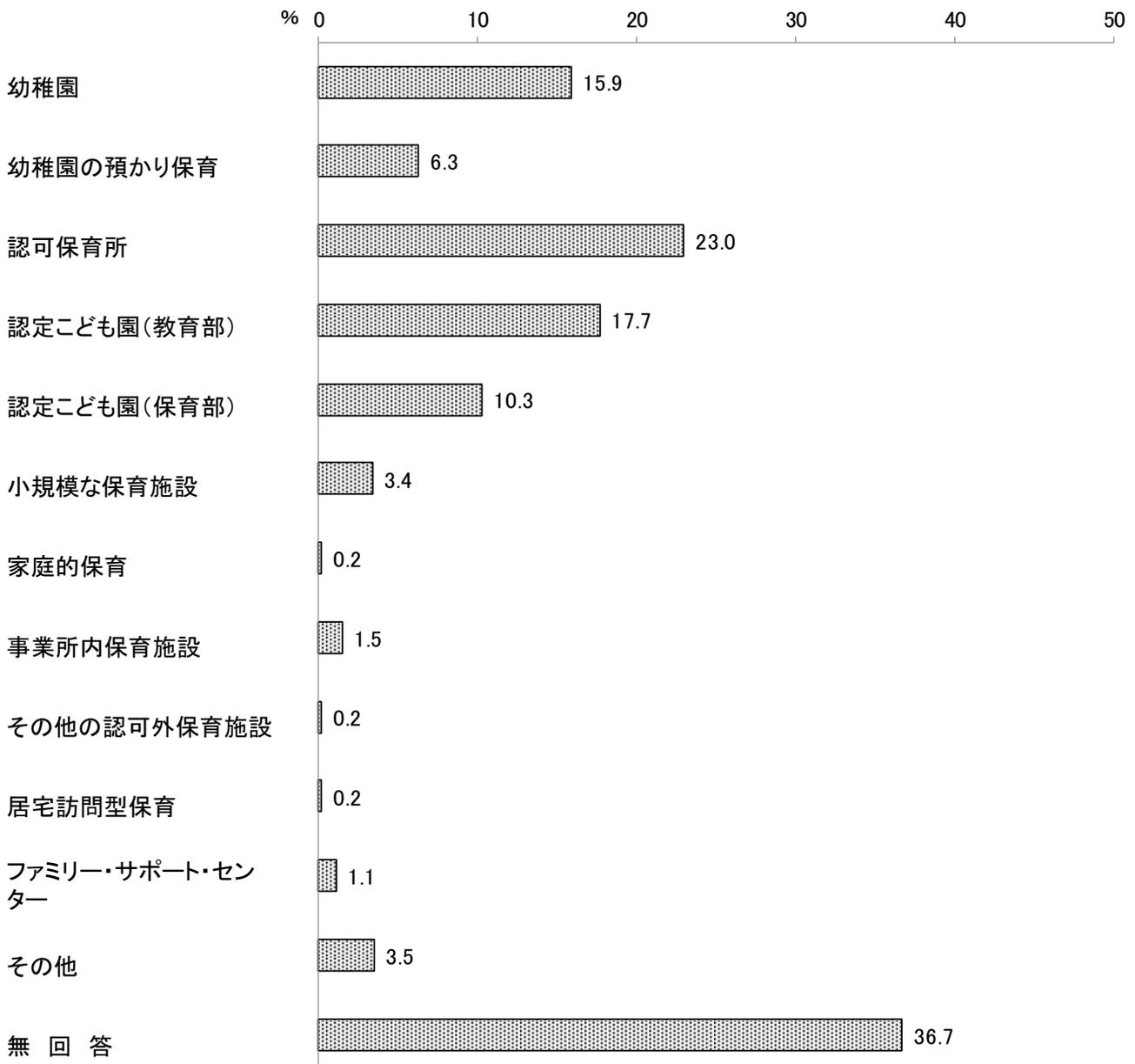
全体では、「認可保育所」が23.0%（前回36.1%）と多く、次いで「認定こども園（教育部）」が17.7%（前回「認定こども園」で34.5%）、「幼稚園」が15.9%となっています。一部選択肢が異なりますが、前回調査より「認可保育所」が13.1ポイント減っています。

◆地区別では、「認可保育所」は鷲宮西中学校校区と栗橋西中学校校区で30%を超え、「認定こども園（教育部）」と「幼稚園」は太東中学校校区でそれぞれ27.5%、21.3%となっています。

◆保護者の就業状況別では、共働き世帯で「認可保育所」が32.0%、共働きでない世帯で「幼稚園」が31.4%、「認定こども園（教育部）」が26.8%と多くなっています。（図表2-2）

問6①定期的に利用している教育・保育事業〔%・複数回答〕

N = 1402



②今後、「定期的に」利用を希望したい教育・保育事業

○平日

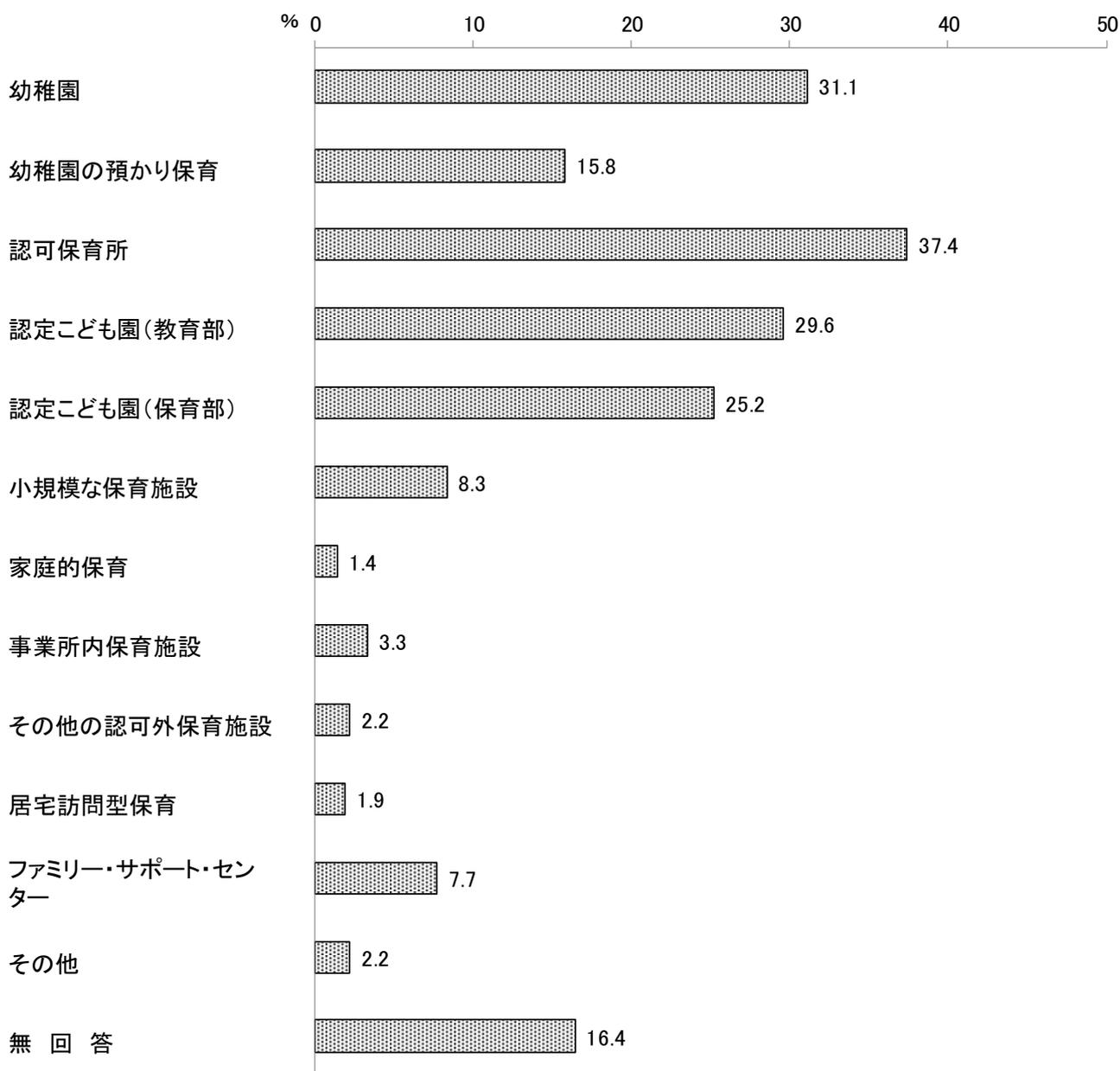
全体では、「認可保育所」が37.4%、「幼稚園」が31.1%（前回46.2%）、「認定こども園（教育部）」が29.6%、「認定こども園（保育部）」が25.2%（前回「認定こども園」で46.3%）となっています。一部選択肢が異なりますが、前回調査より「幼稚園」が15.1ポイント減っています。

◆保護者の就業状況別では、共働き世帯で「認可保育所」が50.1%、共働きでない世帯で「幼稚園」が60.6%、「認定こども園（教育部）」が42.5%となっています。

◆保育サービス等利用別では、利用なしの回答者で「幼稚園」が39.4%、「認定こども園（保育部）」が36.7%、「小規模な保育施設」が16.5%とやや多くなっています。（図表2-3）

問6②平日に希望する教育・保育事業〔%・複数回答〕

N = 1402

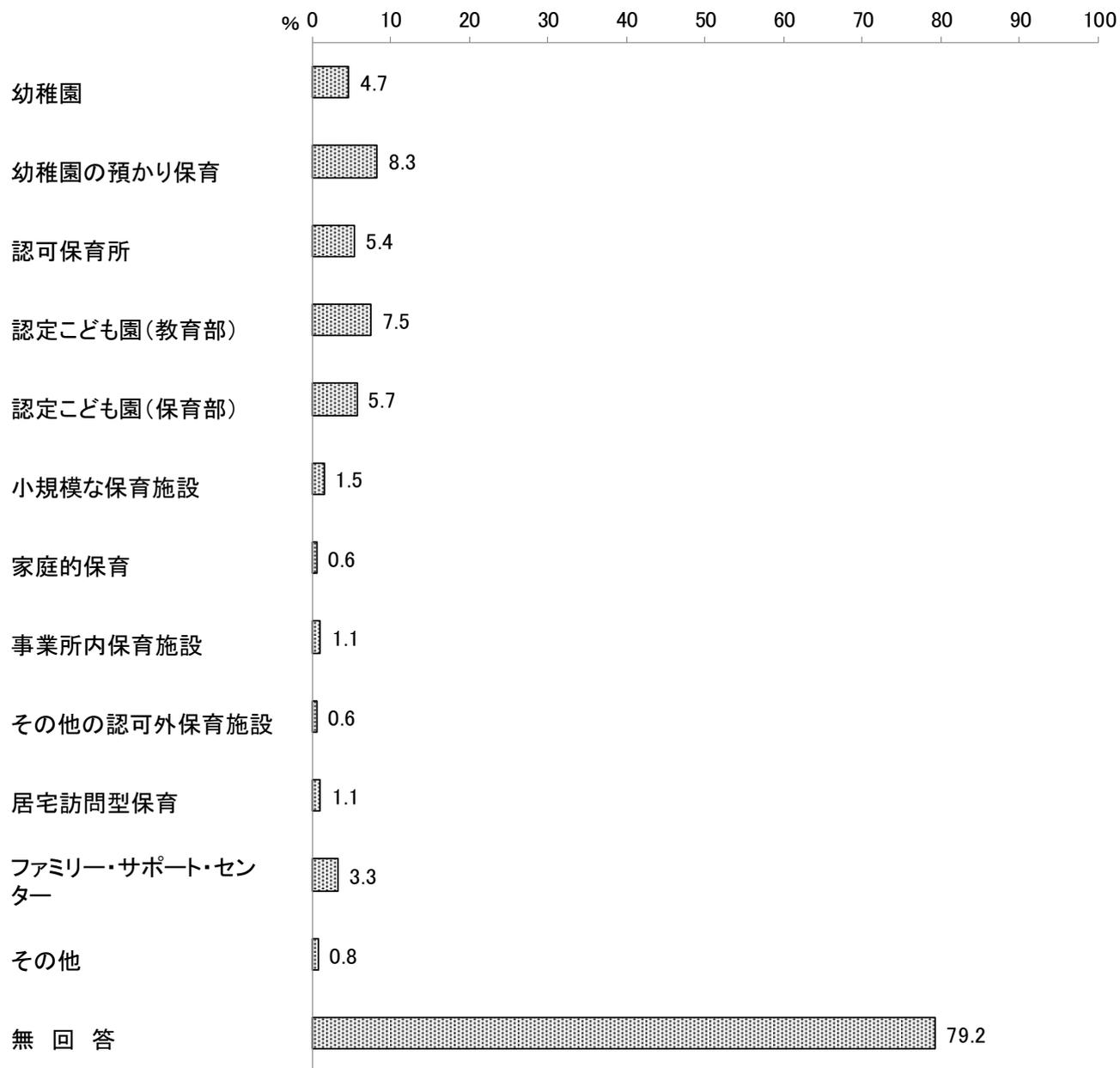


○長期休暇中

全体では、「幼稚園の預かり保育」が 8.3%、「認定こども園（教育部）」が 7.5%、「認定こども園（保育部）」が 5.7%となっています。

問6②長期休暇期間中に希望する教育・保育事業[%・複数回答]

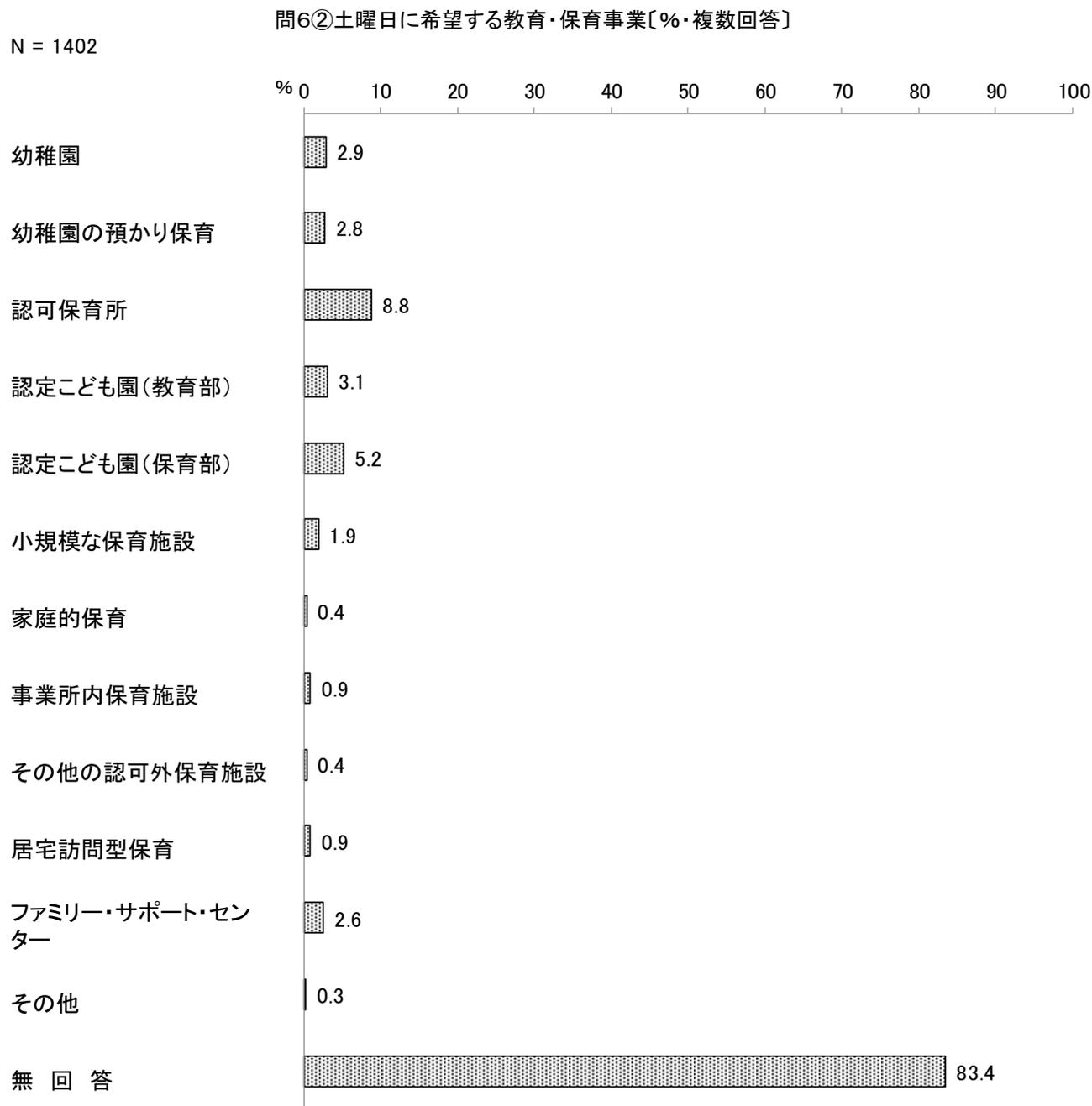
N = 1402



○土曜日

全体では、「認可保育所」が 8.8%、「認定こども園（保育部）」が 5.2%、「認定こども園（教育部）」が 3.1%となっています。

◆配偶者の有無別では、配偶者はいないの回答者で「認可保育所」が 25.9%、「認定こども園（保育部）」が 15.5%となっています。（図表 2-4）

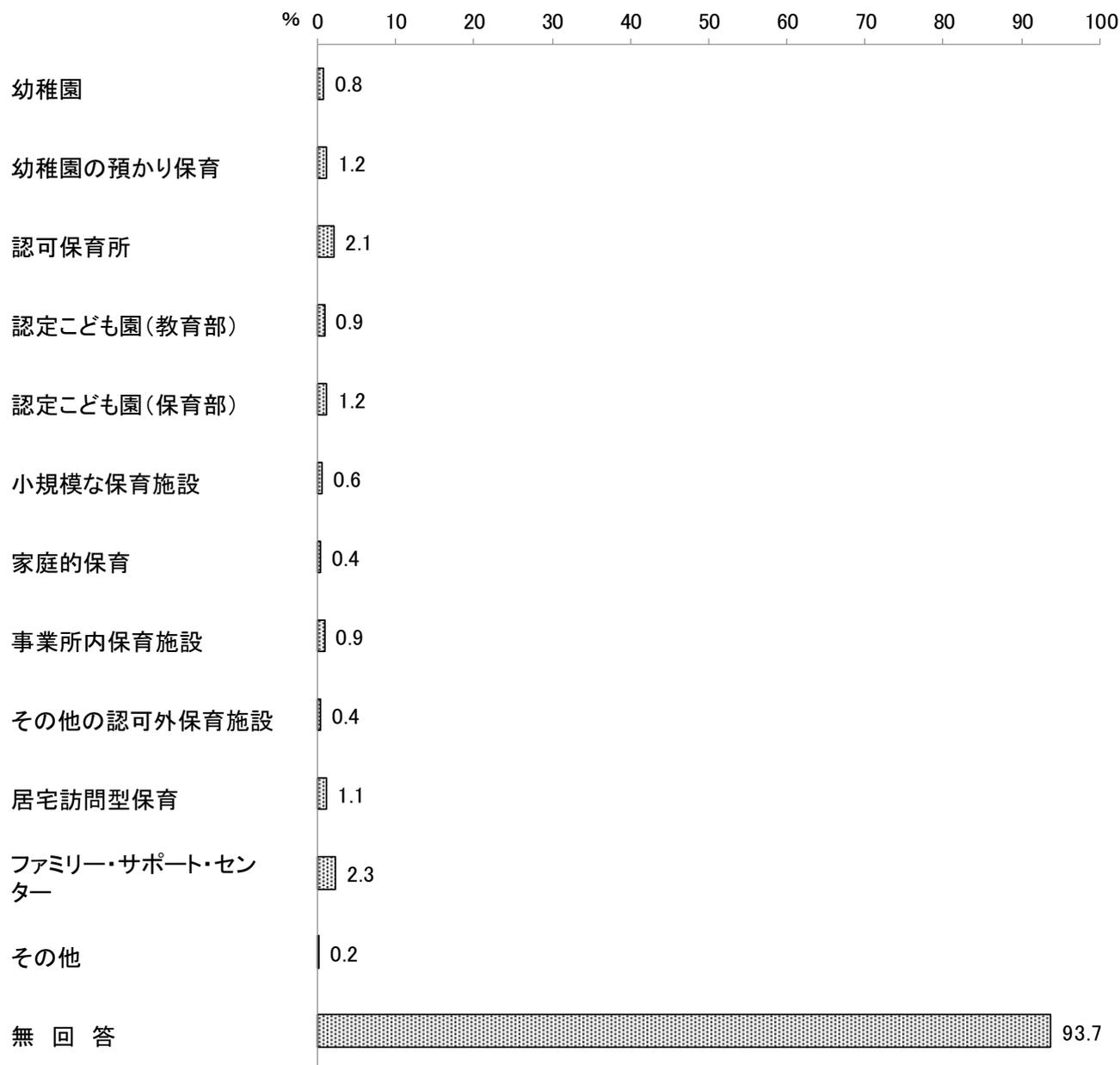


○日曜日・祝日

全体では、「ファミリー・サポート・センター」が2.3%、「認可保育所」が2.1%、「幼稚園の預かり保育」と「認定こども園（保育部）」が1.2%となっています。

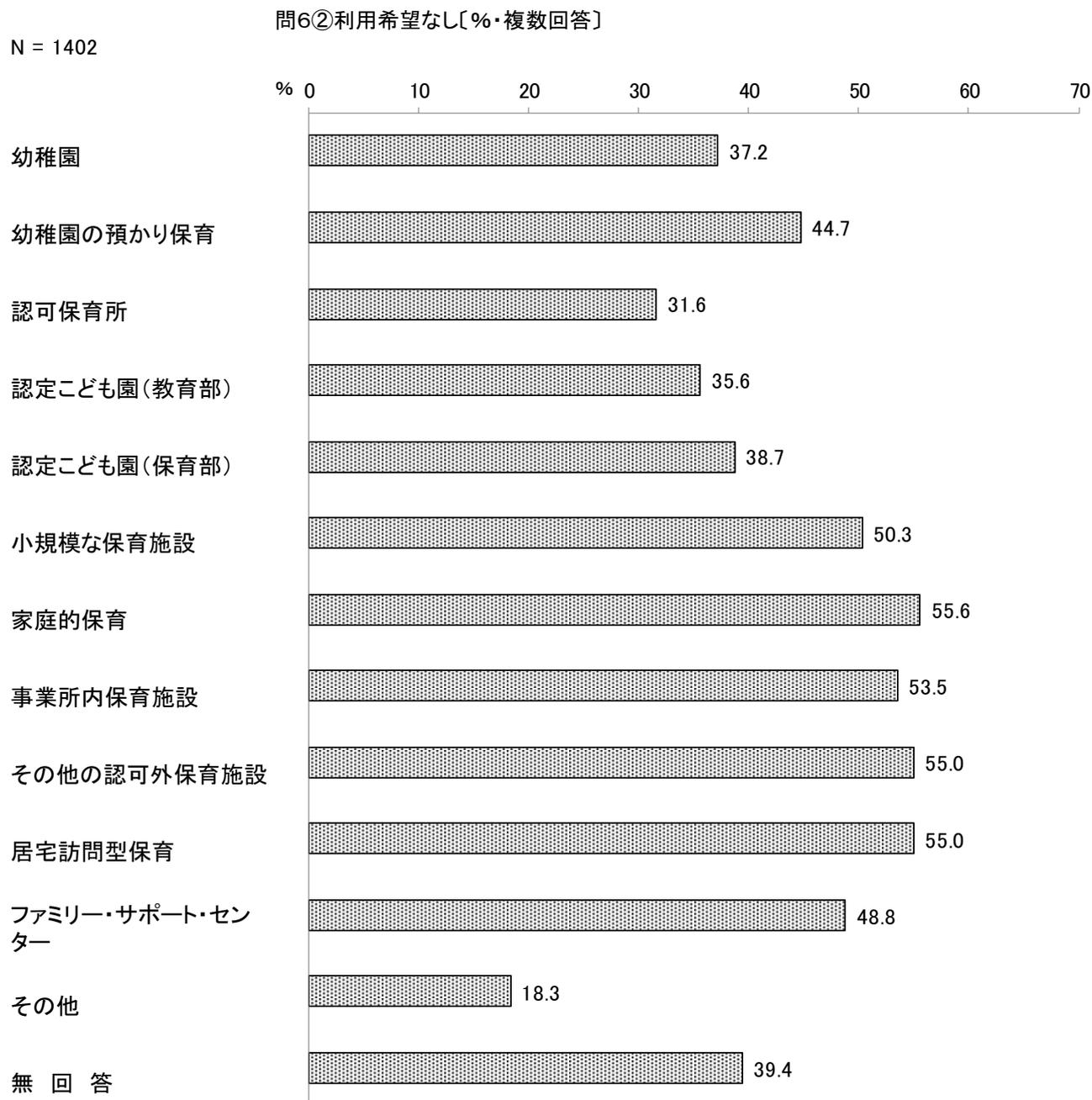
問6②日曜日・祝日に希望する教育・保育事業[%・複数回答]

N = 1402



○希望なし

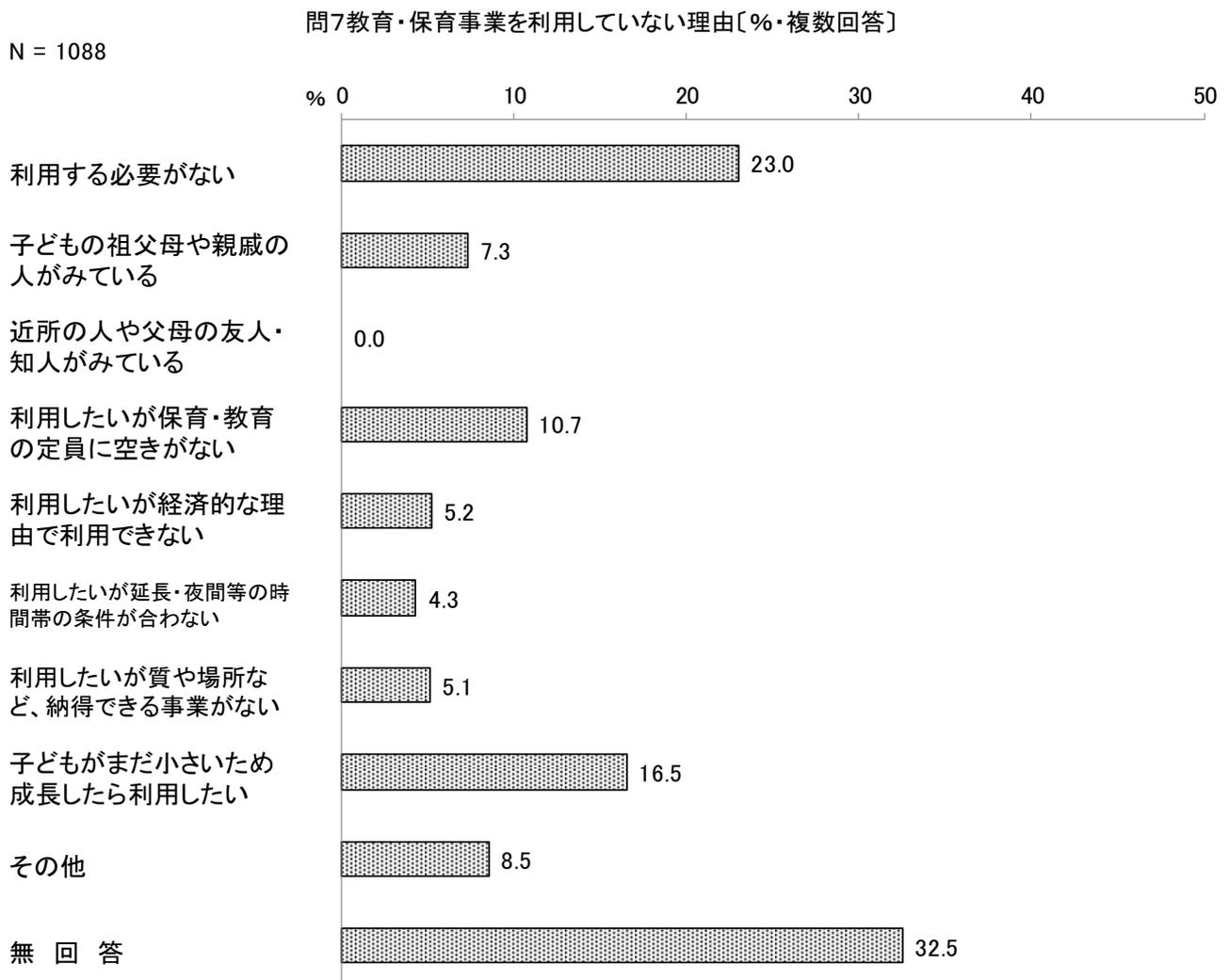
全体では、「家庭的保育」が 55.6%、「その他の認可外保育施設」と「居宅訪問型保育」がともに 55.0%、「事業所内保育施設」が 53.5%となっています。



問7 教育・保育事業を利用していない理由は何ですか。(問6で1つでも「利用していない」を選んだ方)

全体では、「利用する必要がない」が 23.0%と、次いで「子どもがまだ小さいため成長したら利用したい」が 16.5%、「利用したいが保育・教育の定員に空きがない」が 10.7%となっています。

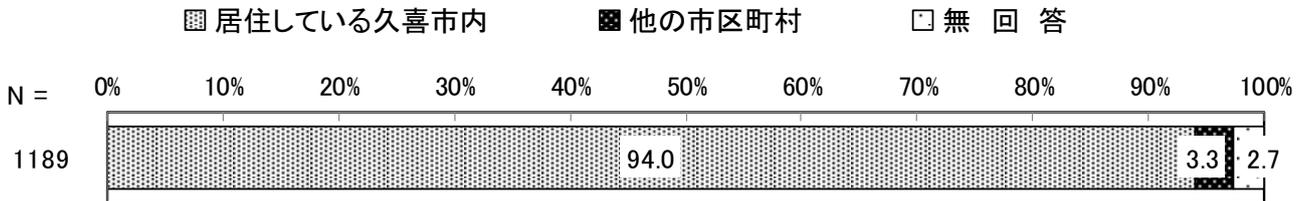
◆保護者の就業状況別では、共働きでない世帯で「利用する必要がない」が 41.6%と多くなっています。(図表 2-5)



問8 教育・保育事業を利用したい場所をお答えください。(問6で1つでも平日、お子さんの長期休暇期間中、土曜日、日曜・祝日を選んだ方)

全体では、「居住している久喜市内」が94.0%、「他の市区町村」が3.3%となっています。

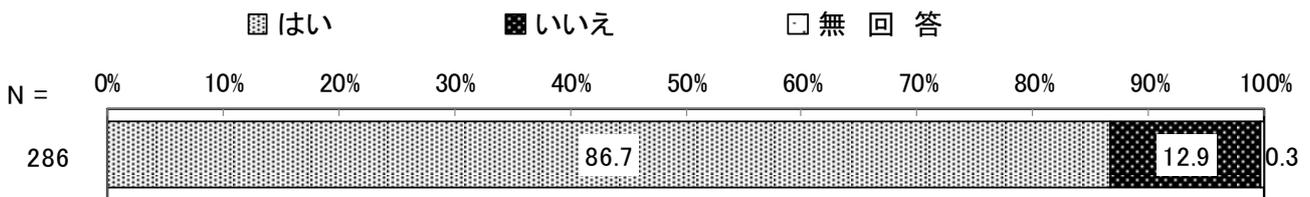
問8教育・保育事業を利用したい場所[%]



問9 特に幼稚園・認定こども園(教育部)の利用を強く希望しますか。(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)

全体では、「はい」が86.7%(前回68.7%)、「いいえ」が12.9%(前回24.7%)となっています。前は認定こども園(教育部)を設問に含めていませんが、前回調査より「はい」が18.0ポイント増え、「いいえ」が11.8ポイント減っています。

問9幼稚園・認定こども園(教育部)の強い利用希望[%]



問10 国が検討している「こども誰でも通園制度(仮称)」が創設された場合、仮に月10時間まで定期的に利用が可能だとしたら、利用したいと思いますか。

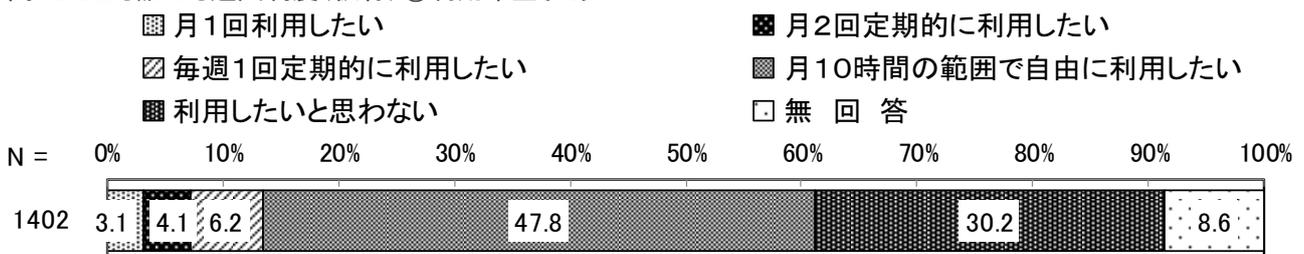
①利用希望

全体では、「月10時間の範囲で自由に利用したい」が47.8%と多く、「利用したいと思わない」が30.2%、「毎週1回定期的に利用したい」が6.2%となっています。

◆地区別では、太東中学校区で「月10時間の範囲で自由に利用したい」が60.1%と多くなっています。

◆配偶者の有無別では、配偶者はいない回答者で「月10時間の範囲で自由に利用したい」が56.9%と多くなっています。(図表2-6)

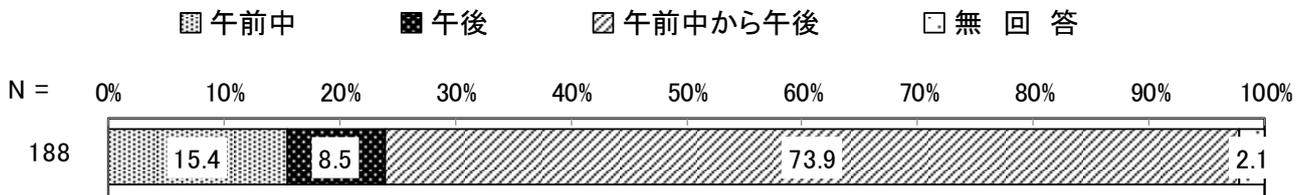
問10こども誰でも通園制度(仮称)①利用希望[%]



## ②利用希望時間帯

全体では、「午前中から午後」が73.9%と多く、「午前中」が15.4%、「午後」が8.5%となっています。

問10子ども誰でも通園制度(仮称)②利用希望時間帯[%]



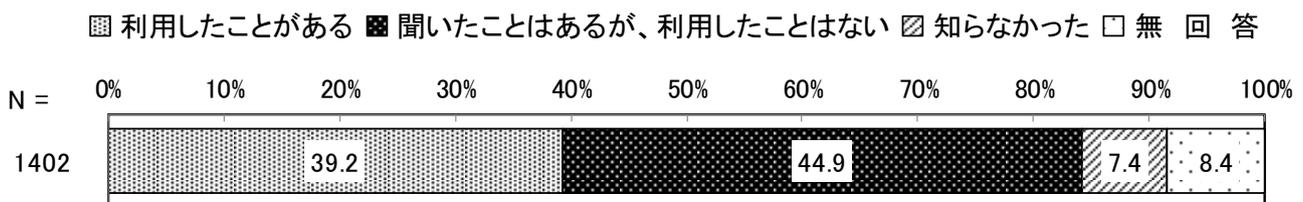
## 問13 現在、以下の地域子ども・子育て支援事業を行っています。

### ①利用歴

#### 1. ママ・パパ教室

全体では、「聞いたことはあるが、利用したことはない」が44.9%、「利用したことがある」が39.2%、「知らなかった」が7.4%となっています。

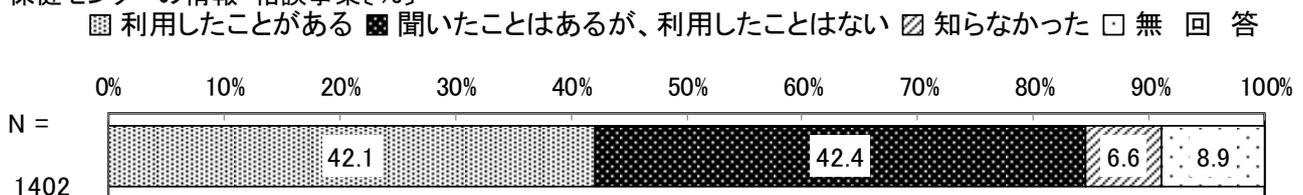
ママ・パパ教室[%]



#### 2. 保健センター（子育て世代包括支援センター）の情報・相談事業

全体では、「聞いたことはあるが、利用したことはない」が42.4%、「利用したことがある」が42.1%、「知らなかった」が6.6%となっています。

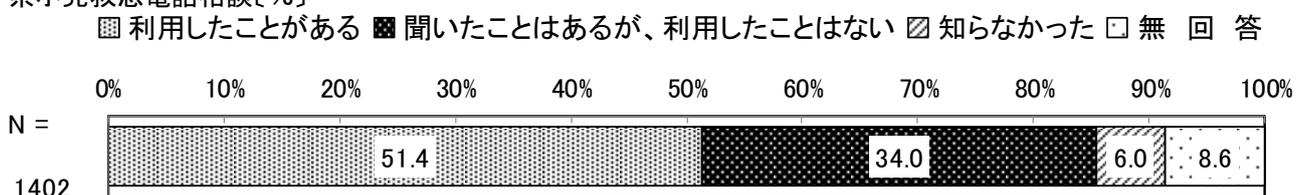
保健センターの情報・相談事業[%]



#### 3. 埼玉県小児救急電話相談（#8000）

全体では、「利用したことがある」が51.4%と多く、「聞いたことはあるが、利用したことはない」が34.0%、「知らなかった」が6.0%となっています。

県小児救急電話相談[%]

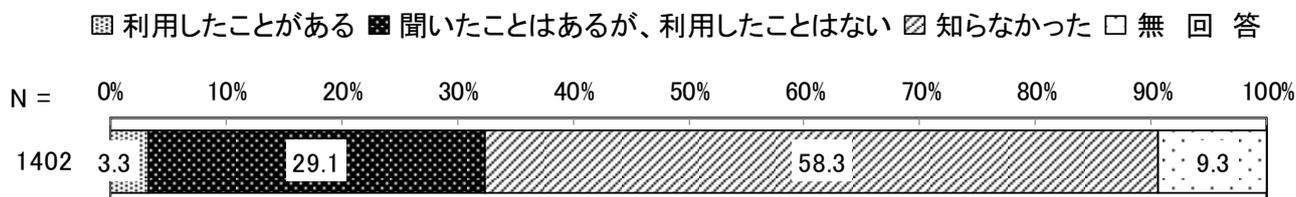


#### 4. 家庭教育に関する学級・講座

全体では、「知らなかった」が 58.3%と多く、「聞いたことはあるが、利用したことはない」が 29.1%、「利用したことがある」が 3.3%となっています。

◆保護者の就業状況別では、共働きでない世帯で「知らなかった」が 69.7%と多くなっています。(図表 2-7)

家庭教育に関する学級・講座[%]



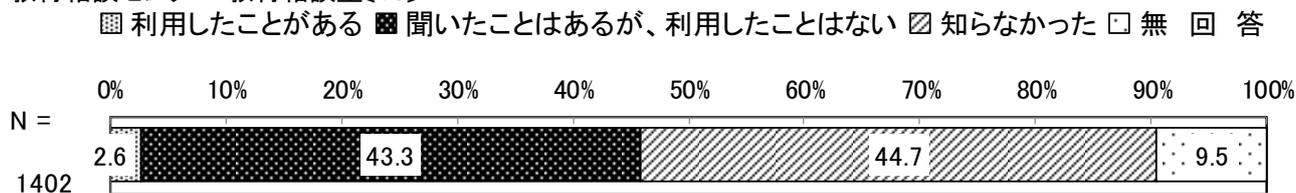
#### 5. 教育相談センター・教育相談室

全体では、「知らなかった」が 44.7%、「聞いたことはあるが、利用したことはない」が 43.3%と多く、「利用したことがある」が 2.6%となっています。

◆地区別では、久喜東中学校区で「知らなかった」が 53.1%となっています。(図表 2-8)

◆保護者の就業状況別では、共働きでない世帯で「知らなかった」が 56.4%となっています。(図表 2-9)

教育相談センター・教育相談室[%]

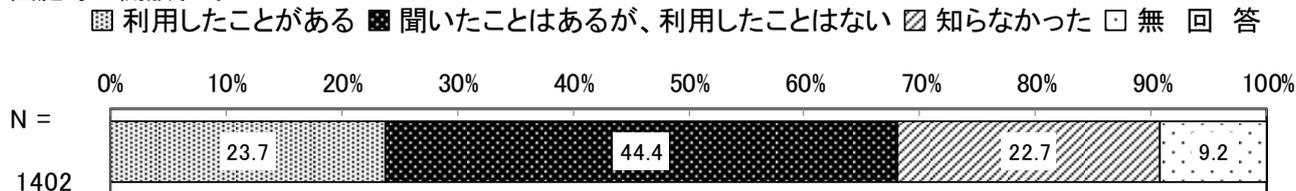


#### 6. 幼稚園の園庭等の開放

全体では、「聞いたことはあるが、利用したことはない」が 44.4%と多く、「利用したことがある」が 23.7%、「知らなかった」が 22.7%となっています。

◆配偶者の有無別では、配偶者はいない回答者で「知らなかった」が 43.1%と多くなっています。(図表 2-10)

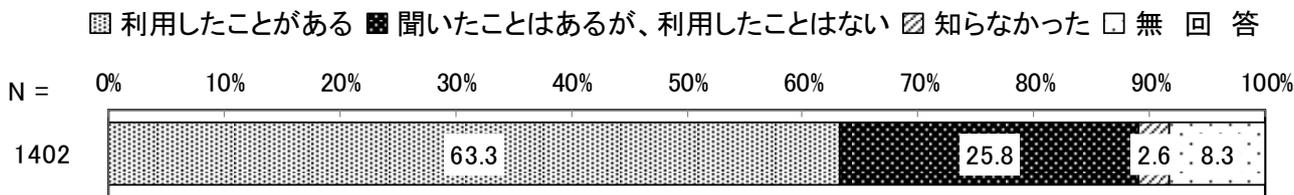
園庭等の開放[%]



## 7. 子育て支援センター・児童館・児童センター

全体では、「利用したことがある」が 63.3%と多く、「聞いたことはあるが、利用したことはない」が 25.8%、「知らなかった」が 2.6%となっています。

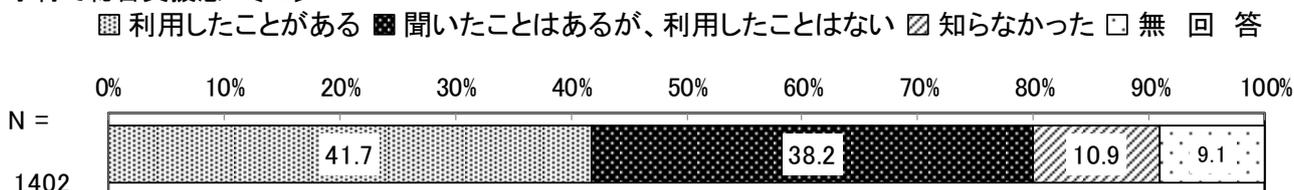
### 子育て支援センター・児童館等[%]



## 8. 子育て総合支援窓口（子ども未来課）

全体では、「利用したことがある」が 41.7%、「聞いたことはあるが、利用したことはない」が 38.2%と多く、「知らなかった」が 10.9%となっています。

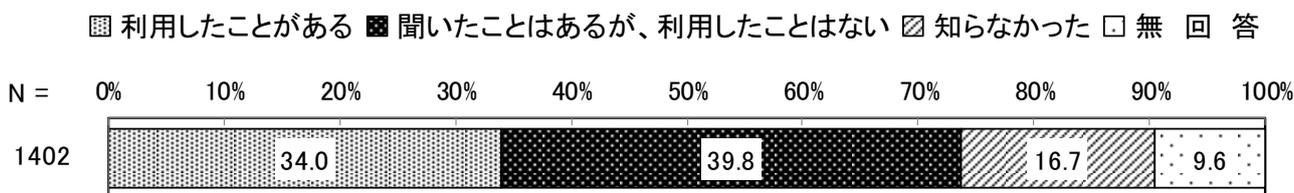
### 子育て総合支援窓口[%]



## 9. 子育てガイドブック

全体では、「聞いたことはあるが、利用したことはない」が 39.8%、「利用したことがある」が 34.0%と多く、「知らなかった」が 16.7%となっています。

### 子育てガイドブック[%]



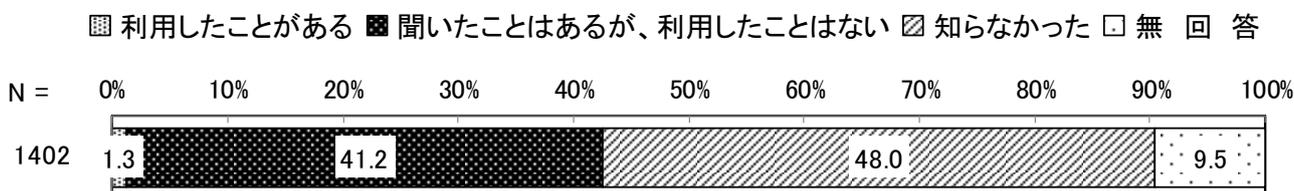
## 10. 子育て支援ホームヘルパー派遣事業

全体では、「知らなかった」が 48.0%、「聞いたことはあるが、利用したことはない」が 41.2%と多く、「利用したことがある」が 1.3%となっています。

◆地区別では、鷺宮西中学校区で「知らなかった」が 62.7%と多くなっています。

◆配偶者の有無別では、配偶者はいない回答者で「知らなかった」が 63.8%と多くなっています。（図表 2-11）

### 子育て支援ホームヘルパー派遣事業[%]



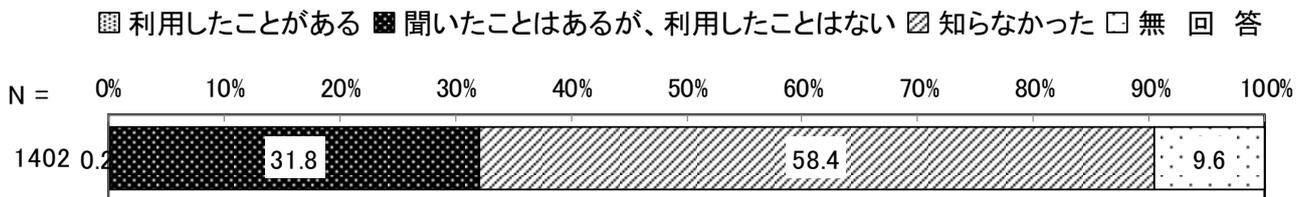
### 11. 子どものショートステイ事業

全体では、「知らなかった」が 58.4%と多く、「聞いたことはあるが、利用したことはない」が 31.8%、「利用したことがある」が 0.2%となっています。

◆地区別では、鷺宮西中学校区で「知らなかった」が 68.6%と多くなっています。

◆配偶者の有無別では、配偶者はいない回答者で「知らなかった」が 67.2%と多くなっています。(図表 2-12)

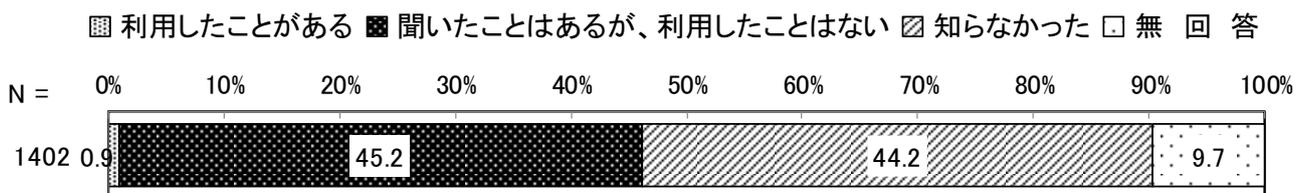
子どものショートステイ事業[%]



### 12. 家庭児童相談室

全体では、「聞いたことはあるが、利用したことはない」が 45.2%、「知らなかった」が 44.2%と多く、「利用したことがある」が 0.9%となっています。

家庭児童相談室[%]



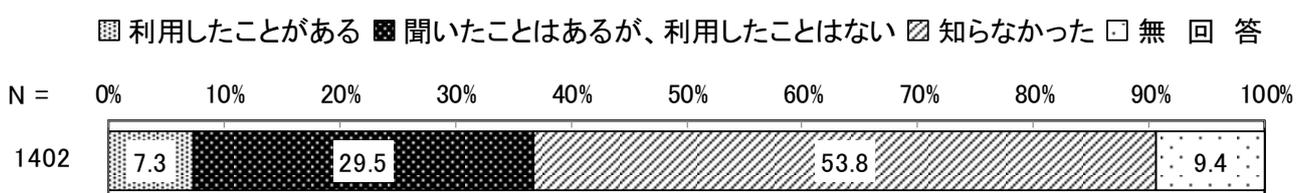
### 13. 子育て支援情報メール配信

全体では、「知らなかった」が 53.8%と多く、「聞いたことはあるが、利用したことはない」が 29.5%、「利用したことがある」が 7.3%となっています。

◆配偶者の有無別では、配偶者はいない回答者で「知らなかった」が 69.0%と多くなっています。

◆保護者の就業状況別では、共働きでない世帯で「知らなかった」が 63.8%と多くなっています。(図表 2-13)

子育て支援情報メール配信[%]

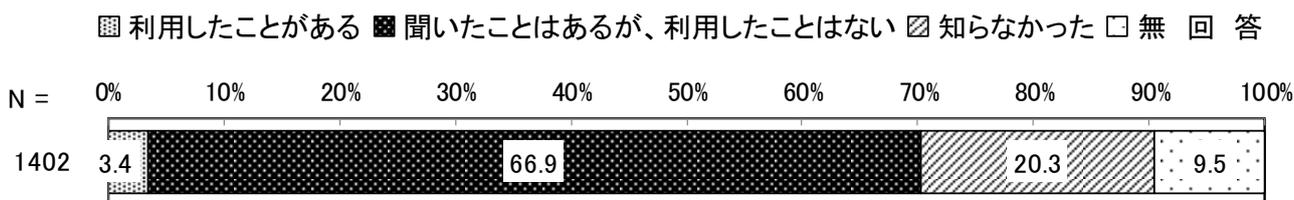


### 14. ファミリー・サポート・センター

全体では、「聞いたことはあるが、利用したことはない」が 66.9%と多く、「知らなかった」が 20.3%、「利用したことがある」が 3.4%となっています。

◆配偶者の有無別では、配偶者はいない回答者で「知らなかった」が 31.0%と多くなっています。(図表 2-14)

ファミリー・サポート・センター[%]

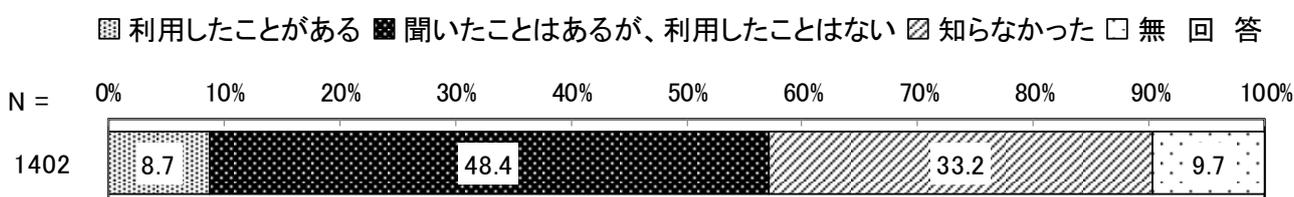


15. 子育て案内所えんむすび

全体では、「聞いたことはあるが、利用したことはない」が48.4%と多く、「知らなかった」が33.2%、「利用したことがある」が8.7%となっています。

◆配偶者の有無別では、配偶者はいない回答者で「知らなかった」が46.6%と多くなっています。(図表 2-15)

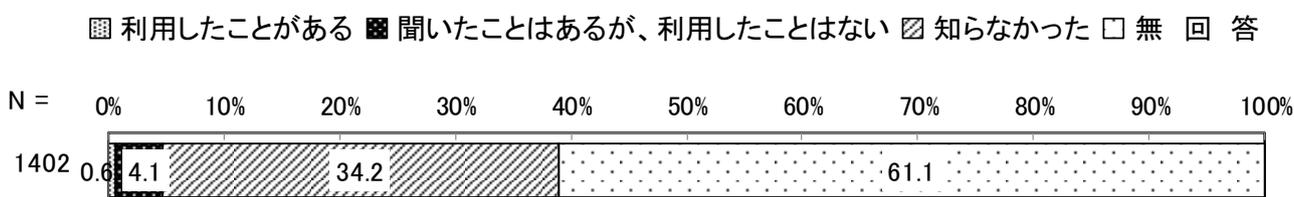
子育て案内所えんむすび[%]



16. その他

全体では、「知らなかった」が34.2%と多く、「聞いたことはあるが、利用したことはない」が4.1%、「利用したことがある」が0.6%となっています。

その他[%]



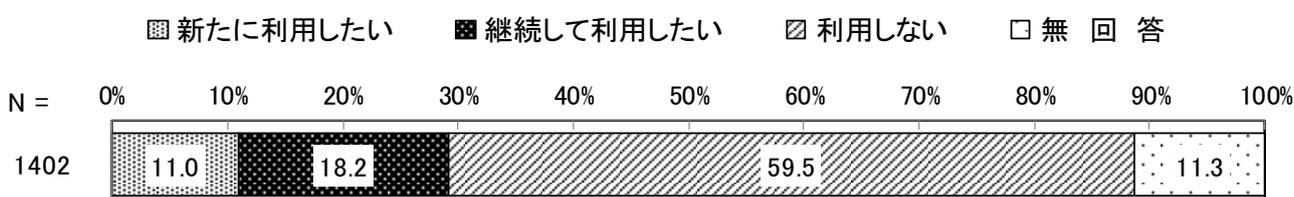
②今後の利用意向

1. ママ・パパ教室

全体では、「利用しない」が59.5%と多く、「継続して利用したい」が18.2%、「新たに利用したい」が11.0%となっています。

◆地区別では、久喜南中学校区で「新たに利用したい」が21.3%と多くなっています。(図表 2-16)

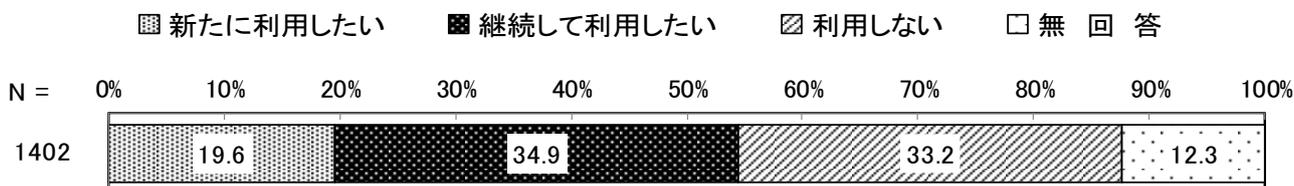
ママ・パパ教室[%]



## 2. 保健センター（子育て世代包括支援センター）の情報・相談事業

全体では、「継続して利用したい」が34.9%、「利用しない」が33.2%と多く、「新たに利用したい」が19.6%となっています。

保健センターの情報・相談事業[%]

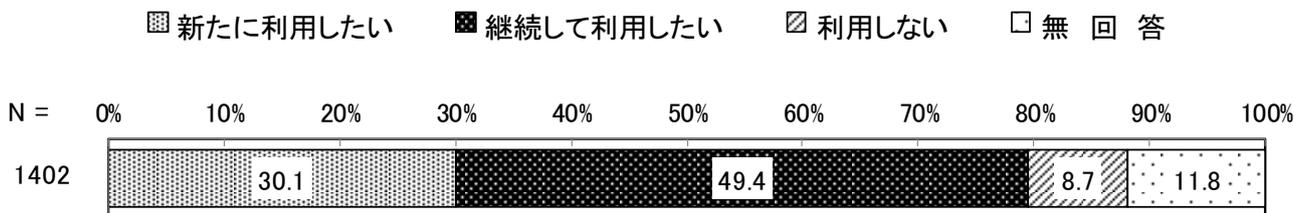


## 3. 埼玉県小児救急電話相談（#8000）

全体では、「継続して利用したい」が49.4%と多く、「新たに利用したい」が30.1%、「利用しない」が8.7%となっています。

◆配偶者の有無別では、配偶者はいない回答者で「新たに利用したい」が48.3%と多くなっています。（図表 2-17）

県小児救急電話相談[%]

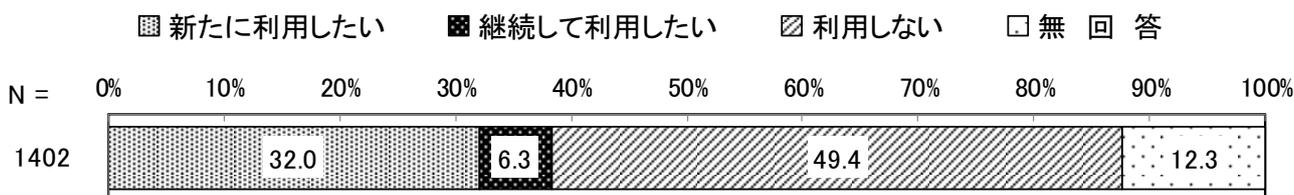


## 4. 家庭教育に関する学級・講座

全体では、「利用しない」が49.4%と多く、「新たに利用したい」が32.0%、「継続して利用したい」が6.3%となっています。

◆地区別では、久喜南中学校区で「新たに利用したい」が44.3%と多くなっています。（図表 2-18）

家庭教育に関する学級・講座[%]

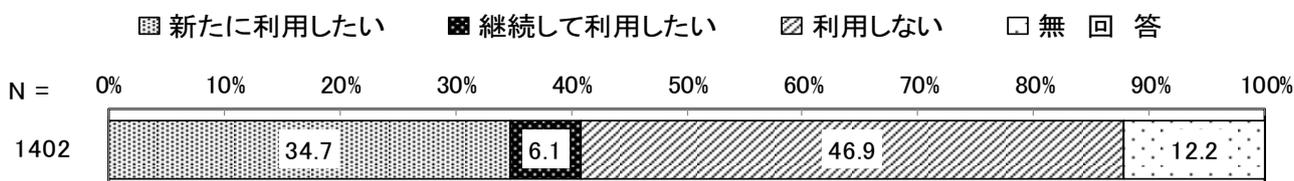


## 5. 教育相談センター・教育相談室

全体では、「利用しない」が46.9%と多く、「新たに利用したい」が34.7%、「継続して利用したい」が6.1%となっています。

◆地区別では、久喜南中学校区で「新たに利用したい」が44.3%と多くなっています。（図表 2-19）

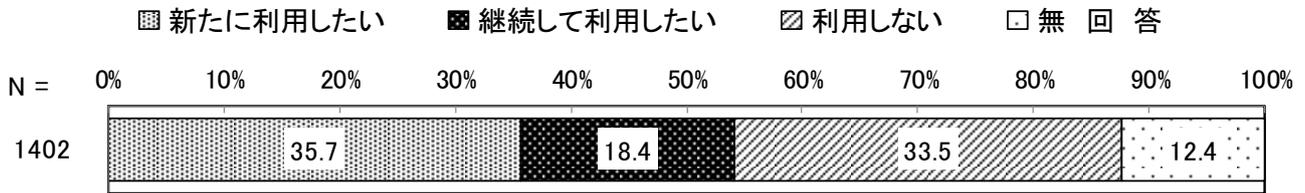
教育相談センター・教育相談室[%]



## 6. 幼稚園の園庭等の開放

全体では、「新たに利用したい」が35.7%、「利用しない」が33.5%、「継続して利用したい」が18.4%となっています。

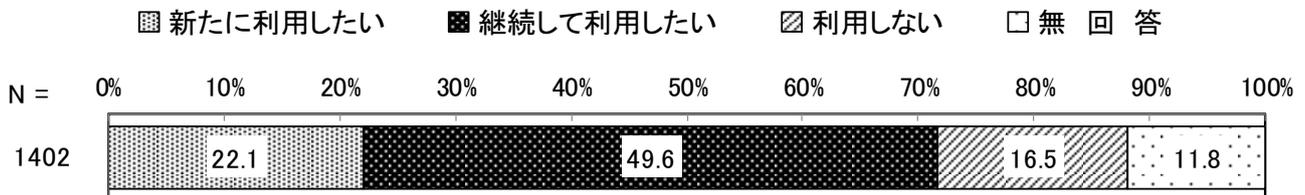
園庭等の開放[%]



## 7. 子育て支援センター・児童館・児童センター

全体では、「継続して利用したい」が49.6%と多く、「新たに利用したい」が22.1%、「利用しない」が16.5%となっています。

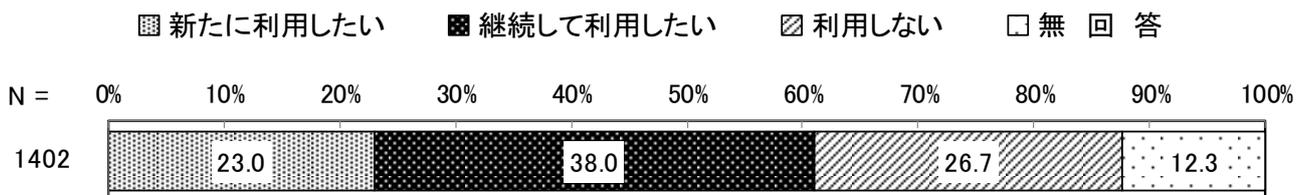
子育て支援センター・児童館等[%]



## 8. 子育て総合支援窓口（子ども未来課）

全体では、「継続して利用したい」が38.0%と多く、「利用しない」が26.7%、「新たに利用したい」が23.0%となっています。

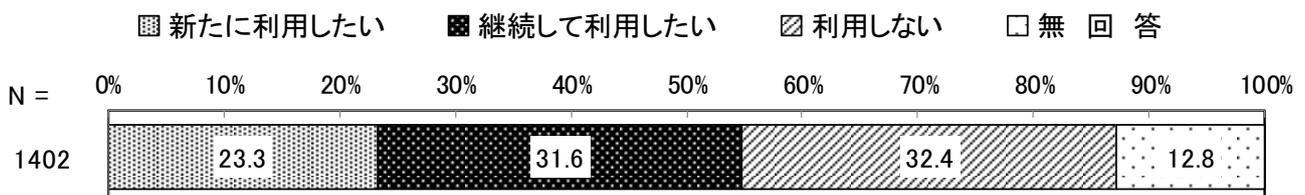
子育て総合支援窓口[%]



## 9. 子育てガイドブック

全体では、「利用しない」が32.4%、「継続して利用したい」が31.6%と多く、「新たに利用したい」が23.3%となっています。

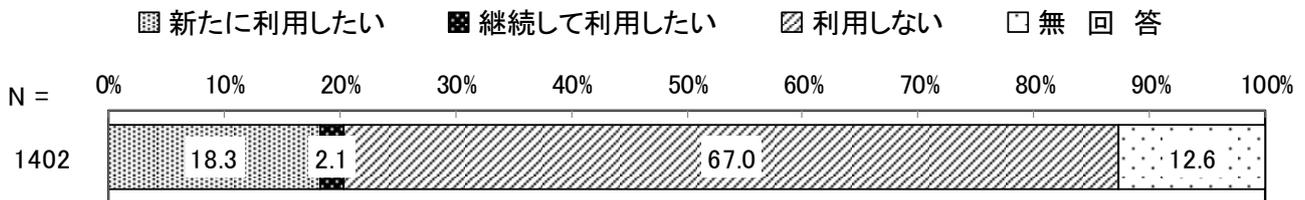
子育てガイドブック[%]



### 10. 子育て支援ホームヘルパー派遣事業

全体では、「利用しない」が67.0%と多く、「新たに利用したい」が18.3%、「継続して利用したい」が2.1%となっています。

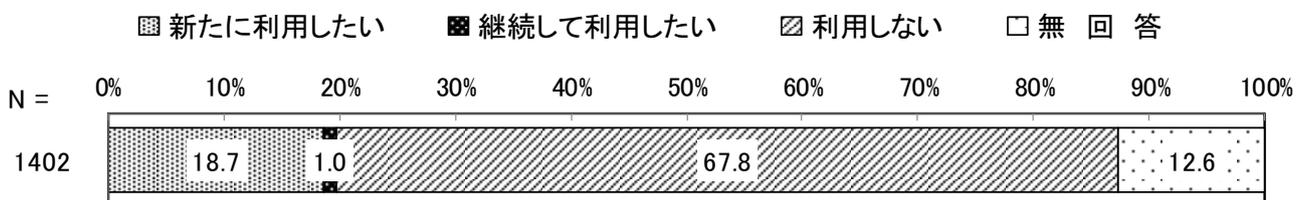
子育て支援ホームヘルパー派遣事業[%]



### 11. 子どものショートステイ事業

全体では、「利用しない」が67.8%と多く、「新たに利用したい」が18.7%、「継続して利用したい」が1.0%となっています。

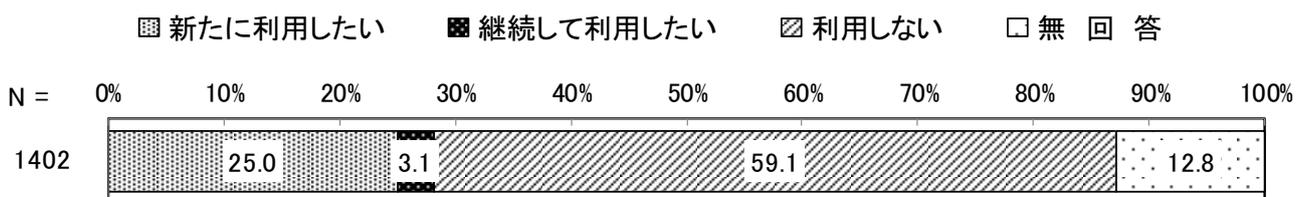
子どものショートステイ事業[%]



### 12. 家庭児童相談室

全体では、「利用しない」が59.1%と多く、「新たに利用したい」が25.0%、「継続して利用したい」が3.1%となっています。

家庭児童相談室[%]

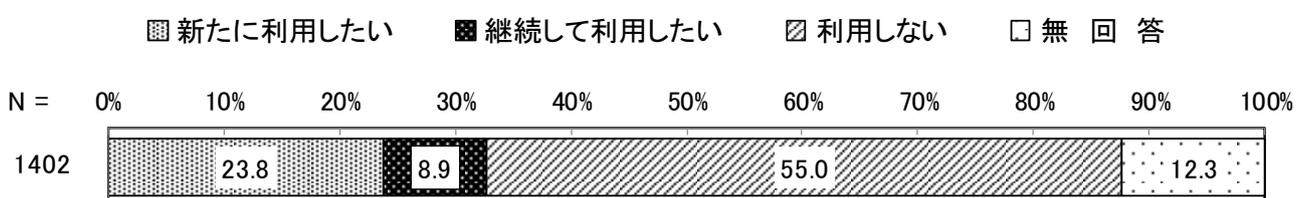


### 13. 子育て支援情報メール配信

全体では、「利用しない」が55.0%と多く、「新たに利用したい」が23.8%、「継続して利用したい」が8.9%となっています。

◆地区別では、久喜南中学校区で「新たに利用したい」が34.4%と多くなっています。(図表 2-20)

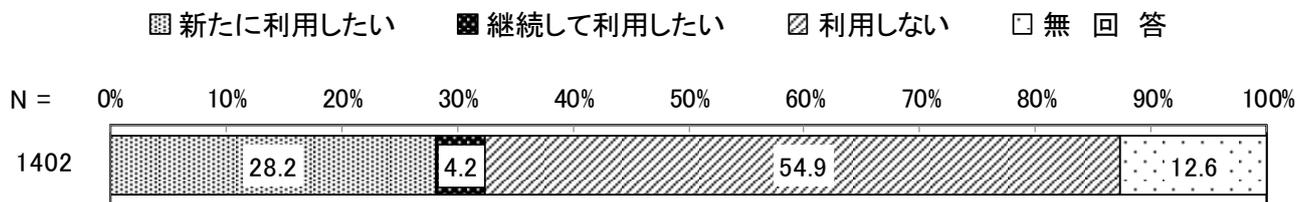
子育て支援情報メール配信[%]



#### 14. ファミリー・サポート・センター

全体では、「利用しない」が54.9%と多く、「新たに利用したい」が28.2%、「継続して利用したい」が4.2%となっています。

ファミリー・サポート・センター〔%〕

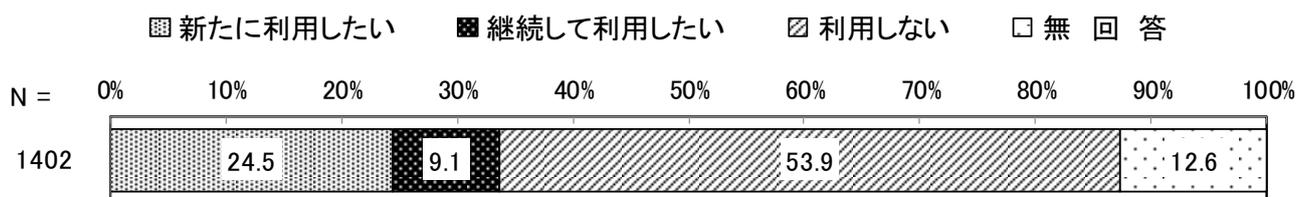


#### 15. 子育て案内所えんむすび

全体では、「利用しない」が53.9%と多く、「新たに利用したい」が24.5%、「継続して利用したい」が9.1%となっています。

◆地区別では、栗橋西中学校区で「新たに利用したい」が37.1%と多くなっています。(図表2-21)

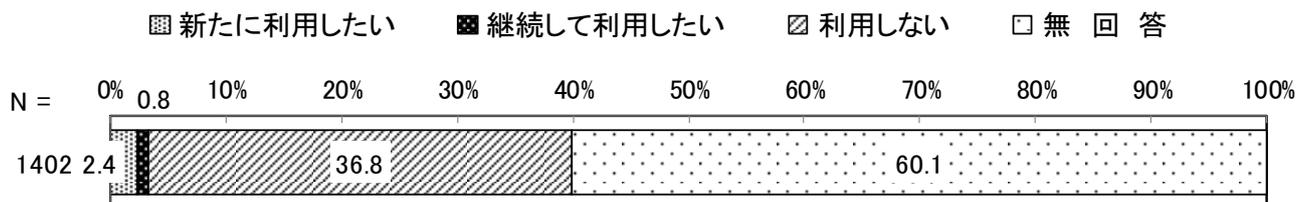
子育て案内所えんむすび〔%〕



#### 16. その他

全体では、「利用しない」が36.8%と多く、「新たに利用したい」が2.4%、「継続して利用したい」が0.8%となっています。

その他〔%〕



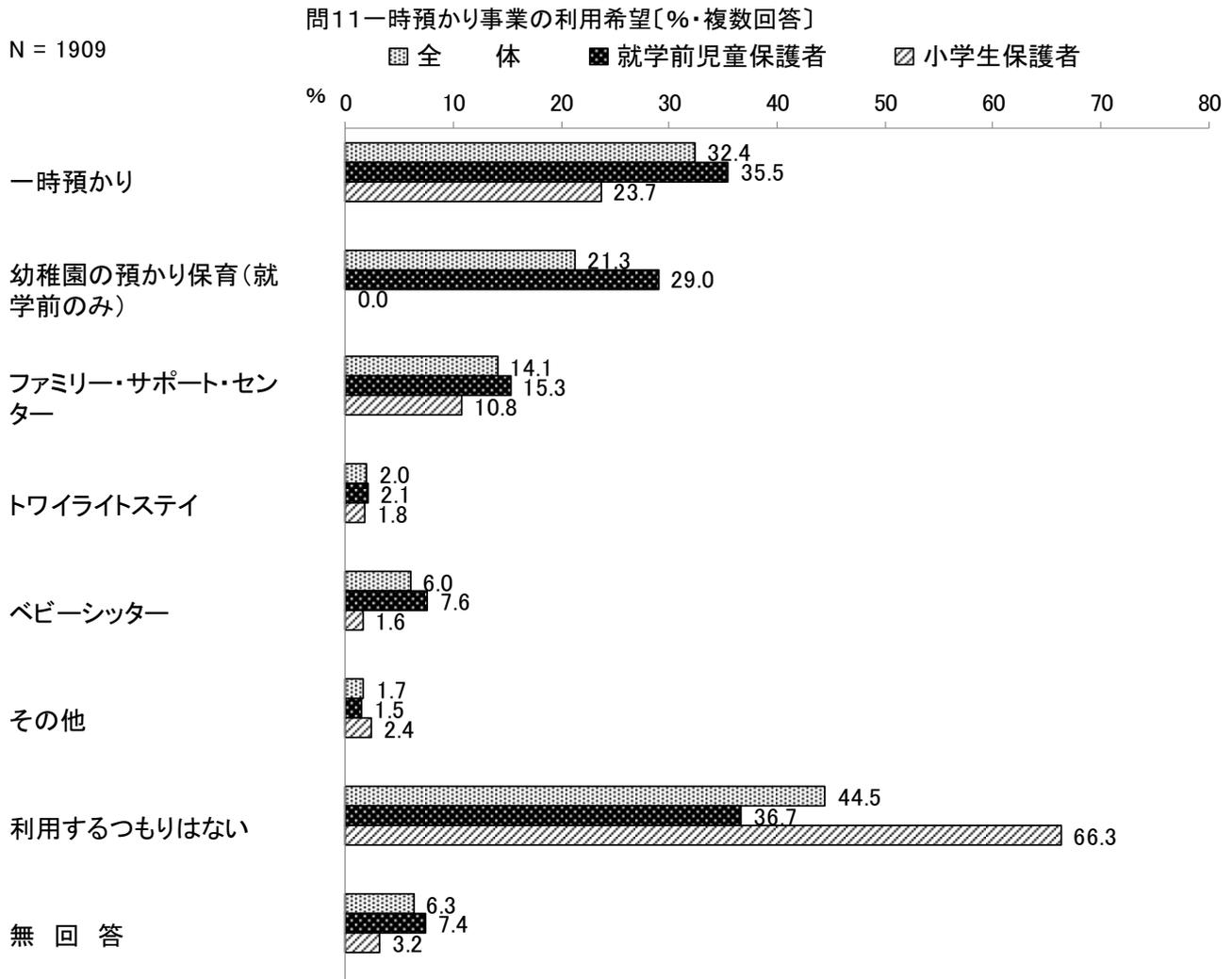
## 2.3 不定期的な教育・保育事業の利用

問11 宛名のお子さんについて、今後「不定期に」利用したい一時預かり事業はありますか。  
 <共通>

全体では、「利用するつもりはない」が44.5%と最も多く、次いで「一時預かり」が32.4%、「幼稚園の預かり保育（就学前のみ）」が21.3%となっています。

小学生保護者で「利用するつもりはない」が66.3%、就学前児童保護者で「幼稚園の預かり保育（就学前のみ）」が29.0%と多くなっています。

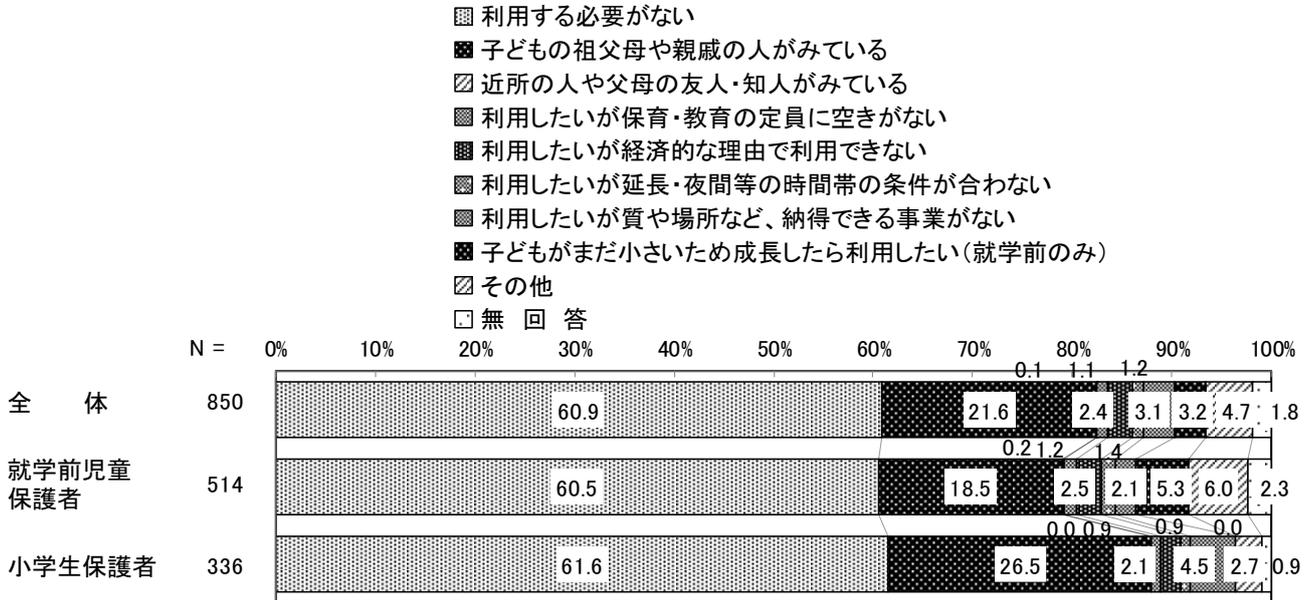
◆子どもの年齢・学年別では、「一時預かり」は0歳と1歳でそれぞれ51.3%、42.9%と多くなっています。（図表2-22）



問12 一時預かり事業の利用を希望しない理由は何ですか。(問11で利用するつもりはないを選んだ方) <共通>

全体では、「利用する必要がない」が60.9%と多く、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」が21.6%、「子どもがまだ小さいため成長したら利用したい(就学前のみ)」が3.2%となっています。

問12一時預かり事業を希望しない理由[%]



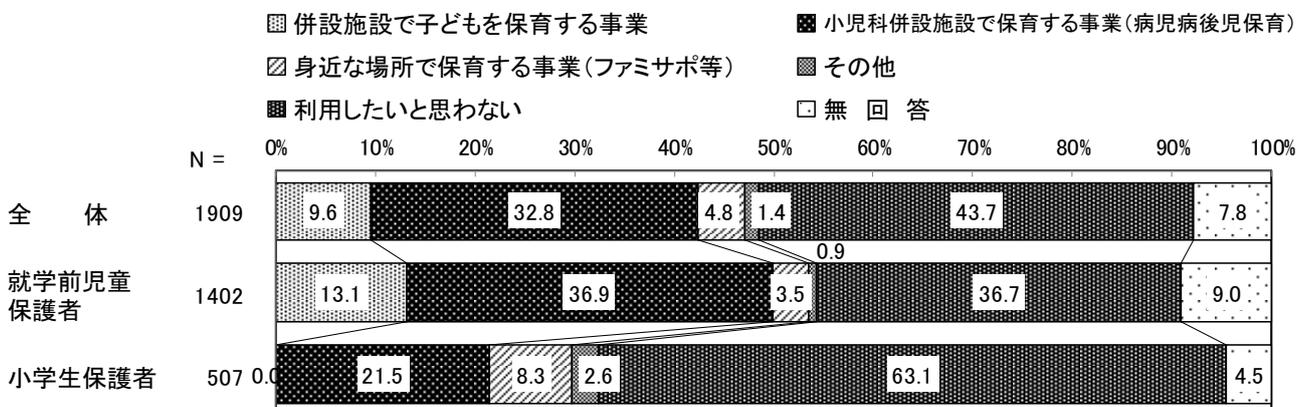
問14 お子さんが病気やけがで教育・保育事業を利用できない場合に、どのような事業を利用したいと思いますか。 <共通>

全体では、「利用したいと思わない」が43.7%と多く、「小児科併設施設で保育する事業(病児病後児保育)」が32.8%、「併設施設で子どもを保育する事業」が9.6%となっています。

小学生保護者で「利用したいと思わない」が63.1%と多くなっています。

◆保護者の就業状況別では、共働き世帯で「小児科併設施設で保育する事業(病児病後児保育)」が40.8%と多くなっています。(図表2-23)

問14病気やけがの時に利用したい事業[%]

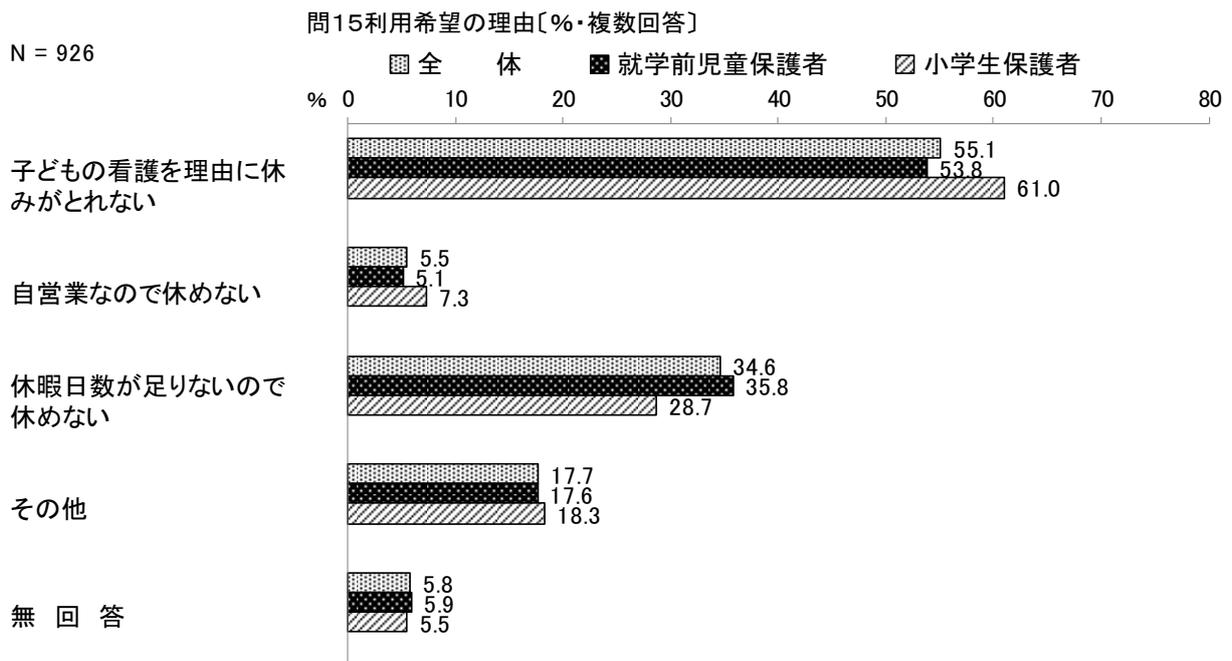


問15 事業の利用を希望する理由は何ですか。(問14で併設施設で子どもを保育する事業、小児科併設施設で保育する事業、身近な場所で保育する事業(ファミサポ等)、その他を選んだ方) <共通>

全体では、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が55.1%と多く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」が34.6%、「自営業なので休めない」が5.5%となっています。

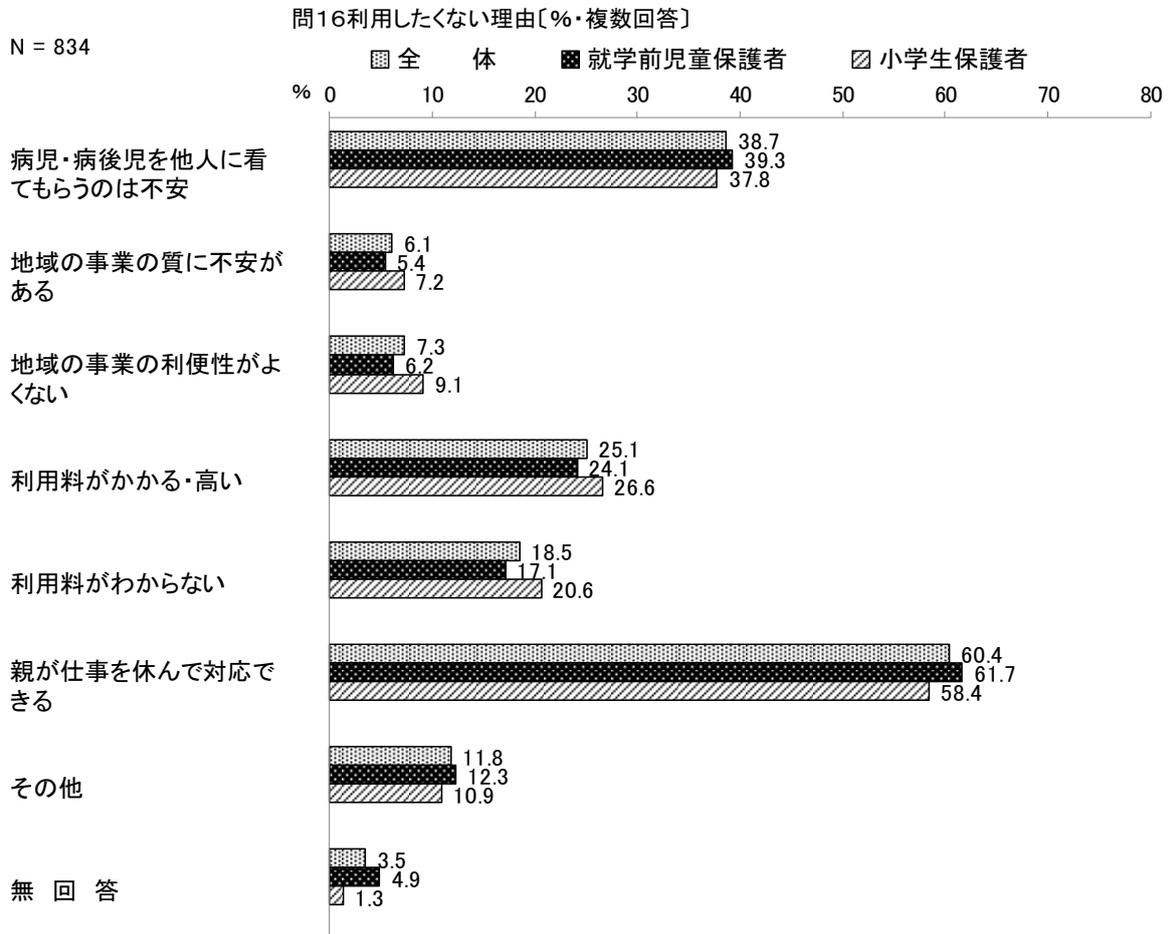
小学生保護者で「子どもの看護を理由に休みがとれない」が61.0%とやや多くなっています。

◆子どもの年齢・学年別では、「休暇日数が足りないので休めない」は1歳と3歳で40%を超えています。(図表2-24)



問16 利用したいと思わない理由は何ですか。(問14で利用したいと思わないを選んだ方) <共通>

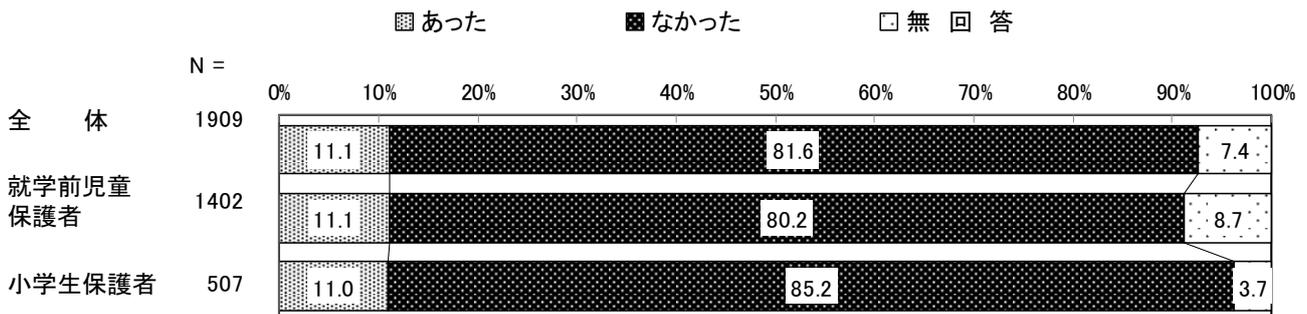
全体では、「親が仕事を休んで対応できる」が60.4%と多く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらっては不安」が38.7%、「利用料がかかる・高い」が25.1%となっています。  
 ◆保護者の就業状況別では、共働き世帯で「親が仕事を休んで対応できる」が66.3%と多くなっています。(図表2-25)



問17 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないこと(預け先が見つからなかった場合も含みます)はありましたか。<共通>

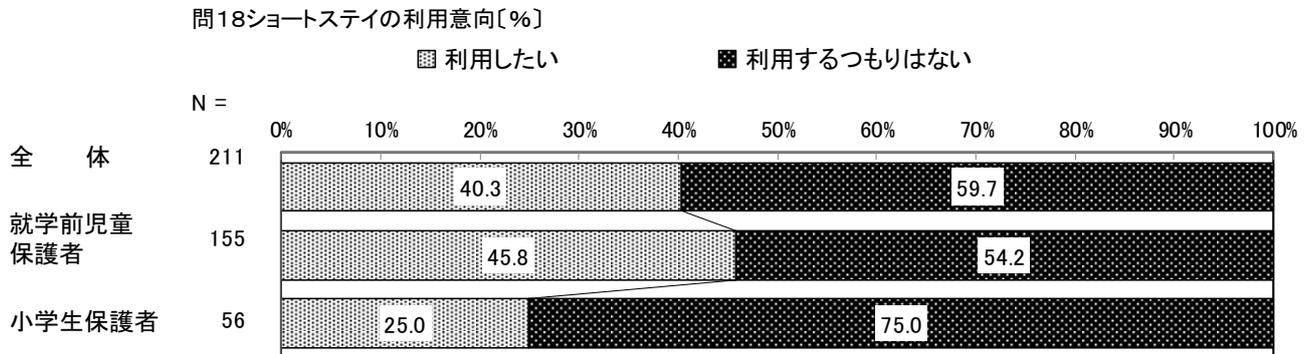
全体では、「なかった」が81.6%、「あった」が11.1%となっています。

問17保護者の用事で子どもを泊りがけで預けたこと[%]



問18 保護者の用事により、宛名のお子さんを家族等がみられず、泊りがけで預けたい場合に、ショートステイを利用したいですか。(問17であったを選んだ方) <共通>

全体では、「利用するつもりはない」が59.7%、「利用したい」が40.3%となっています。就学前児童保護者で「利用したい」が45.8%と多くなっています。



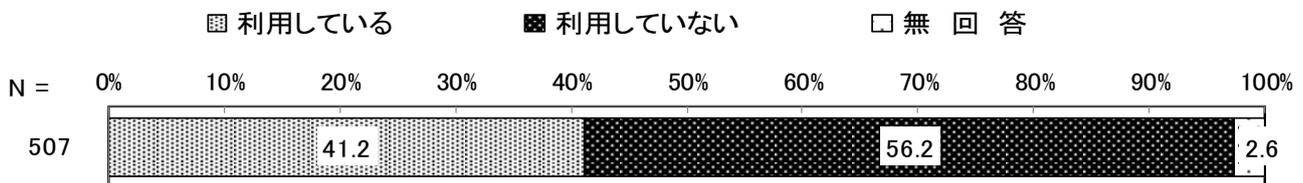
## 2.4 放課後の過ごし方（来年度就学児・小学生保護者）

（小学生）問6 宛名のお子さんは、放課後児童クラブを利用していますか。

全体では、「利用していない」が56.2%、「利用している」が41.2%となっています。

◆保護者の就業状況別では、共働き世帯で「利用している」が54.7%と多くなっています。（図表 2-26）

問6放課後児童クラブの利用[%]



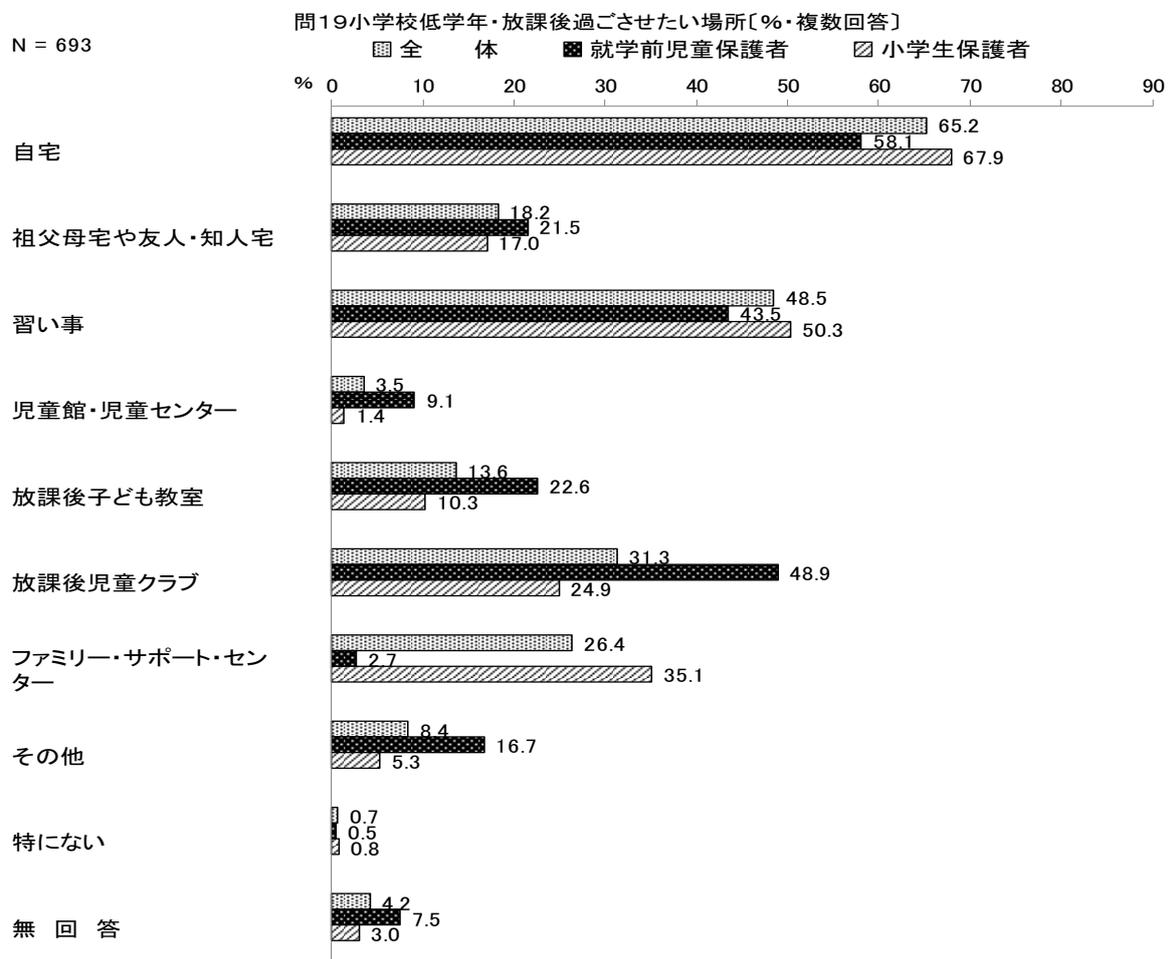
問19 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、平日の学校終了後（放課後）や土曜日、日曜・祝日にどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

### 放課後

全体では、「自宅」が65.2%と最も多く、次いで「習い事」が48.5%、「放課後児童クラブ」が31.3%となっています。

就学前児童保護者で「放課後児童クラブ」が48.9%（前回38.1%）、「放課後子ども教室」が22.6%（14.6%）、小学生保護者で「ファミリー・サポート・センター」が35.1%と多く、前回調査より就学前児童保護者で「放課後児童クラブ」が10.8ポイント増えています。

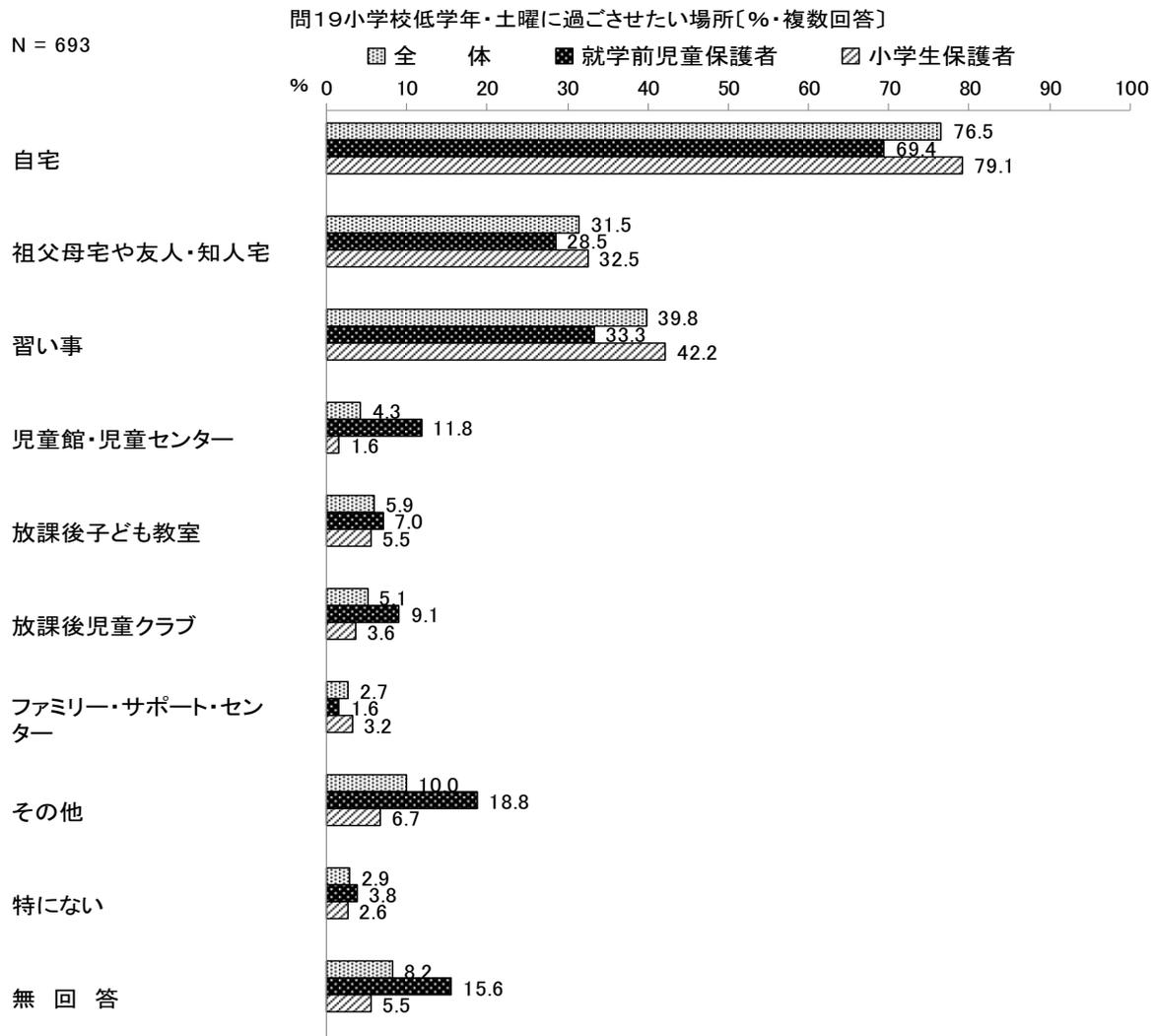
◆保護者の就業状況別では、共働きでない世帯で「自宅」が89.3%、「習い事」が60.7%と多くなっています。（図表 2-27）



## 土曜日

全体では、「自宅」が76.5%と最も多く、次いで「習い事」が39.8%、「祖父母宅や友人・知人宅」が31.5%となっています。

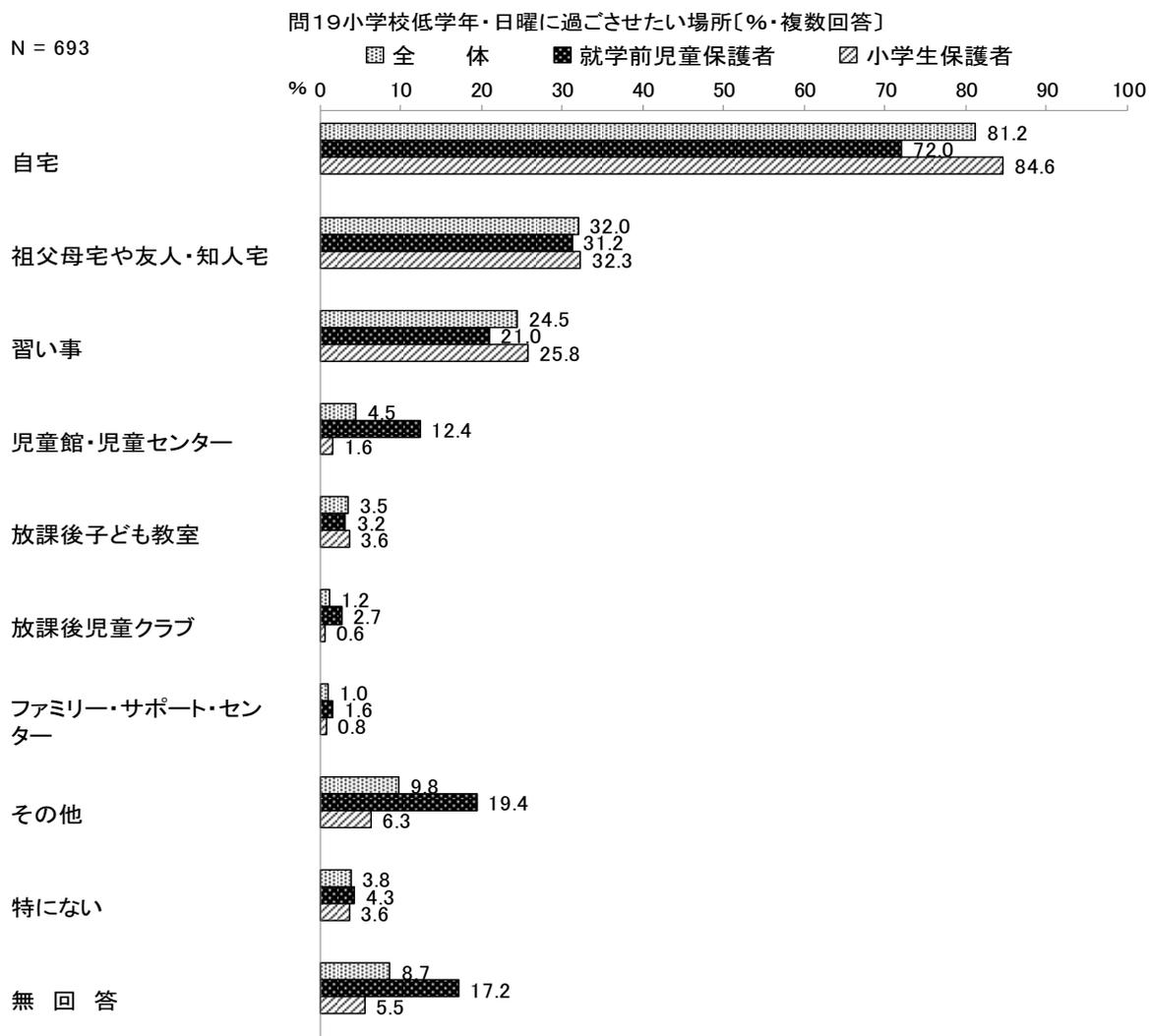
就学前児童保護者で「児童館・児童センター」が11.8%と多くなっています。



## 日曜・祝日

全体では、「自宅」が81.2%と最も多く、次いで「祖父母宅や友人・知人宅」が32.0%、「習い事」が24.5%となっています。

就学前児童保護者で「児童館・児童センター」が12.4%と多くなっています。



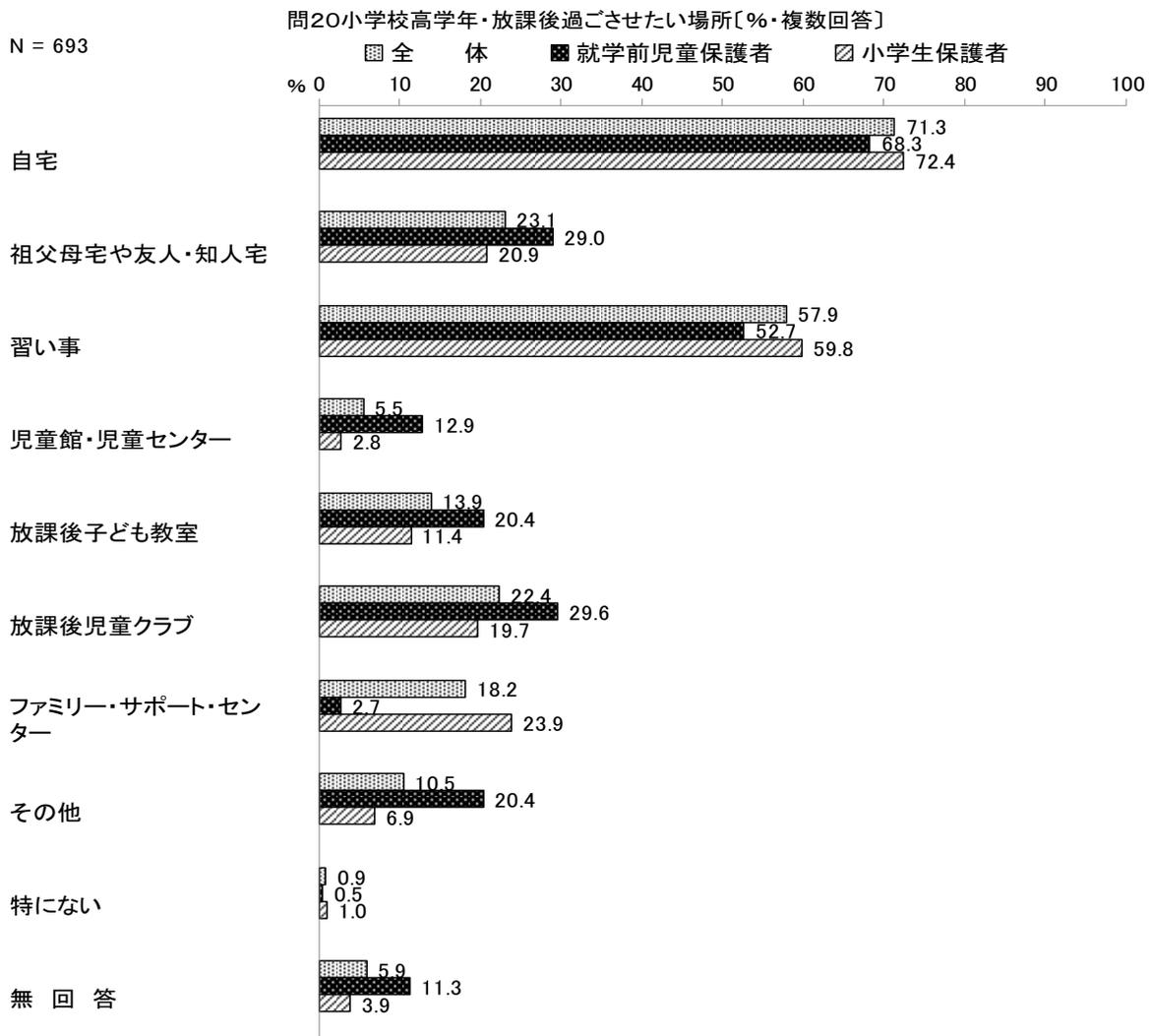
問20 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）のうちは、平日の学校終了後（放課後）や土曜日、日曜・祝日にどのような場所で過ごさせたいと思いますか。＜共通＞

放課後

全体では、「自宅」が71.3%と最も多く、次いで「習い事」が57.9%、「祖父母宅や友人・知人宅」が23.1%となっています。

就学前児童保護者で「祖父母宅や友人・知人宅」が29.0%（前回16.7%）、「放課後児童クラブ」が29.6%、「放課後子ども教室」が20.4%、小学生保護者で「ファミリー・サポート・センター」が23.9%と多くなっています。一部選択肢が異なりますが、前回調査より就学前児童保護者で「祖父母宅や友人・知人宅」が12.3ポイント増え、小学生保護者で「習い事」が59.8%（前回70.5%）と、10.7ポイント減っています。

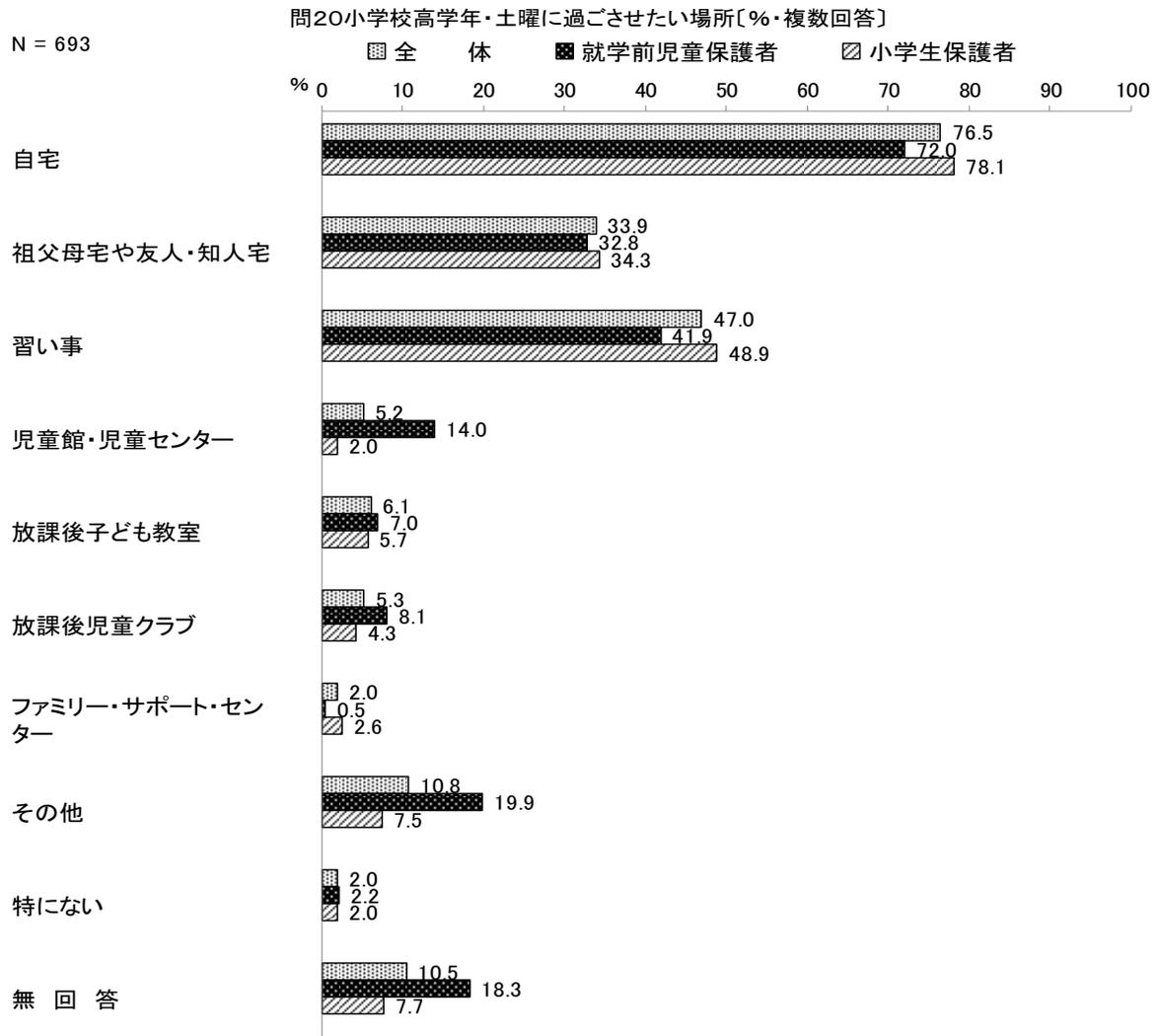
◆保護者の就業状況別では、共働きでない世帯で「自宅」が82.8%、「習い事」が66.4%と多くなっています。（図表2-28）



## 土曜日

全体では、「自宅」が76.5%と最も多く、次いで「習い事」が47.0%、「祖父母宅や友人・知人宅」が33.9%となっています。

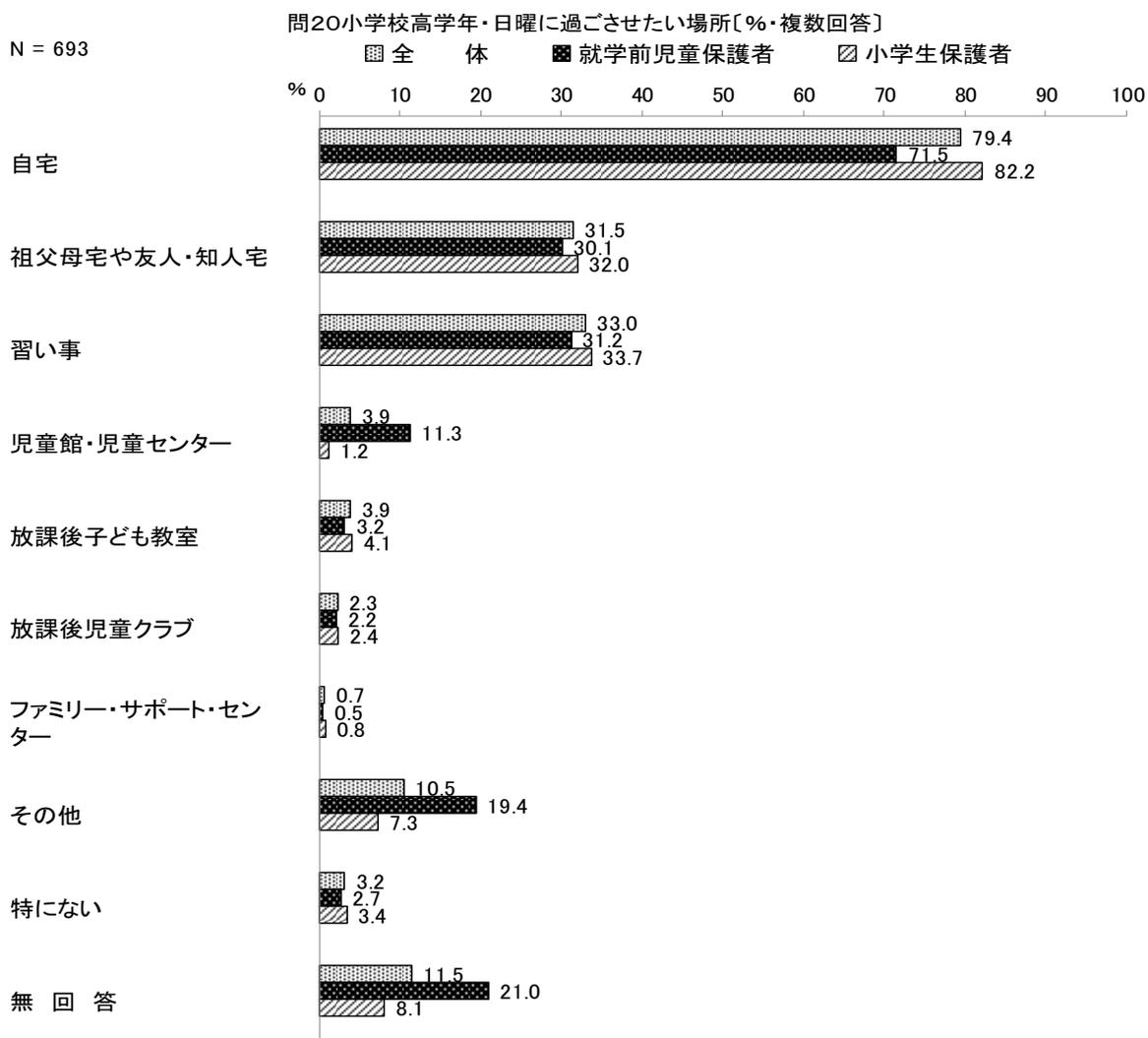
就学前児童保護者で「児童館・児童センター」が14.0%と多くなっています。



## 日曜・祝日

全体では、「自宅」が79.4%と最も多く、次いで「習い事」が33.0%、「祖父母宅や友人・知人宅」が31.5%となっています。

就学前児童保護者で「児童館・児童センター」が11.3%と多くなっています。



## 2.5 保護者の就労状況・職場の両立支援

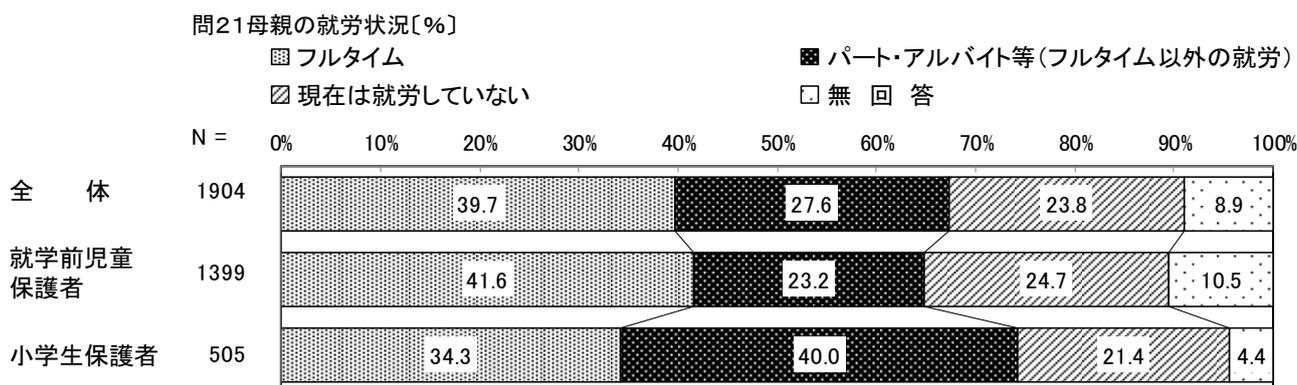
### 問21・26 現在の就労状況はどれですか。<共通>

#### 【母親】

全体では、「フルタイム」が 39.7%、「パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）」が 27.6%、「現在は就労していない」が 23.8%となっています。

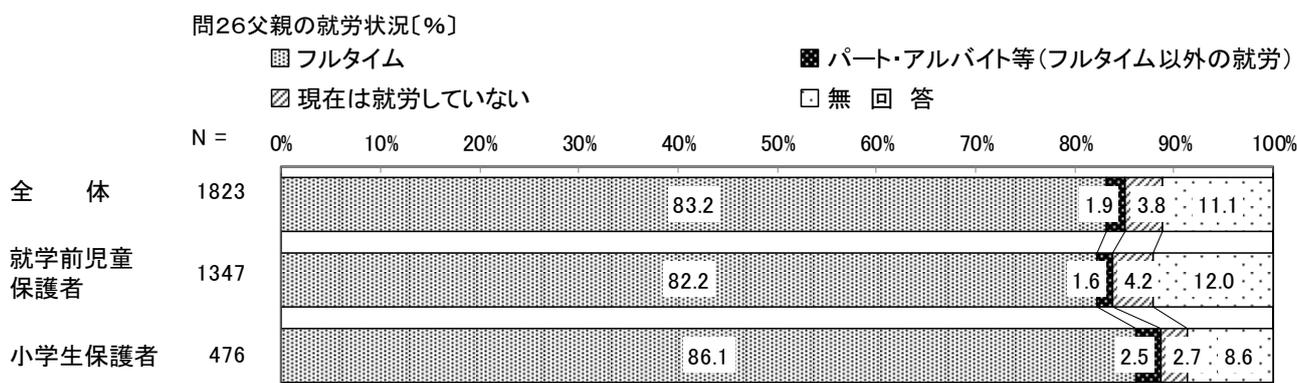
就学前児童生保護者は「現在は就労していない」が 24.7%（前回 38.3%）と前回調査より 13.6 ポイント減っています。

小学生保護者で「フルタイム」が 34.3%（前回 25.4%）と少なく、「パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）」が 40.0%（前回 41.7%）と多くなっていますが、「フルタイム」は前回調査より 8.9 ポイント増えています。



#### 【父親】

全体では、「フルタイム」が 83.2%と多く、「現在は就労していない」が 3.8%、「パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）」が 1.9%となっています。



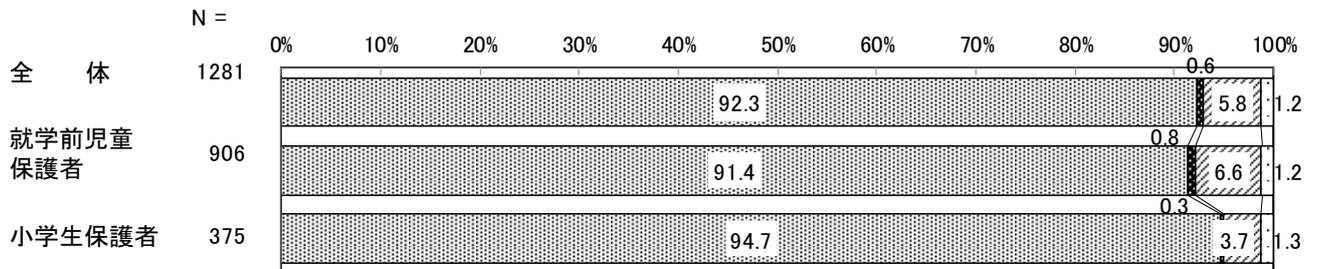
問22・27 普段の就労時間帯について、最も多いパターンはどれですか。(問21・26でフルタイム、パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労)を選んだ方) <共通>

【母親】

全体では、「主に昼間の就労」が 92.3%と多く、「昼間・夜間の就労、いずれもある」が 5.8%、「主に夜間の就労」が 0.6%となっています。

問22母親の就労時間帯[%]

■ 主に昼間の就労 ■ 主に夜間の就労 ▨ 昼間・夜間の就労、いずれもある □ 無回答

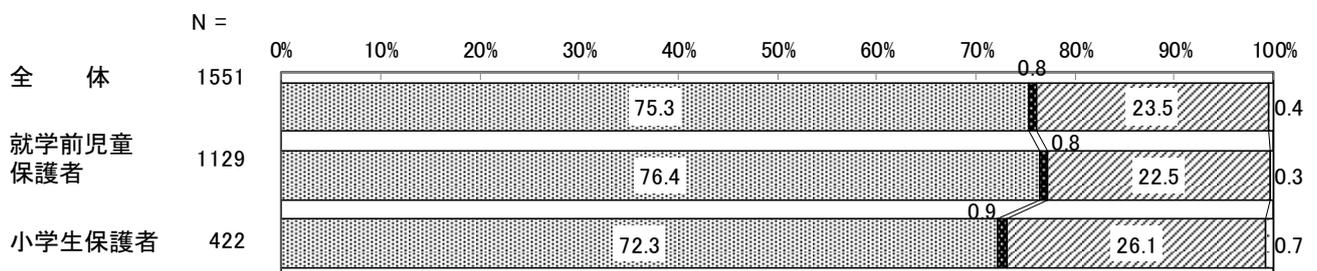


【父親】

全体では、「主に昼間の就労」が 75.3%と多く、「昼間・夜間の就労、いずれもある」が 23.5%、「主に夜間の就労」が 0.8%となっています。

問27父親の就労時間帯[%]

■ 主に昼間の就労 ■ 主に夜間の就労 ▨ 昼間・夜間の就労、いずれもある □ 無回答



問23・28 宛名のお子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。〈共通〉

【母親】

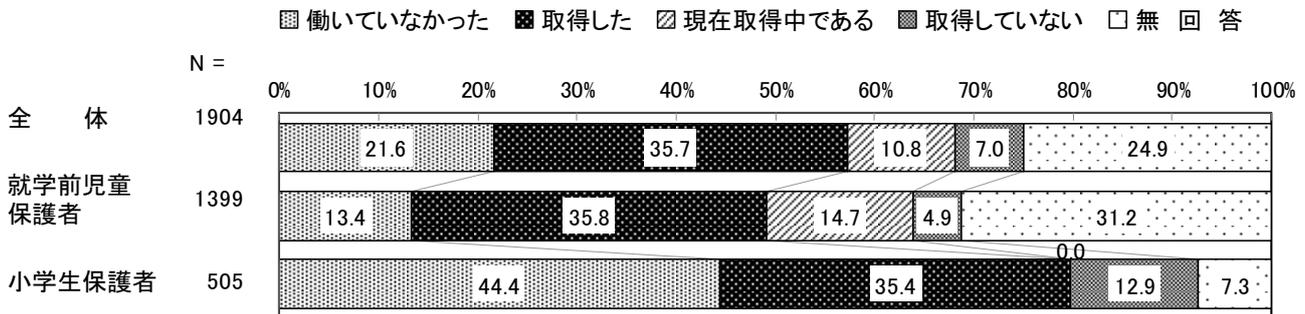
全体では、「取得した」が35.7%と多く、「働いていなかった」が21.6%、「現在取得中である」が10.8%となっています。

就学前保護者は『取得した』（「取得した」と「現在取得中である」の計）が50.5%（前回39.5%）と前回調査より11.0ポイント増えています。

小学生保護者で「働いていなかった」が44.4%、「取得していない」が12.9%と多くなっています。

◆保育サービス等利用別では、利用ありの回答者で「取得した」が52.8%と多くなっています。（図表2-29）

問23母親の育児休業の取得[%]



【父親】

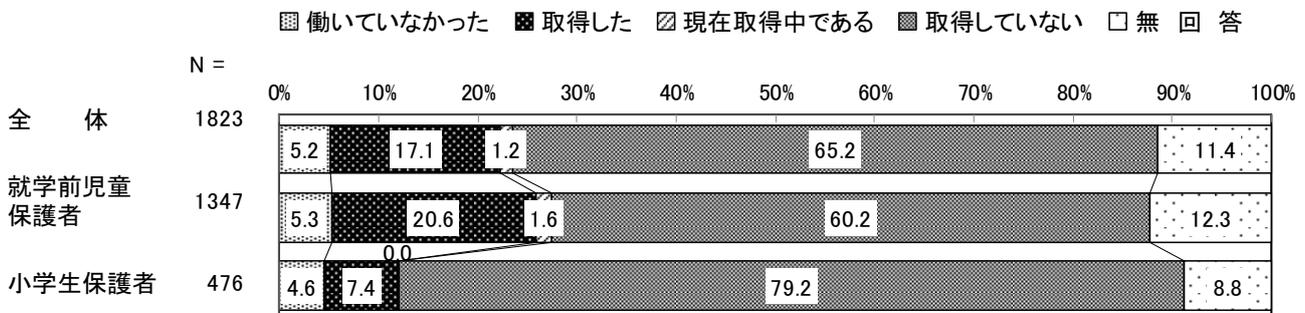
全体では、「取得していない」が65.2%と多く、「取得した」が17.1%、「働いていなかった」が5.2%となっています。

就学前保護者は『取得した』（「取得した」と「現在取得中である」の計）が22.2%（前回3.7%）と前回調査より18.5ポイント増えています。

小学生保護者で「取得していない」が79.2%と多く、「取得した」が7.4%と少なくなっています。

◆子どもの年齢・学年別では、0歳で「取得した」が38.3%と多くなっています。（図表2-30）

問28父親の育児休業の取得[%]



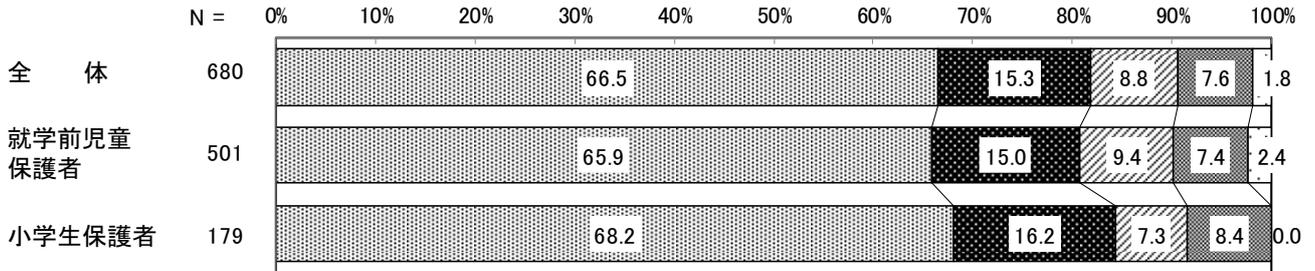
問24・29 育児休業終了後、職場に復帰しましたか。(問23・問28で「取得した」を選んだ方) <共通>

【母親】

全体では、「希望するタイミングで復帰した」が66.5%と多く、「希望のタイミングより早く復帰した」が15.3%、「希望のタイミングより遅く復帰した」が8.8%となっています。

問24母親の育児休業後の職場復帰[%]

希望するタイミングで復帰した       希望のタイミングより早く復帰した  
 希望のタイミングより遅く復帰した       育児休業中に離職した  
 無回答

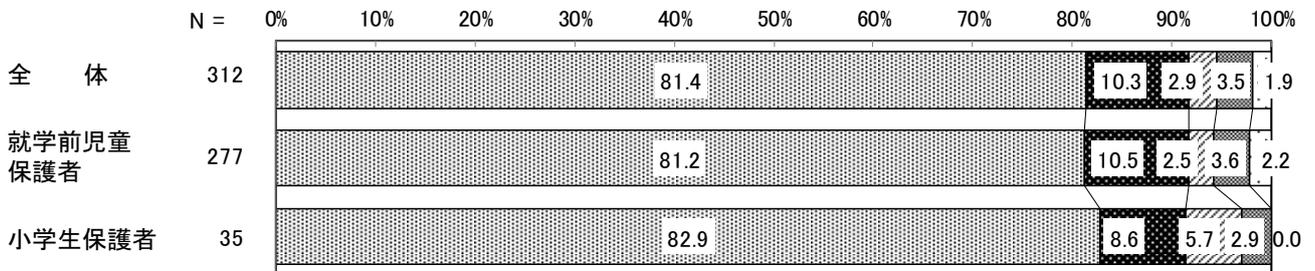


【父親】

全体では、「希望するタイミングで復帰した」が81.4%と多く、「希望のタイミングより早く復帰した」が10.3%、「育児休業中に離職した」が3.5%となっています。

問29父親の育児休業後の職場復帰[%]

希望するタイミングで復帰した       希望のタイミングより早く復帰した  
 希望のタイミングより遅く復帰した       育児休業中に離職した  
 無回答



問25・30 職場に復帰した際、短時間勤務制度を利用しましたか。(問24・問29で「希望するタイミングで復帰した」「希望するタイミングよりも早く復帰した」「希望するタイミングよりも遅く復帰した」を選んだ方) <共通>

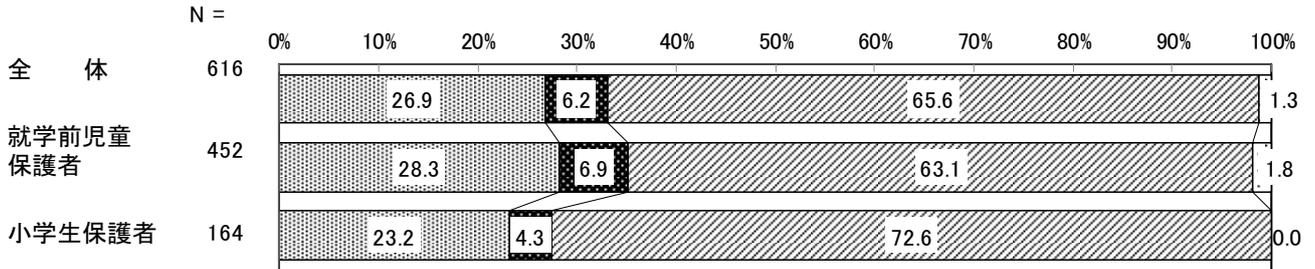
【母親】

全体では、「利用した」が65.6%と多く、「利用しなかった」が26.9%、「利用したかったが利用できなかった」が6.2%となっています。

小学生保護者で「利用した」が72.6%と多くなっています。

問25母親の職場復帰時短時間勤務制度の利用[%]

■ 利用しなかった ■ 利用したかったが利用できなかった ■ 利用した □ 無回答

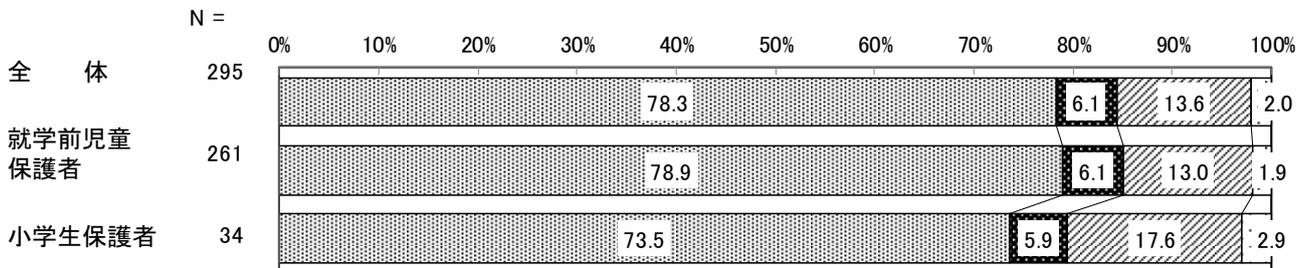


【父親】

全体では、「利用しなかった」が78.3%と多く、「利用した」が13.6%、「利用したかったが利用できなかった」が6.1%となっています。

問30父親の職場復帰時短時間勤務制度の利用[%]

■ 利用しなかった ■ 利用したかったが利用できなかった ■ 利用した □ 無回答



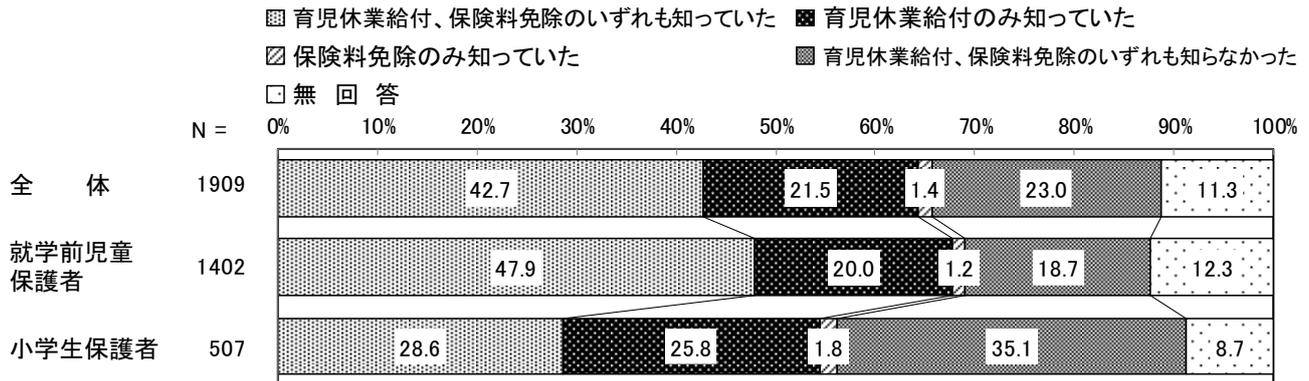
問31 育児休業給付、保険料免除について知っていましたか。＜共通＞

全体では、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が42.7%と多く、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が23.0%、「育児休業給付のみ知っていた」が21.5%となっています。

小学生保護者で「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が28.6%と少なく、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が35.1%と多くなっています。

◆保護者の就業状況別では、共働き世帯で「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が52.2%と多くなっています。（図表2-31）

問31育児休業給付、保険料免除の認知[%]

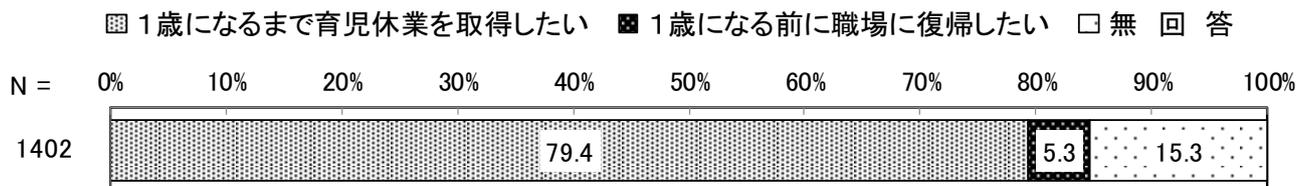


問32 お子さんが1歳になった時に必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。＜就学前児童保護者のみ＞

【母親】

全体では、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が79.4%、「1歳になる前に職場に復帰したい」が5.3%となっています。

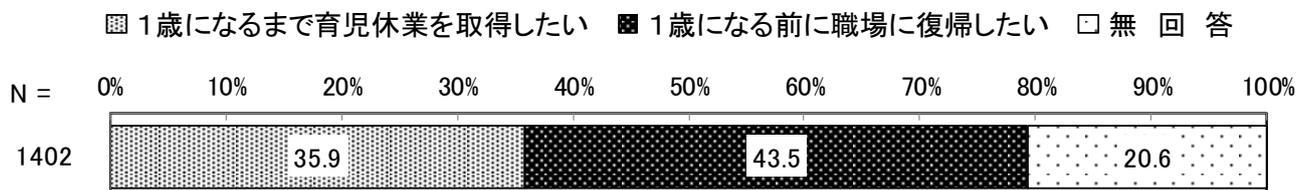
問32保育利用の場合の育児休業期間(母親)[%]



【父親】

全体では、「1歳になる前に職場に復帰したい」が43.5%、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が35.9%となっています。

問32保育利用の場合の育児休業期間(父親)[%]

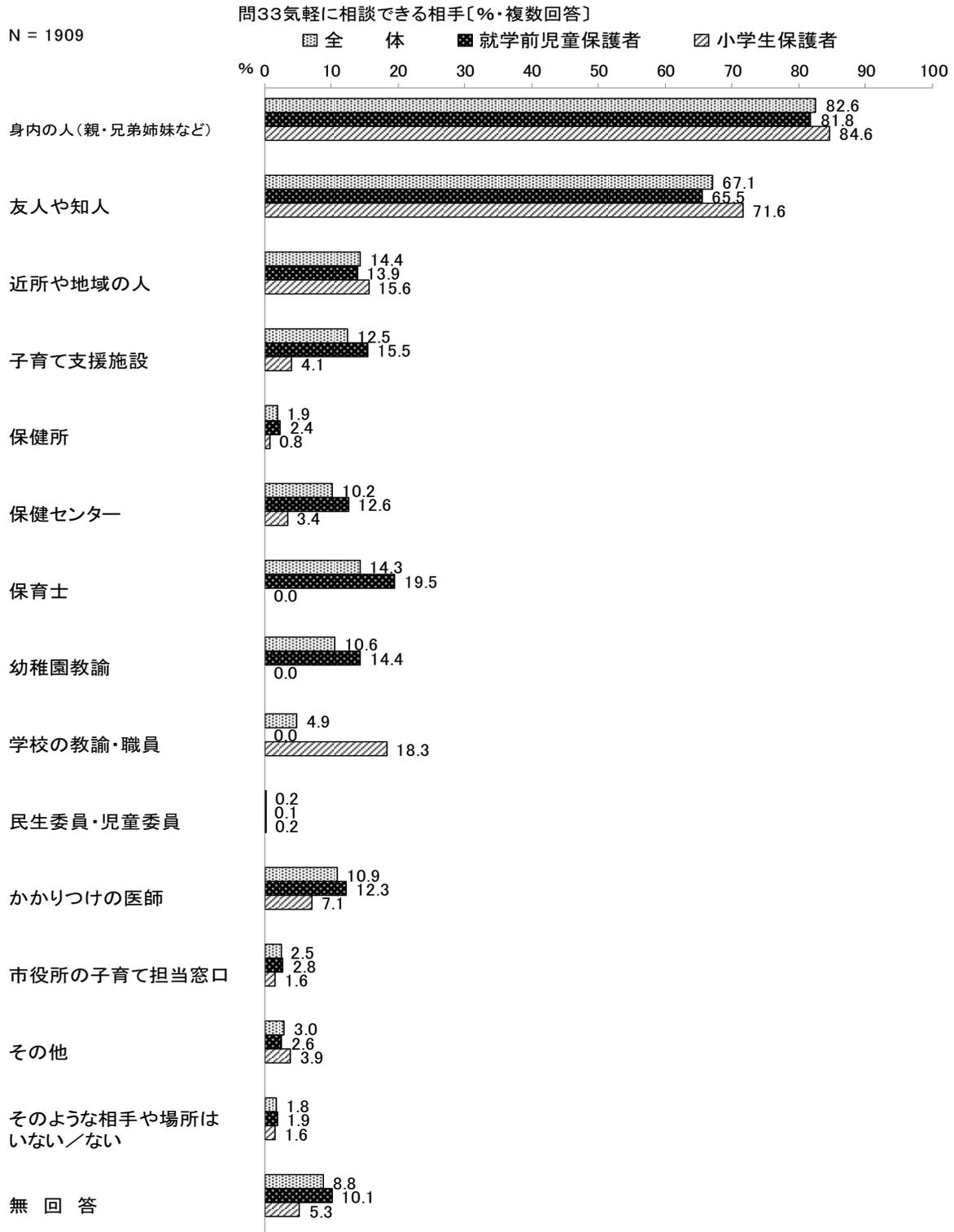


## 2.6 子どもの育ちを取り巻く環境

問33 日ごろ、子どものことや子育てについて気軽に相談できる相手はどなた（場所はどこ）ですか。＜共通＞

全体では、「身内の人（親・兄弟姉妹など）」が 82.6%と最も多く、次いで「友人や知人」が 67.1%、「近所や地域の人」が 14.4%となっています。

就学前児童保護者で「保育士」が 19.5%、小学生保護者で「学校の教諭・職員」が 18.3%と多くなっています。

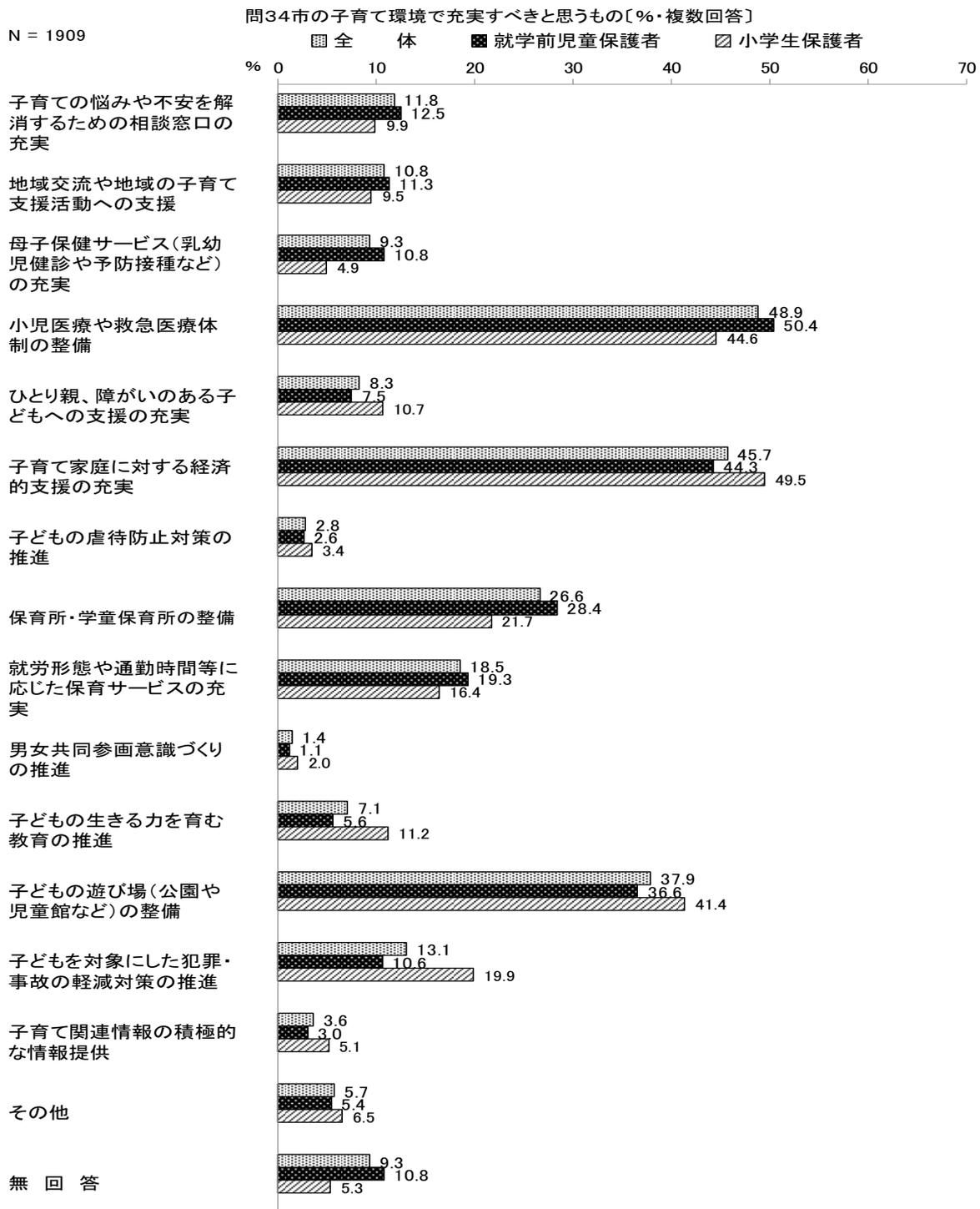


問34 今後、久喜市の子育て環境を良くしていくために、ぜひ充実していくべきだと思うものはありますか。＜共通＞

全体では、「小児医療や救急医療体制の整備」が48.9%、次いで「子育て家庭に対する経済的支援の充実」が45.7%、「子どもの遊び場（公園や児童館など）の整備」が37.9%と多くなっています。

小学生保護者では「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減対策の推進」が19.9%（前回35.8%）回答されていますが、前回調査より15.9ポイント減っています。

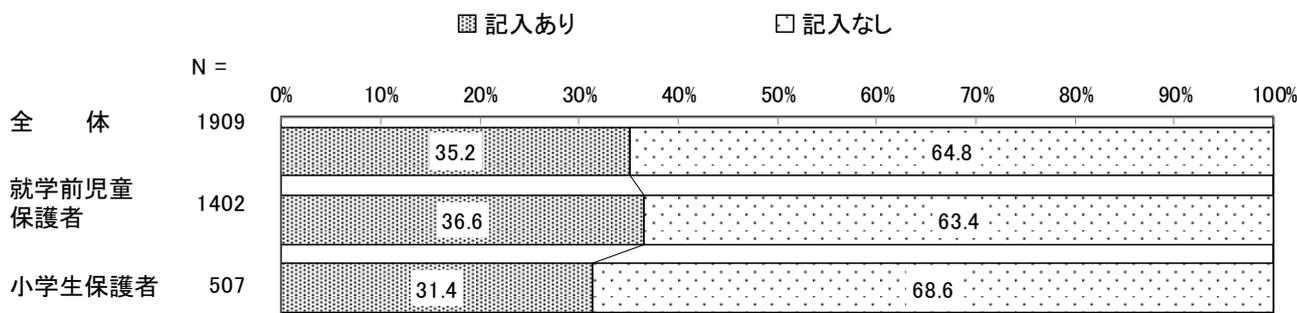
◆地区別では、「小児医療や救急医療体制の整備」は栗橋東中学校区で58.8%、「子育て家庭に対する経済的支援の充実」は鷲宮西中学校区と栗橋東中学校区で55%を超え、「子どもの遊び場（公園や児童館など）の整備」は久喜南中学校区と久喜中学校区で45%を超えています。（図表2-32）



問35 子育て環境や支援に関してご意見がございましたら、自由にご記入ください。<共通>

全体では、「記入あり」が35.2%で、就学前児童保護者で「保育施設・小・中・高等学校に関すること」、「児童館、公園、遊び場に関すること」、「病院に関すること」、小学生保護者で「学童保育に関すること」、「児童館、公園に関すること」、「病児保育・一時預かりに関すること」などの意見がみられます。

問35自由意見[%]



就学前児童保護者

順位	内容	件
1位	保育施設・小・中・高等学校に関すること	109
	保育所の受け入れ人数をもっと増やしてほしい。働いている人が安心できるような保育園100%入園可能な状況の維持。勤務地が遠いため、保育園の延長時間がもう少し長いと安心できる。市内の小学校、中学校において、児童数が減り人数に偏りがある。	
2位	児童館、公園、遊び場に関すること	69
	公園の遊具が古いものが多い。児童館をリニューアルし、新しいおもちゃを増やしてほしい。子どもの遊び場として、安全な遊具がある公園を増やしてほしい。公園が整備されてない事が多く子どもを遊ばせるのに不安がある。	
3位	病院に関すること	63
	久喜市に産婦人科医が一つもないのはおかしいと思う。夜間、休日診療で診てくれる病院が全くなくとても困った。栗橋地区の小児科を充実させてほしい。小児科、耳鼻科が少ない。	
4位	病児保育・一時預かりに関すること	55
	一時保育の利用施設をもっと充実させてほしい。病児保育の制度を充実させてほしい。祝日も預けられる場所がほしい。具合が悪い子を預かってくれる施設をもっと充実させてほしい。病児保育が少なく、久喜市に一つの施設しかないため、増やしてほしいと思う。	
5位	経済的支援に関すること	51
	0～2歳児の保育料無償化。3歳未満児の保育料の軽減が必要だと思う。子育て世帯の金銭的支援をもっと充実してほしいと思う。東京都と同じレベルで教育費の免除などをしてほしい。インフルエンザの予防接種も無料になると嬉しい。	

小学生保護者

順位	内容	件
1位	学童保育に関すること	30
	現状の学童は預かるだけのような感じなので、習い事ができたり特色ある学童をつくってほしい。学校と学童の連携を進めてほしい。学童の預かり人数を増やしてほしい。学校の長期休みだけ、自分の所属している学童が利用できるとうい。学童を利用しないと母親が働けない環境になってしまう。	
2位	児童館、公園に関すること	29
	子連れ徒歩圏内に公園が少なすぎる。子どもが安全に遊べる公園が増えるとよい。児童館は小学生から利用できないので残念だ。ボールを使える公園が少ない。体を思いきり動かして遊べるような整備された公園がもっとあると嬉しい。子ども達の年齢に合わせた遊び場が不足していると思う。	
3位	病児保育・一時預かりに関すること	24
	風邪の時や体調不良でお休みする時に預かる場所があれば助かる。病児保育が利用しにくい。一時預りできる保育所が近くに少なく、利用者も多いので、希望の日に入れないことが多い。フルタイムの人だけでなく、もっとパートの人にも病児保育を使わせてほしい。	
4位	経済的支援に関すること	18
	給食の無償化をお願いしたい。3人以上の子育てに関する経済的支援を充実させてほしい。ひとり親以外の全子育て家庭に対して給付金を出してほしい。共働きでも経済的にとても厳しい状況の世帯は多いと思う。	
5位	病院に関すること	15
	小児科が少ない。コロナ禍を経て、発熱した際にかかれる病院が減って困る。とにかく夜間や休日診療をしてもらえる病院が少ない。病気の際、夜間でもかかれる病院を増やしてほしいと思う。久喜市内には子ども病院が少ない。小児の救急病院が少なすぎる。	

## 2.7 アンケート結果から見える現状・課題

### ○子育て世帯の状況及び保護者の就業状況

問5『主に子育てをしている人』では、「父母ともに」が就学前児童保護者で62.2%、小学生保護者で55.8%（前回調査では、52.5%、55.8%）と就学前児童保護者で前回より増えており、「主に母親」から「父母ともに」へと移行している傾向がみられます。

問21『就労状況』では、母親の「フルタイム」が就学前児童保護者で41.6%、小学生保護者で34.3%（前回調査では、33.2%、25.4%）といずれも前回より増えています。問23『育児休業の取得』では、就学前児童保護者で取得中、取得した人は母親で50.5%、父親で22.2%（前回調査では、39.5%、3.7%）といずれも前回より大幅に増えています。

子育て世帯の状況は変化しており、小学生保護者よりも就学前児童保護者の方が変化しており、教育・保育施設利用の無償化等により、保育ニーズは継続して高いことが考えられます。子ども数は微減したとしても保育ニーズは高く、提供体制の維持や対応などについて継続した検討が必要となっています。

### ○教育・保育施設の利用希望

問6『②平日に希望する教育・保育事業』では、8割以上が教育・保育事業の利用を希望しています。平日の利用希望が多いのは、平日に就業することが多いことから予想できますが、教育・保育事業を利用しなければ就業しにくい状況にあるとも考えられます。

また、前回調査では、希望する事業は認定こども園（46.3%）や幼稚園（46.2%）が最も多くなっていましたが、今回は許可保育所（37.4%）が最も多くなっており、開園・閉園時間を含め保育先の受け入れ体制等が働きやすさに影響があることが考えられます。

### ○不定期の預かり等

問11「不定期に利用したい一時預かり事業」では、就学前児童保護者で「一時預かり」が35.5%、「幼稚園の預かり保育（就学前のみ）」が29.0%と多いですが、次いで「ファミリー・サポート・センター」が15.3%となっています。利用目的を含めた利用状況を把握し、利用しやすさなどを加味して、サービス提供体制をどのように確保していくかが課題といえます。

問14『病気やけがの時に利用したい事業』では、就学前児童保護者で「小児科併設施設で保育する事業（病児病後児保育）」が36.9%、「幼稚園・保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業」が13.1%、身近な場所で保育する事業（ファミサポ等）が3.5%となっています。

### ○子育て環境の充実に向けて

問34『久喜市の子育て環境で充実すべきと思うもの』では、就学前児童保護者で「小児医療や救急医療体制の整備」が50.4%、「子育て家庭に対する経済的支援の充実」が44.3%、「子どもの遊び場（公園や児童館など）の整備」が36.6%（前回調査では、54.6%、43.0%、49.1%）となっており、「子どもの遊び場（公園や児童館など）の整備」は前回よりも減っています。小学生保護者で「子育て家庭に対する経済的支援の充実」が49.5%、「小児医療や救急医療体制の整備」が44.6%、「子どもの遊び場（公園や児童館など）の整備」が41.4%（前回調査では、34.7%、59.0%、50.9%）となっており、「小児医療や救急医療体制の整備」と「子どもの遊び場（公園や児童館など）の整備」は前回よりも減っています。

### 3. 子どもの生活に関する調査結果

- ・市実施分と県実施分をあわせて集計した結果を示しています。
- ・埼玉県調査（令和5年度実施）と同様に、世帯の年間収入について、「世帯人数」を踏まえて下記のように処理し、「等価世帯収入」の水準による分類を行いました。（下表のとおり）

○年間収入に関する回答の各選択肢の中央値をその世帯の収入の値とする（例えば、「50万円未満」であれば25万円、「50～100万円未満」であれば75万円とする。なお、「1000万円以上」は1050万円とする。）

○上記の値を、保護者票問2で把握される同居家族の人数の平方根をとったもので除す。

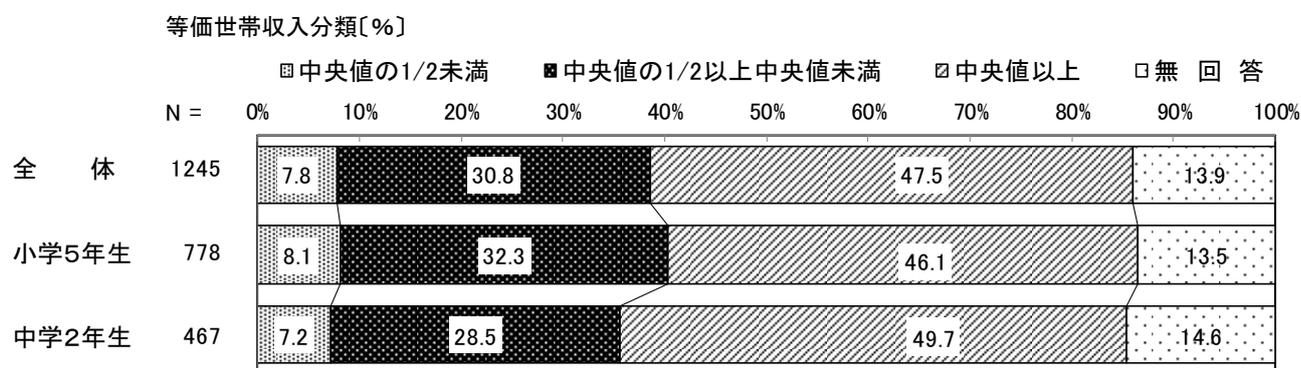
○上記の方法で算出した値（等価世帯収入）の中央値を求め、さらに、その2分の1未満であるか否かで分類する。

※令和3年12月内閣府政策統括官(政策調整担当)発行「令和3年子供の生活状況調査の分析報告書」から引用

※県報告書より引用

※埼玉県調査の中央値は306.19万円

- ・本調査では、「中央値の1/2未満」は7.8%となっており、埼玉県調査の10.3%より2.5%少なくなっています。



そして、生活状況別で設問を集計し、傾向がみられる点を示しています。

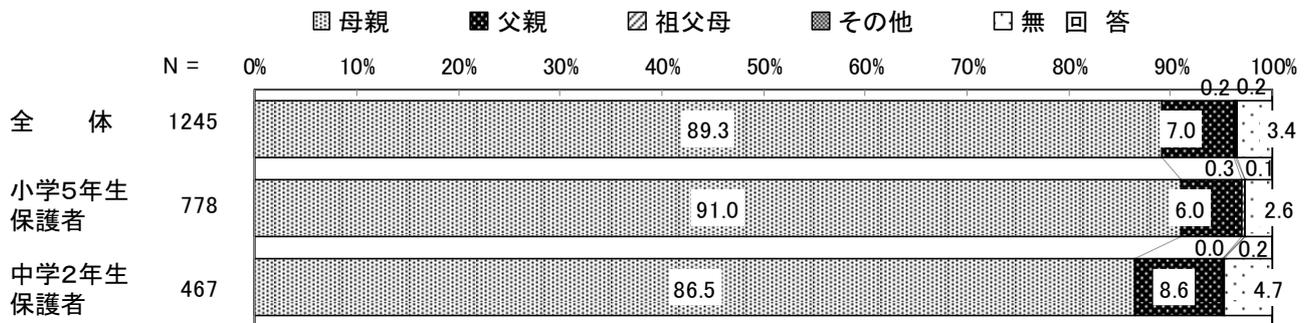
- ・こころの健康状況別は、保護者調査問23の6項目を点数化し、「問題なし（4点以下）」「要観察（5～9点）」「要注意（10点以上）」と分類して、傾向がみられる点を示しています。

### 3.1 保護者

問1 お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄でお答えください。

全体では、「母親」が 89.3%と多く、「父親」が 7.0%、「祖父母」が 0.2%となっています。

問1子どもとの関係[%]

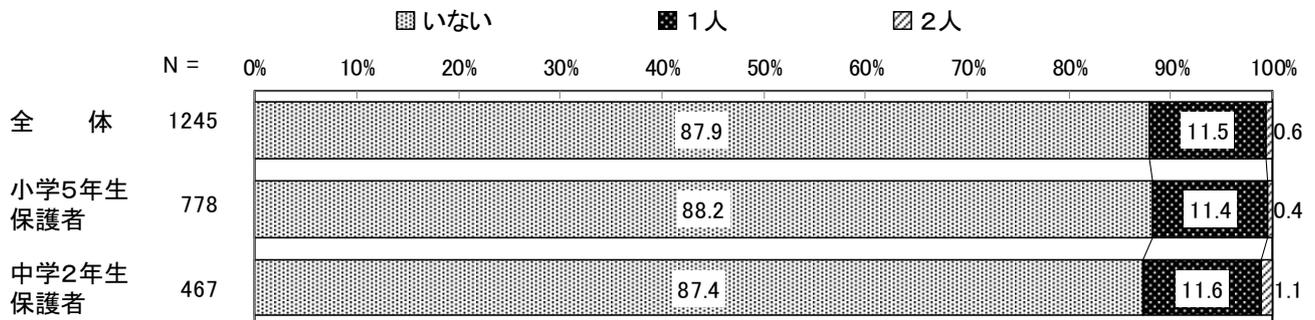


問2 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。

#### a) 祖母

全体では、「いない」が 87.9%多く、「1人」が 11.5%、「2人」が 0.6%となっています。

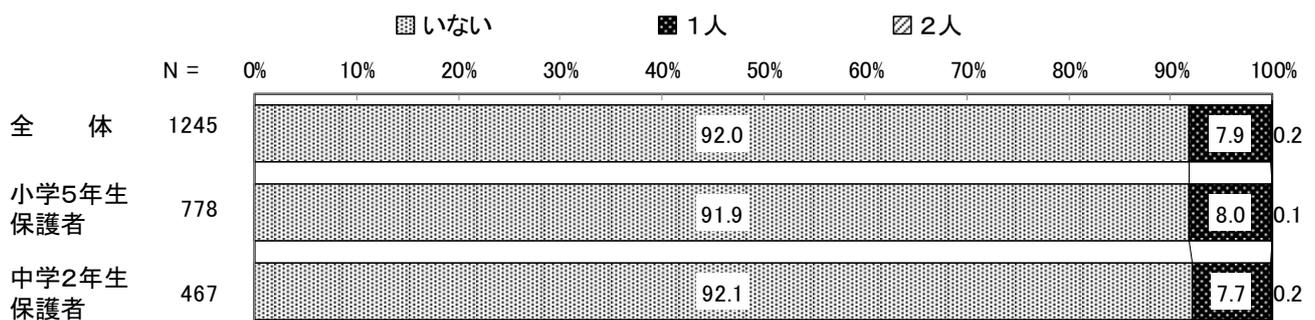
問2同居家族a)祖母[%]



#### b) 祖父

全体では、「いない」が 92.0%と多く、「1人」が 7.9%、「2人」が 0.2%となっています。

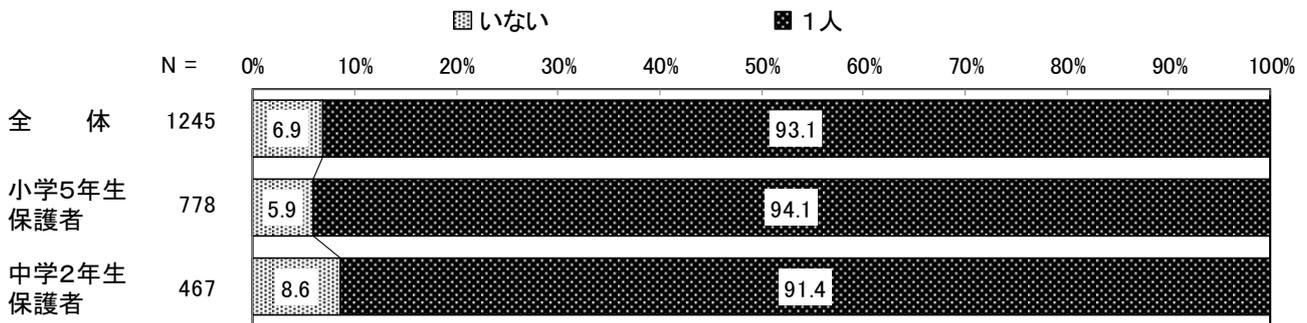
問2同居家族b)祖父[%]



c) 母親

全体では、「1人」が93.1%、「いない」が6.9%となっています。

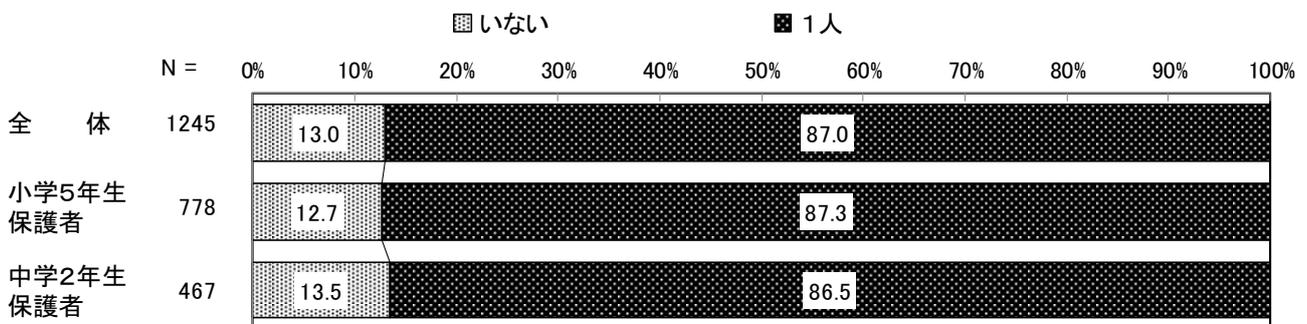
問2同居家族c) 母親[%]



d) 父親

全体では、「1人」が87.0%、「いない」が13.0%となっています。

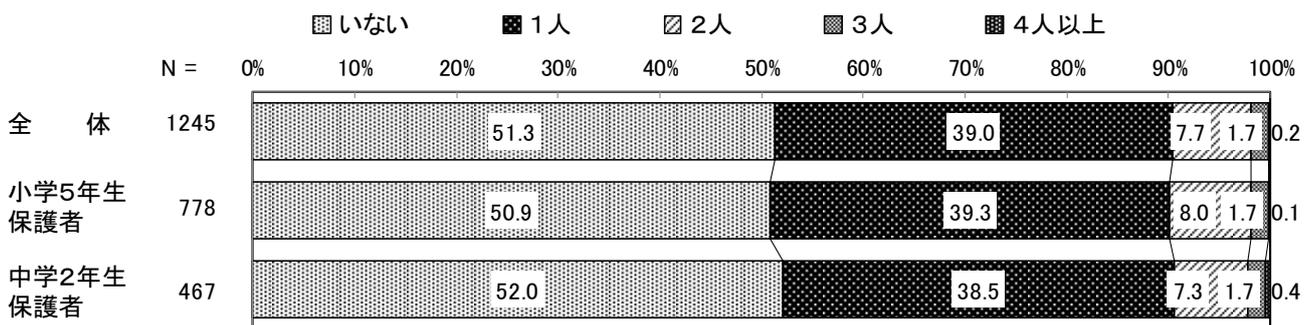
問2同居家族d) 父親[%]



e) 姉・兄

全体では、「いない」が51.3%と多く、「1人」が39.0%、「2人」が7.7%となっています。

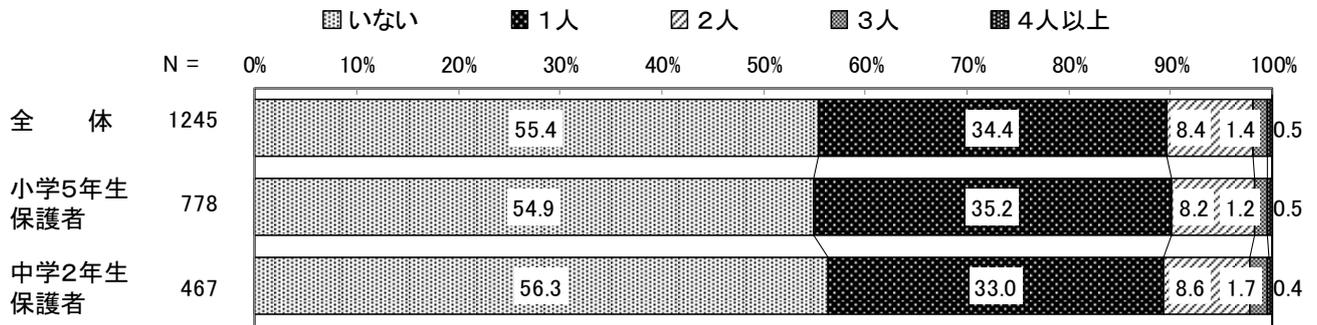
問2同居家族e) 姉兄[%]



f) 妹・弟

全体では、「いない」が55.4%と多く、「1人」が34.4%、「2人」が8.4%となっています。

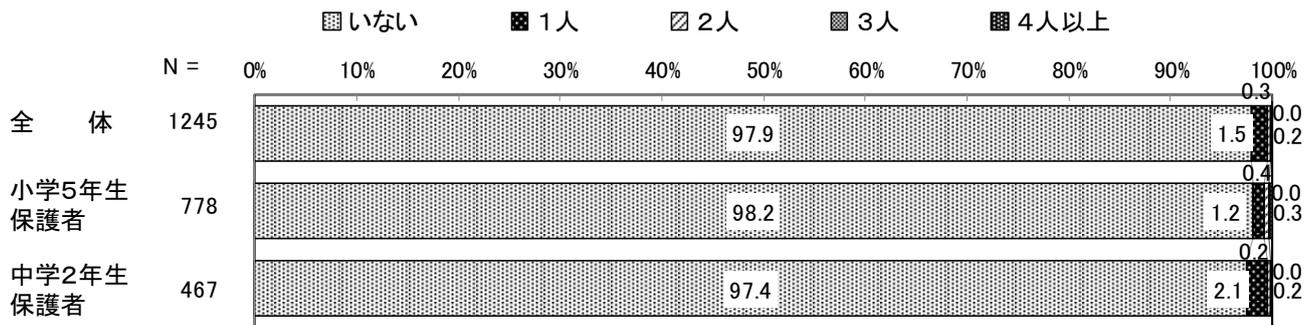
問2同居家族f) 妹弟 [%]



g) その他

全体では、「いない」が97.9%と多く、「1人」が1.5%、「2人」が0.3%となっています。

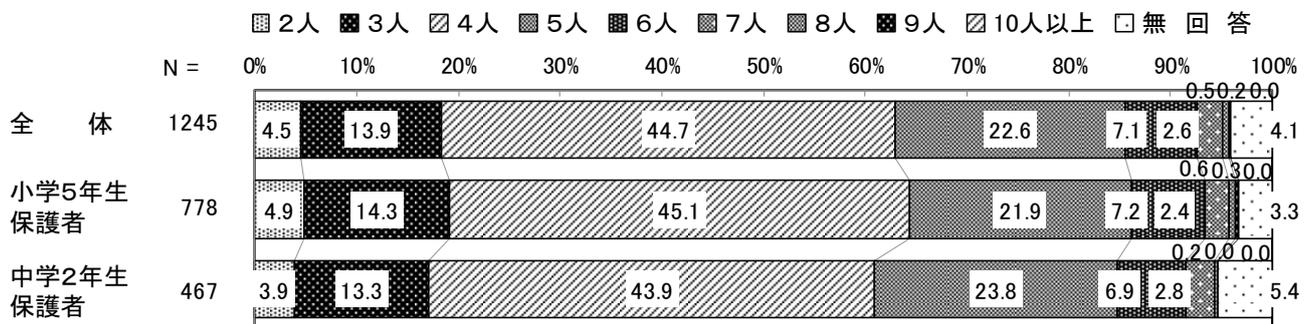
問2同居家族g) その他 [%]



h) 合計

全体では、「4人」が44.7%と多く、「5人」が22.6%、「3人」が13.9%となっています。

問2家族人数(対象児を含む)合計 [%]



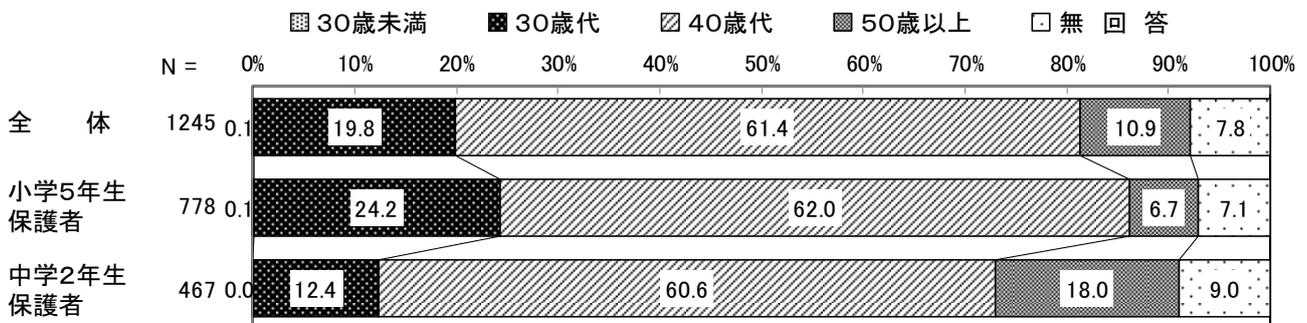
問3 お子さんの親の現在（令和6年1月1日現在）の年齢についてお答えください。

a) 母親

全体では、「40歳代」が61.4%と多く、「30歳代」が19.8%、「50歳以上」が10.9%となっています。

中学2年生保護者で「30歳代」が12.4%で、「50歳以上」が18.0%となっています。

問3保護者の年齢a)母親[%]

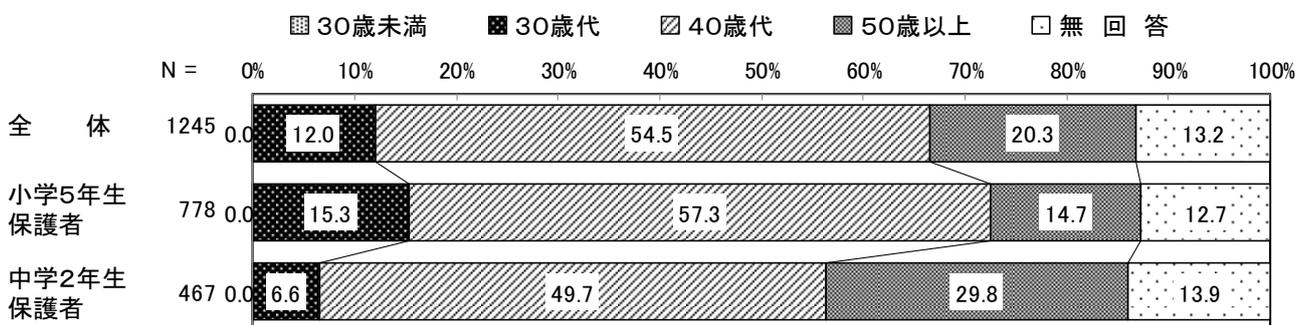


b) 父親

全体では、「40歳代」が54.5%と多く、「50歳以上」が20.3%、「30歳代」が12.0%となっています。

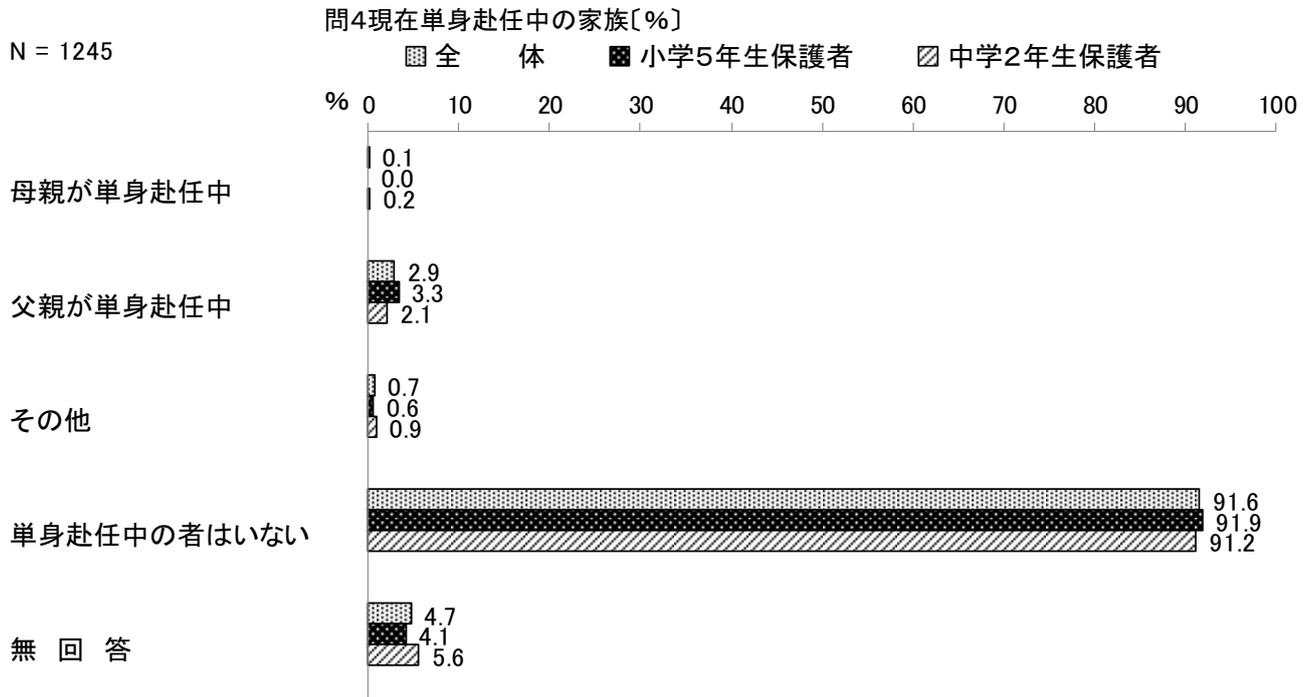
中学2年生保護者で「30歳代」が6.6%と少なく、「50歳以上」が29.8%となっています。

問3保護者の年齢b)父親[%]



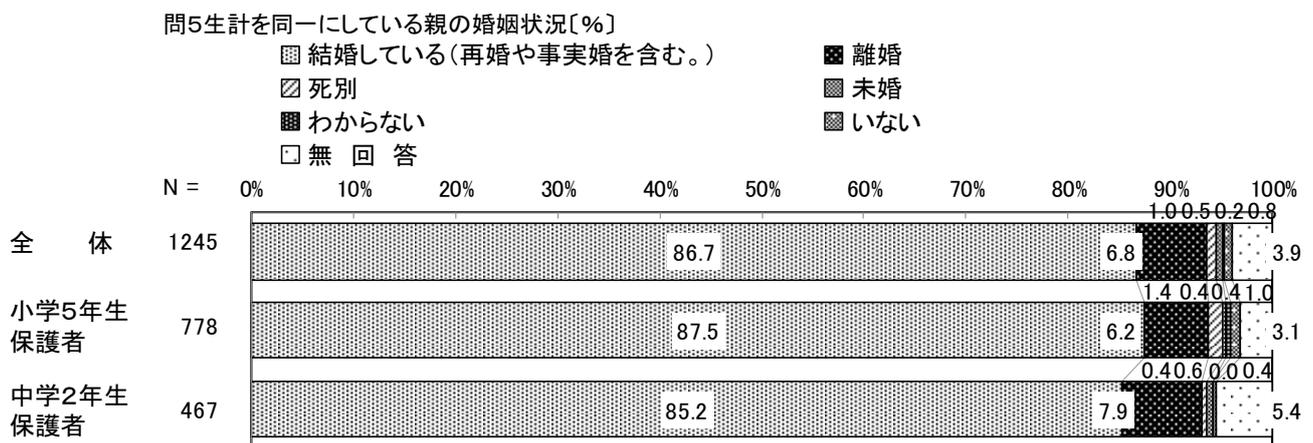
問4 お子さんのご家族のうち、現在単身赴任中の方はいらっしゃいますか。

全体では、「単身赴任中の者はいない」が91.6%と多く、「父親が単身赴任中」が2.9%、「母親が単身赴任中」が0.1%となっています。



問5 お子さんと同じく、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。

全体では、「結婚している（再婚や事実婚を含む）」が86.7%と多く、「離婚」が6.8%、「死別」が1.0%となっています。



問6 前問で「2 離婚」を選んだ場合、離婚相手と子供の養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。

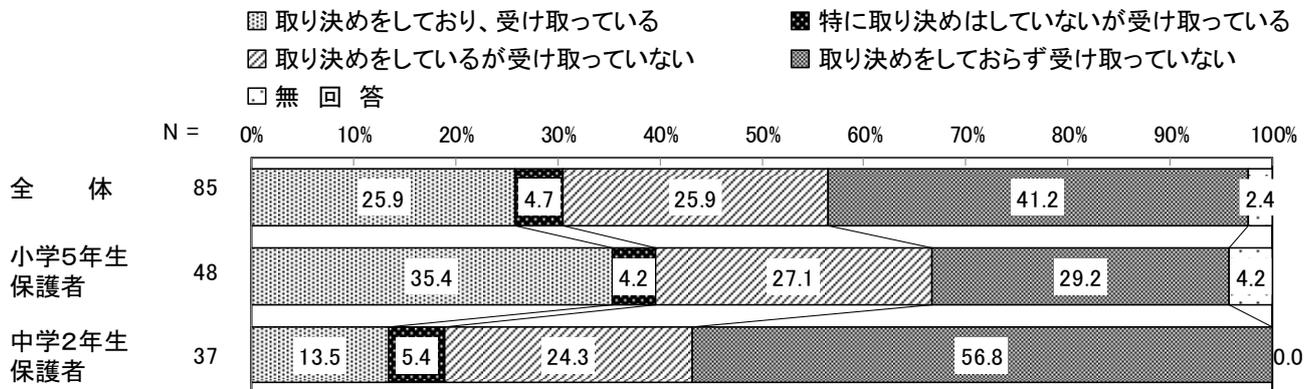
全体では、「取り決めをしておらず受け取っていない」が 41.2%と多く、「取り決めをしており、受け取っている」と「取り決めをしているが受け取っていない」がともに 25.9%となっています。

中学2年生保護者で「取り決めをしておらず受け取っていない」が 56.8%、小学5年生保護者で「取り決めをしており、受け取っている」が 35.4%と多くなっています。

◆世帯年収別では、200～400 万円未満で「取り決めをしておらず受け取っていない」が 51.6%と多くなっています。

◆世帯の子ども数別では、3人で「取り決めをしておらず受け取っていない」が 52.6%と多くなっています。(図表 3-1)

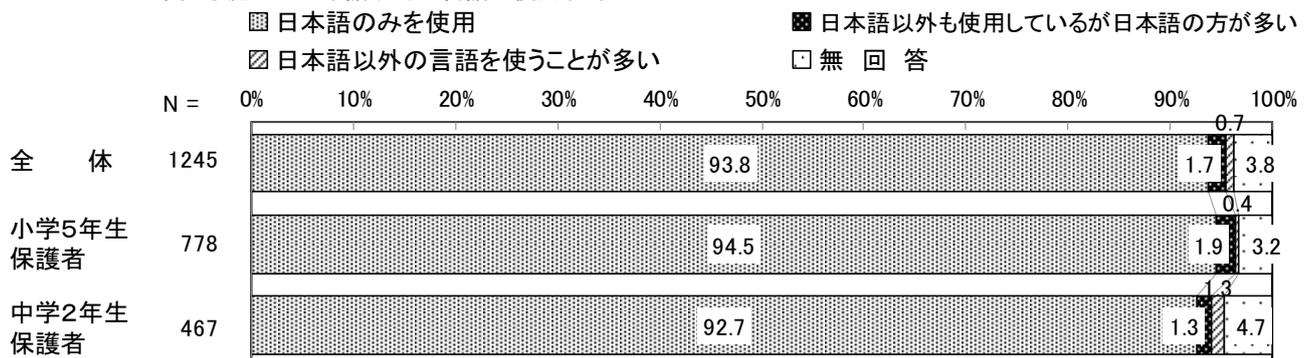
問6離婚相手と子の養育費の取り決め・受け取り[%]



問7 ご家庭では、日本語以外の言語を使用していますか。

全体では、「日本語のみを使用」が 93.8%と多く、「日本語以外も使用しているが日本語の方が多い」が 1.7%、「日本語以外の言語を使うことが多い」が 0.7%となっています。

問7家庭での日本語以外の言語の使用[%]



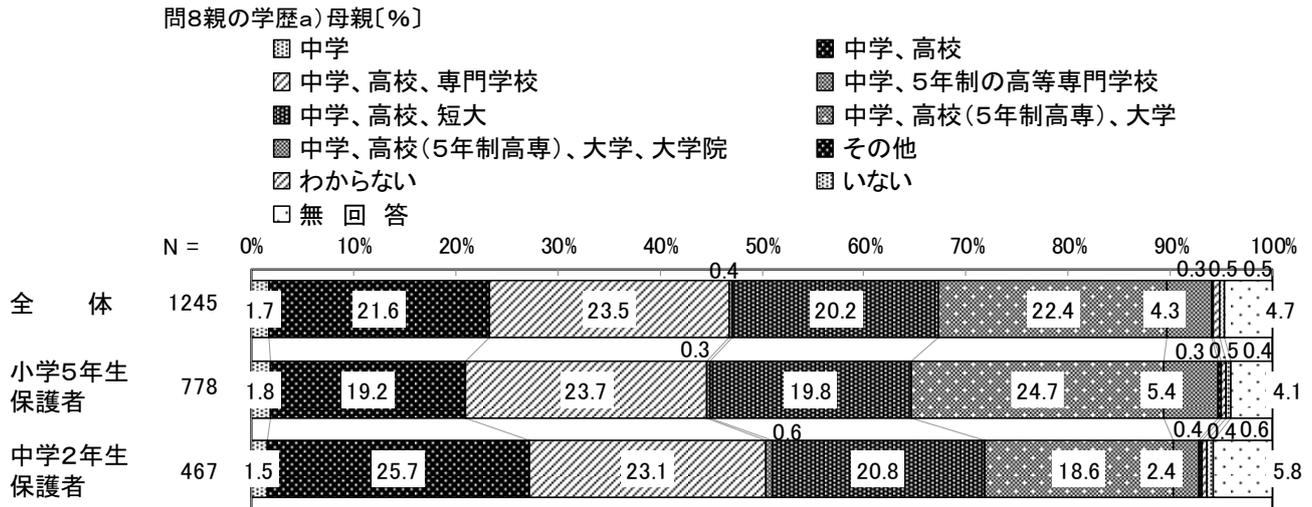
問8 お子さんの親が卒業・修了した学校をお答えください。

a) 母親

全体では、「中学、高校、専門学校」が 23.5%、「中学、高校（5年制高専）、大学」が 22.4%、「中学、高校」が 21.6%となっています。

◆生活状況別では、中央値以上で「中学、高校（5年制高専）、大学」が 30.6%、中央値の1/2未満で「中学、高校」が 38.1%と多くなっています。

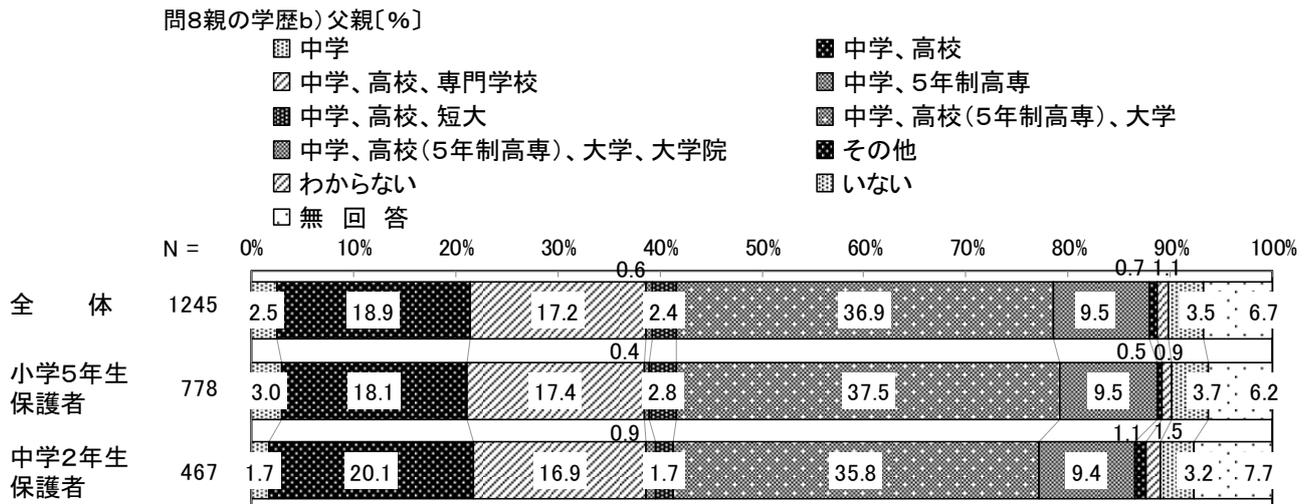
◆世帯別では、ひとり親世帯（計）で「中学、高校」が 34.5%と多くなっています。（図表 3-2）



b) 父親

全体では、「中学、高校（5年制高専）、大学」が 36.9%と多く、「中学、高校」が 18.9%、「中学、高校、専門学校」が 17.2%となっています。

◆生活状況別では、中央値以上で「中学、高校（5年制高専）、大学」が 45.9%と多くなっています。（図表 3-3）



問9 お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。

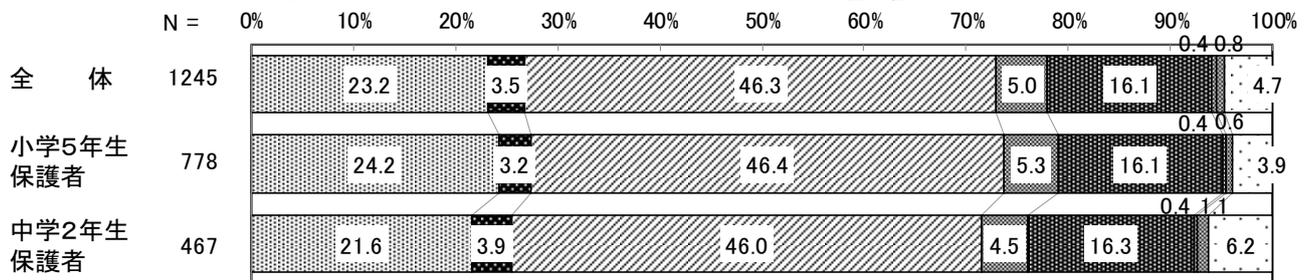
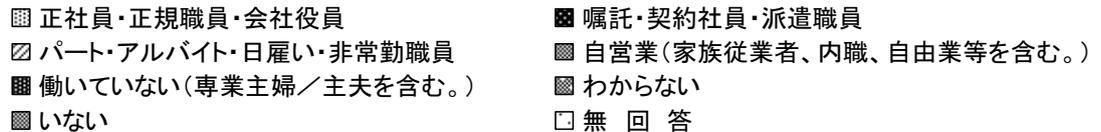
a) 母親

全体では、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が46.3%と多く、「正社員・正規職員・会社役員」が23.2%、「働いていない（専業主婦／主夫を含む。）」が16.1%となっています。

◆世帯年収別では、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」は200万円未満で69.7%、400～600万円未満で61.7%、「正社員・正規職員・会社役員」は800万円以上で37.3%と多くなっています。

◆世帯別では、ひとり親世帯（計）で「正社員・正規職員・会社役員」が40.5%と多くなっています。（図表3-4）

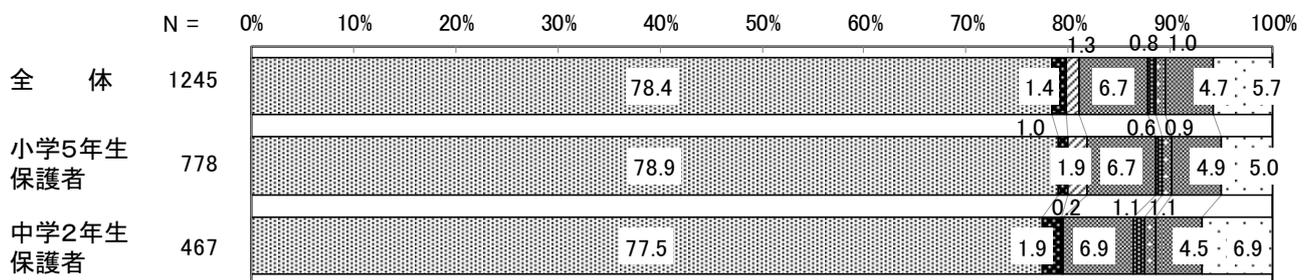
問9親の就労状況a) 母親[%]



b) 父親

全体では、「正社員・正規職員・会社役員」が78.4%と多く、「自営業（家族従業者、内職、自由業等を含む。）」が6.7%、「いない」が4.7%となっています。

問9親の就労状況b) 父親[%]



問10 前の質問で「働いていない」と答えた場合、働いていない最も主な理由を教えてください。

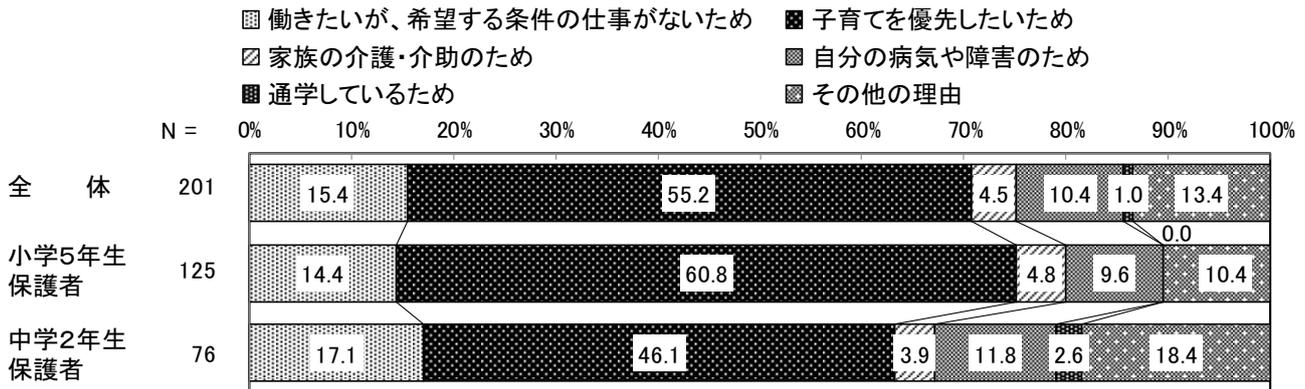
a) 母親

全体では、「子育てを優先したいため」が 55.2%と多く、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が 15.4%、「その他の理由」が 13.4%となっています。

小学5年生保護者で「子育てを優先したいため」が 60.8%、中学2年生保護者で「その他の理由」が 18.4%と多くなっています。

◆このころの健康状況別では、要注意（10点以上）で「自分の病気や障害のため」が 27.9%と多くなっています。（図表 3-5）

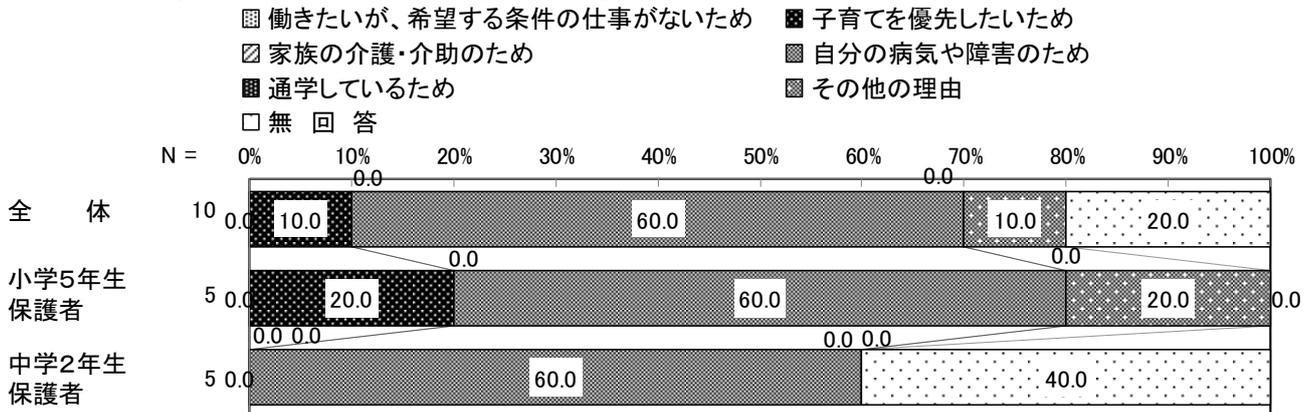
問10無職者の働いていない主な理由a) 母親[%]



b) 父親

回答数が少なく、「自分の病気や障害のため」などがみられます。

問10無職者の働いていない主な理由b) 父親[%]



問11 お子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。

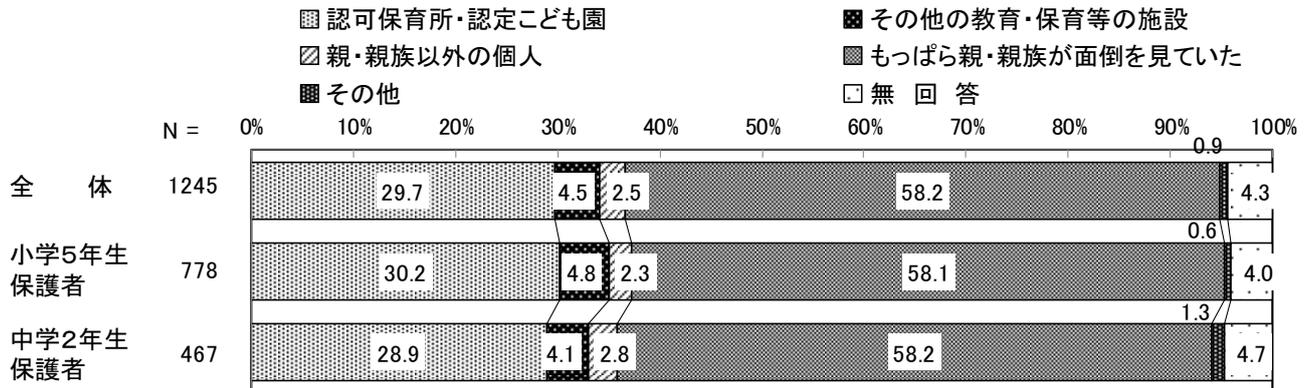
全体では、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が58.2%と多く、「認可保育所・認定こども園」が29.7%、「その他の教育・保育等の施設」が4.5%となっています。

◆世帯の子ども数別では、4人以上で「認可保育所・認定こども園」が43.4%と多くなっています。

◆生活状況別では、中央値の1/2未満で「認可保育所・認定こども園」が43.3%と多くなっています。

◆世帯別では、ひとり親世帯（計）で「認可保育所・認定こども園」が46.6%と多くなっています。（図表3-6）

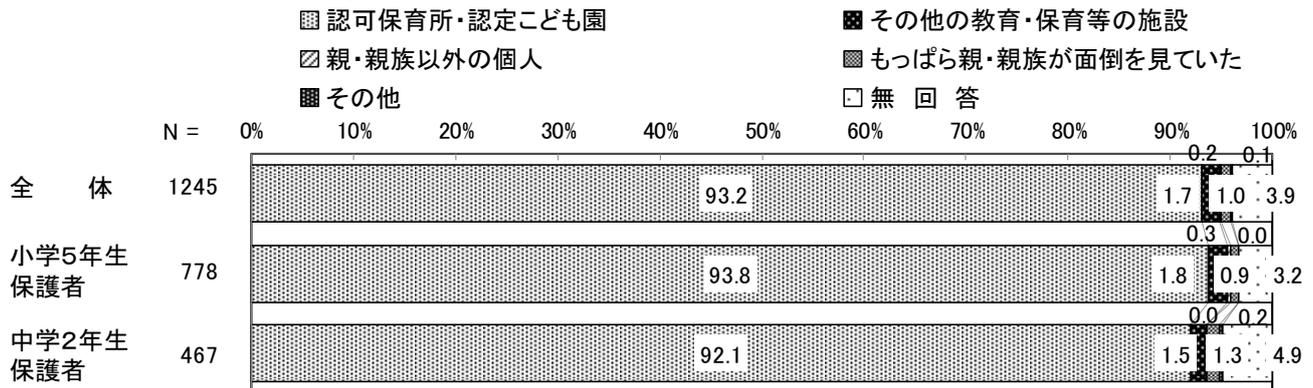
問11 2歳までに通園していた教育・保育施設等〔%〕



問12 お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。

全体では、「認可保育所・認定こども園」が93.2%と多く、「その他の教育・保育等の施設」が1.7%、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が1.0%となっています。

問12 3～5歳に通園していた教育・保育施設等〔%〕



問13 あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。

a) ゲーム等の視聴時間等のルール

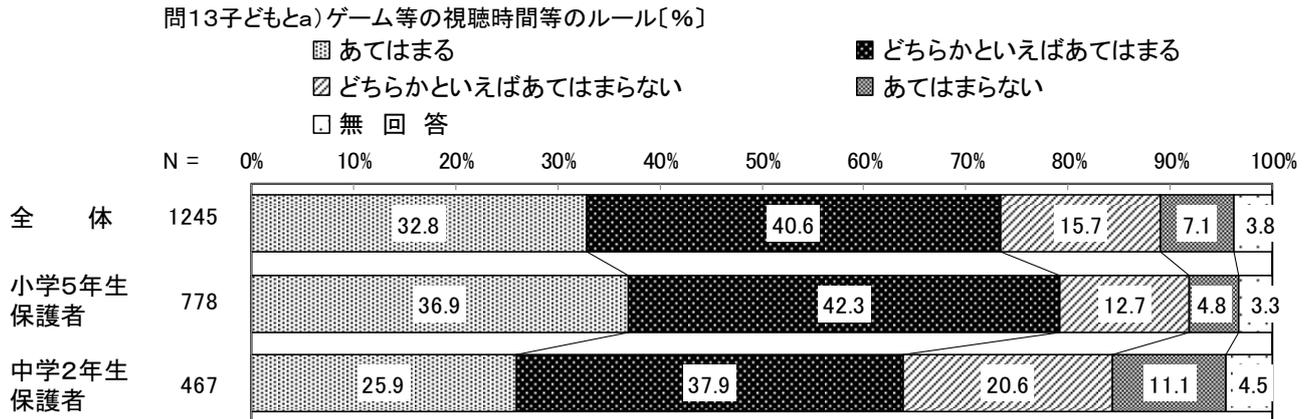
全体では、「どちらかといえばあてはまる」が40.6%で、「あてはまる」の32.8%と合わせた『あてはまる』は73.4%、『あてはまらない』（「どちらかといえばあてはまらない」と「あてはまらない」の合計）は22.8%、以下同様）となっています。

中学2年生保護者で『あてはまらない』が31.7%と多くなっています。

◆生活状況別では、中央値の1/2未満で『あてはまらない』が33.0%と多くなっています。

◆世帯別では、ひとり親世帯（計）で『あてはまらない』が33.7%と多くなっています。

(図表 3-7)



b) 本や新聞を読むように勧める

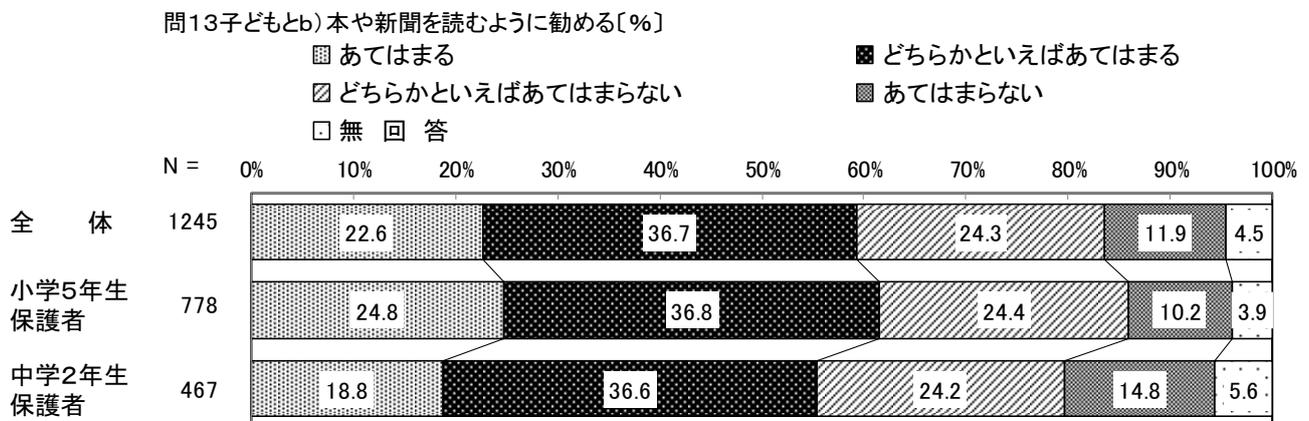
全体では、「どちらかといえばあてはまる」が36.7%で、「あてはまる」の22.6%と合わせた『あてはまる』は59.3%、『あてはまらない』は36.2%となっています。

◆世帯年収別では、800万円以上で『あてはまる』が70.4%と多くなっています。

◆生活状況別では、中央値の1/2未満で『あてはまらない』が50.5%と多くなっています。

◆世帯別では、ひとり親世帯（計）で『あてはまらない』が52.5%と多くなっています。

(図表 3-8)

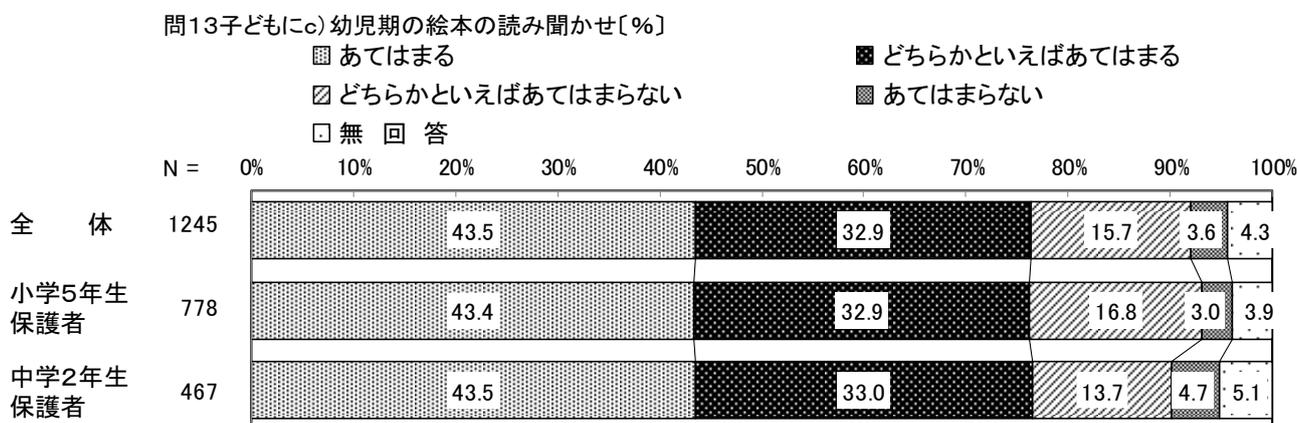


c) 幼児期の絵本の読み聞かせ

全体では、「あてはまる」が 43.5%で、「どちらかといえばあてはまる」の 32.9%と合わせた『あてはまる』は 76.4%、『あてはまらない』は 19.3%となっています。

◆世帯年収別では、800万円以上で『あてはまる』が 83.3%と多くなっています。

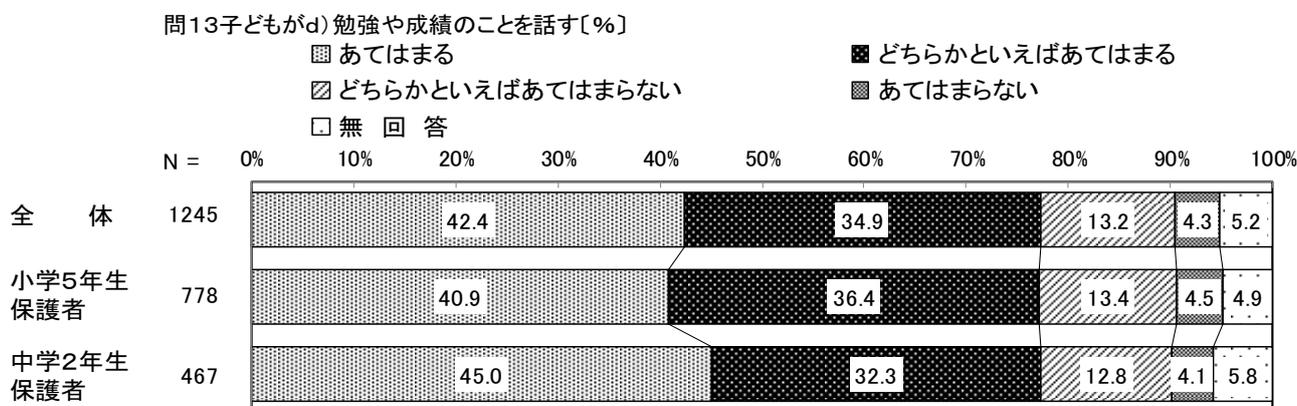
◆生活状況別では、中央値の 1/2 未満で『あてはまらない』が 32.0%と多くなっています。  
(図表 3-9)



d) 勉強や成績のことを話す

全体では、「あてはまる」が 42.4%、「どちらかといえばあてはまる」の 34.9%と合わせた『あてはまる』は 77.3%、『あてはまらない』は 17.5%となっています。

◆生活状況別では、中央値の 1/2 未満で『あてはまらない』が 28.8%と多くなっています。  
(図表 3-10)

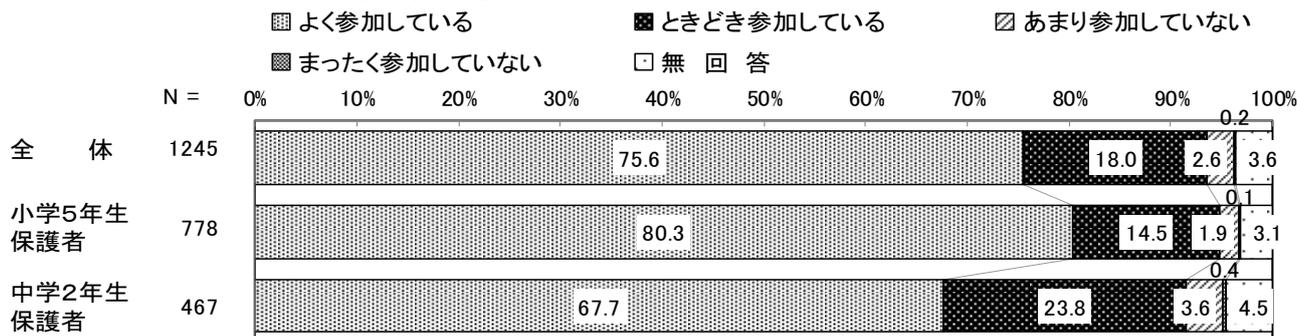


問14 あなたは、次のようなことをどの程度していますか。

a) 学校行事への参加

全体では、「よく参加している」が 75.6%と多く、「ときどき参加している」の 18.0%と合わせた『参加している』は 93.6%に上ります。『参加していない』(「あまり参加していない」と「まったく参加していない」の合計、以下同様)は 2.8%となっています。

問14子どものa) 学校行事への参加[%]



b) PTAや保護者会等への参加

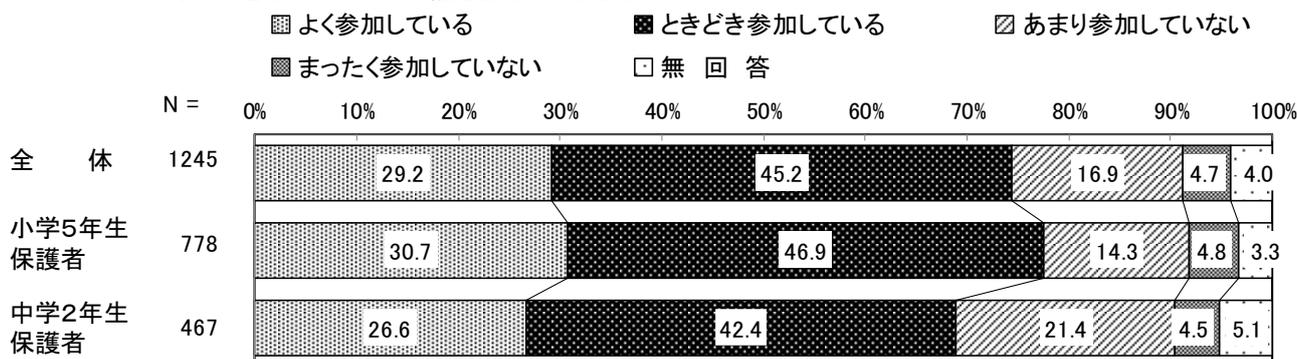
全体では、「ときどき参加している」が45.2%多く、「よく参加している」の29.2%と合わせた『参加している』は74.4%、『参加していない』は21.6%となっています。

◆生活状況別では、中央値の1/2未満で『参加していない』が40.2%と多くなっています。

◆世帯別では、ひとり親世帯(計)で『参加していない』が34.5%と多くなっています。

(図表 3-11)

問14子どものb) PTAや保護者会等への参加[%]



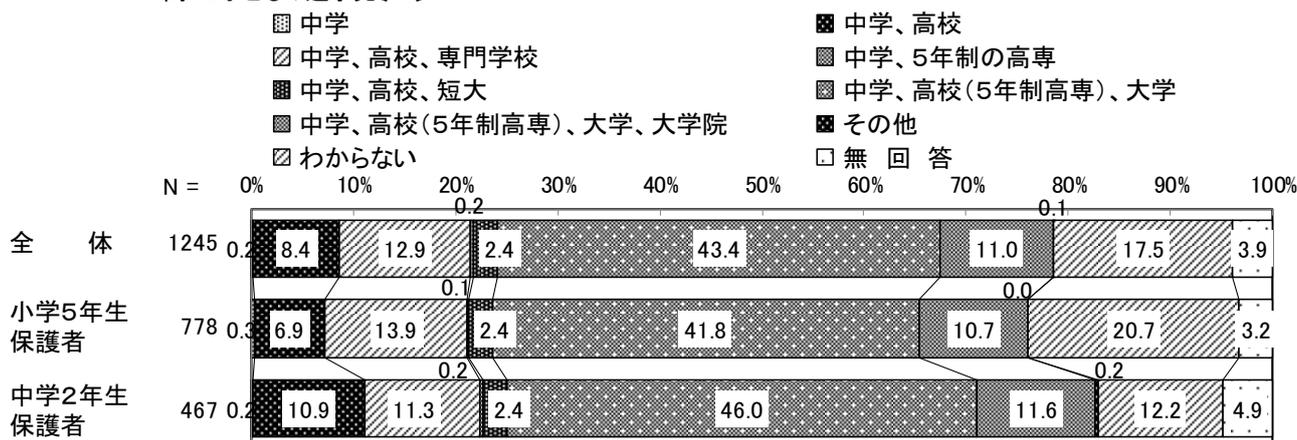
問15 お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思いますか。

全体では、「中学、高校(5年制高専)、大学」が43.4%と多く、「わからない」が17.5%、「中学、高校、専門学校」が12.9%となっています。

◆世帯年収別では、800万円以上で「中学、高校(5年制高専)、大学」が60.0%と多くなっています。

◆生活状況別では、中央値の1/2未満で「中学、高校、専門学校」が25.8%、「中学、高校」が17.5%となっています。(図表 3-12)

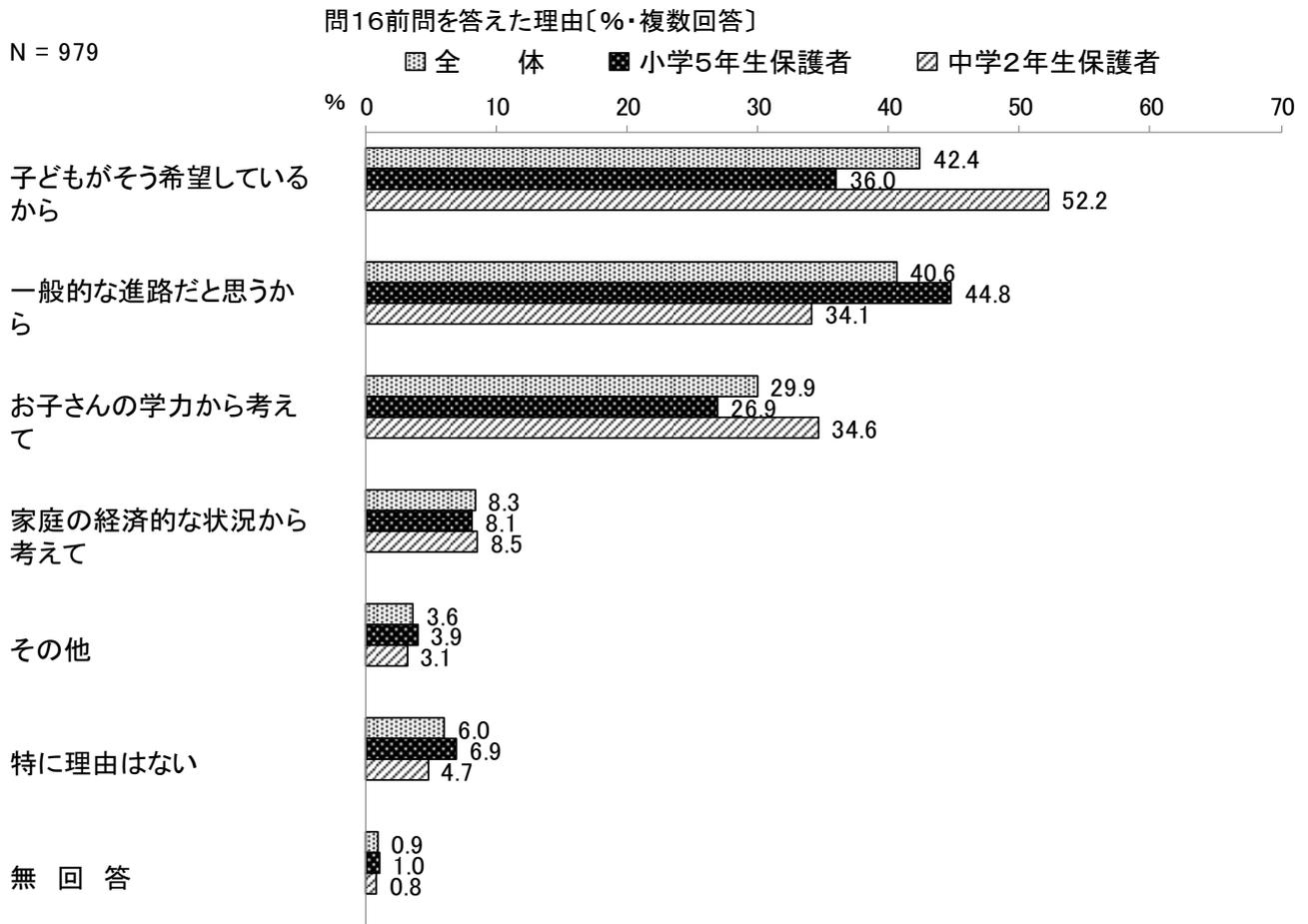
問15子どもの進学先[%]



問16 前問で1～8と答えた場合、その理由は何ですか。

全体では、「子どもがそう希望しているから」が42.4%、「一般的な進路だと思うから」が40.6%と多く、「お子さんの学力から考えて」が29.9%となっています。

中学2年生保護者で「子どもがそう希望しているから」が52.2%と多くなっています。



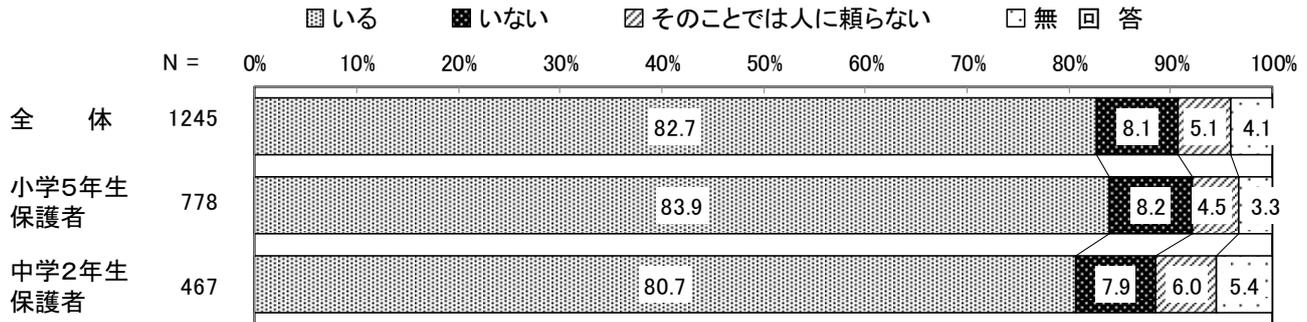
問17 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。また、「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。

a) 子育てに関する相談

全体では、「いる」が 82.7%と多く、「いない」が 8.1%、「そのことでは人に頼らない」が 5.1%となっています。

◆こころの健康状況別では、要注意（10 点以上）で「いない」が 20.3%と多くなっています。（図表 3-13）

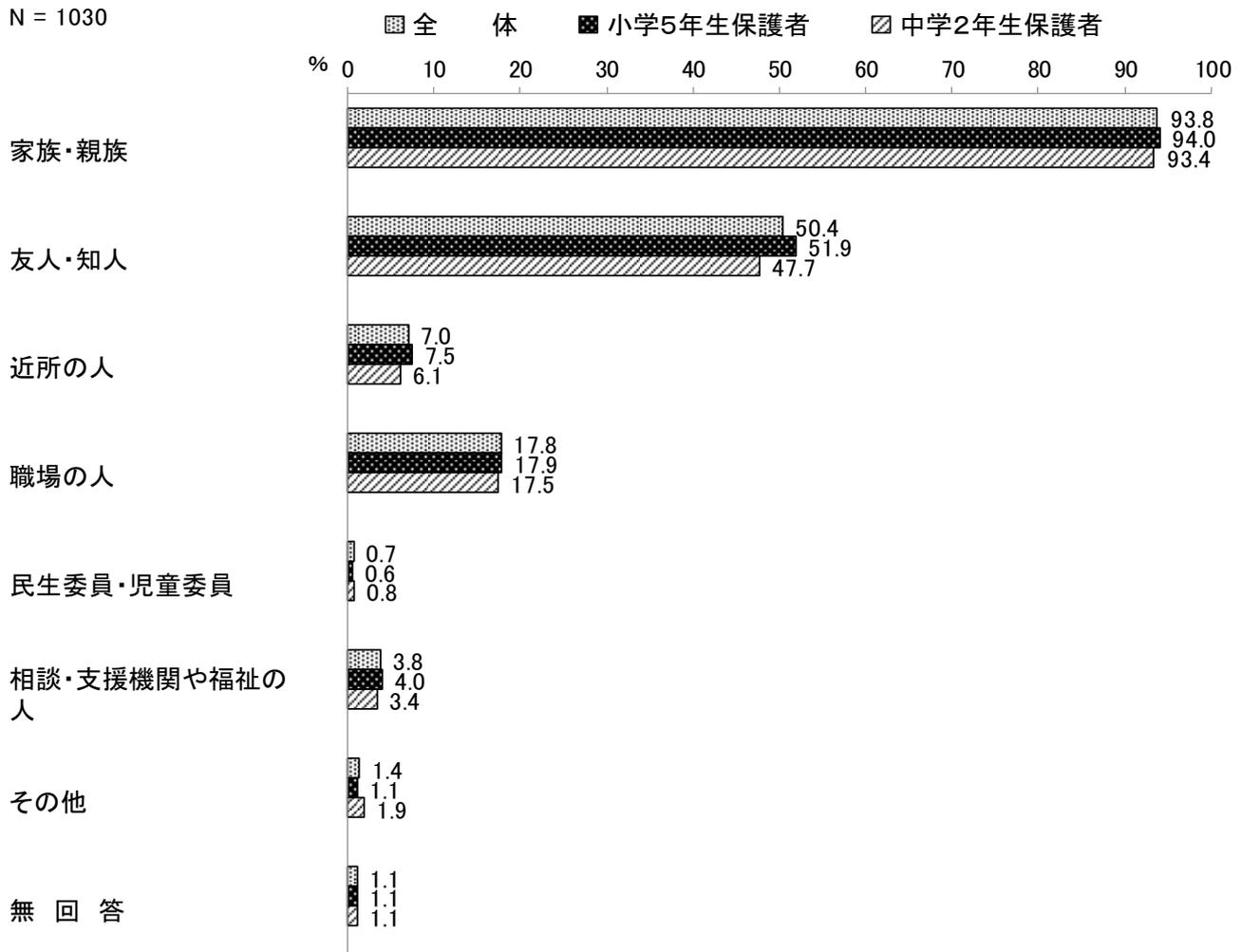
問17頼れる人の有無a)子育てに関する相談[%]



頼れる人

全体では、「家族・親族」が 93.8%と多く、次いで「友人・知人」が 50.4%、「職場の人」が 17.8%となっています。

問17頼れる人a)子育てに関する相談[%・複数回答]



b) 重要な事柄の相談

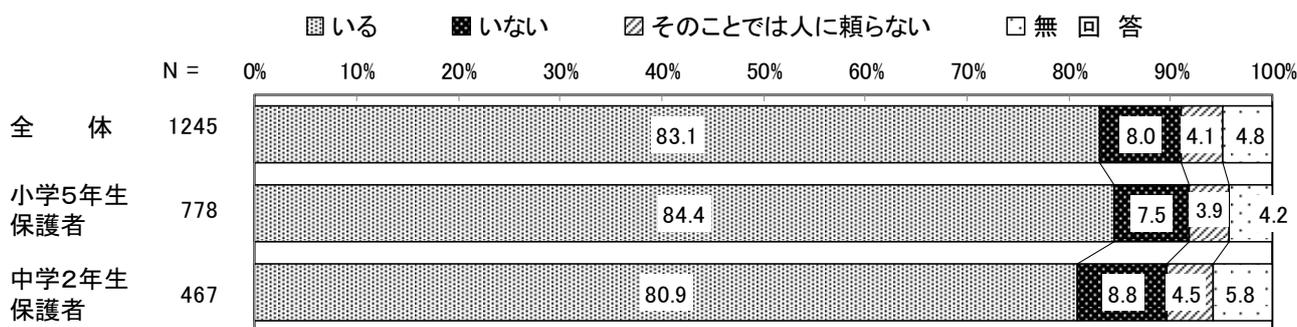
全体では、「いる」が 83.1%と多く、「いない」が 8.0%、「そのことでは人に頼らない」が 4.1%となっています。

◆生活状況別では、中央値の1/2未満で「いない」が 17.5%と多くなっています。

◆世帯別では、ひとり親世帯（計）で「いない」が 19.0%と多くなっています。

◆こころの健康状況別では、要注意（10 点以上）で「いない」が 21.4%と多くなっています。（図表 3-14）

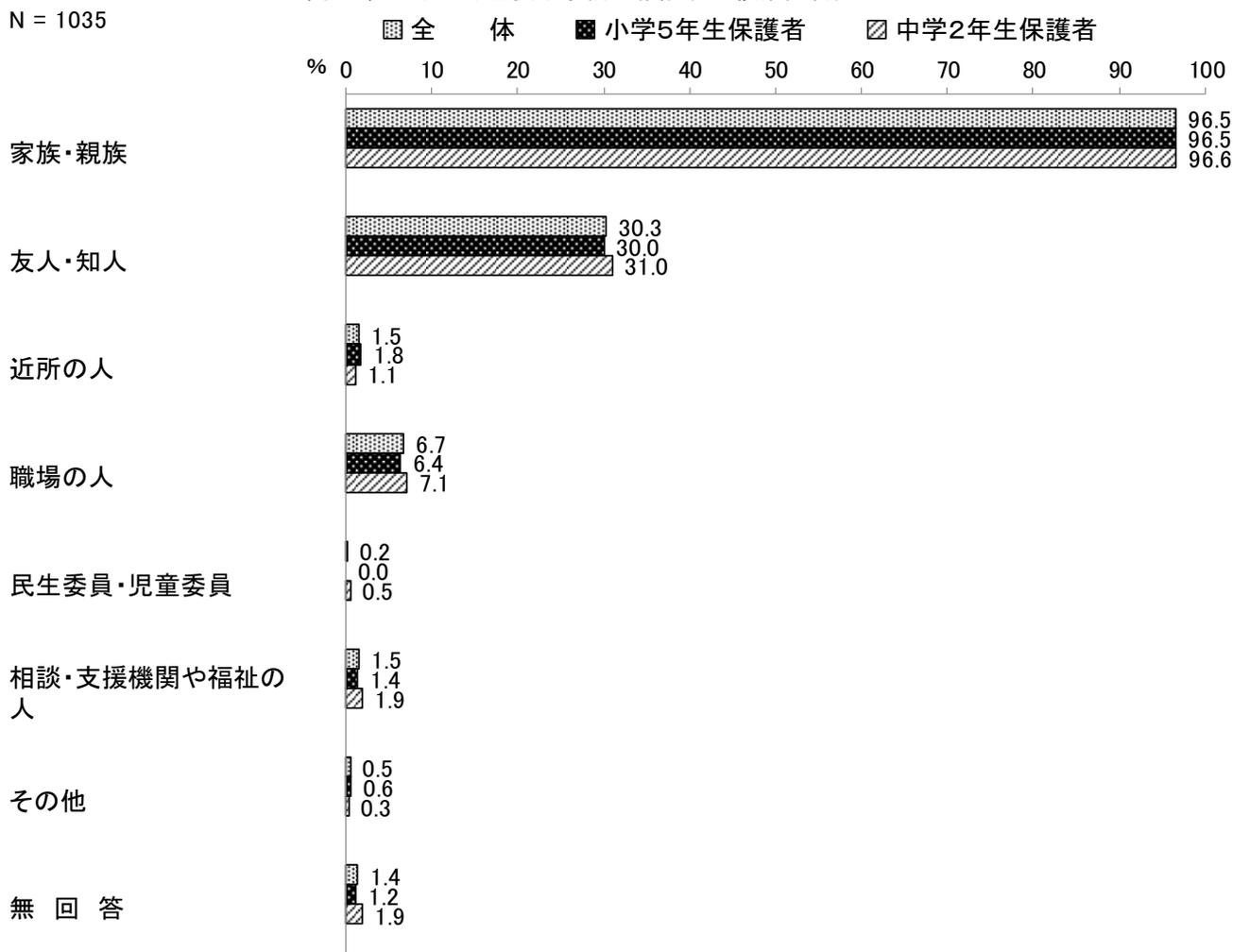
問17頼れる人の有無b) 重要な事柄の相談[%]



頼れる人

全体では、「家族・親族」が 96.5%と多く、次いで「友人・知人」が 30.3%、「職場の人」が 6.7%となっています。

問17頼れる人b) 重要な事柄の相談[%・複数回答]

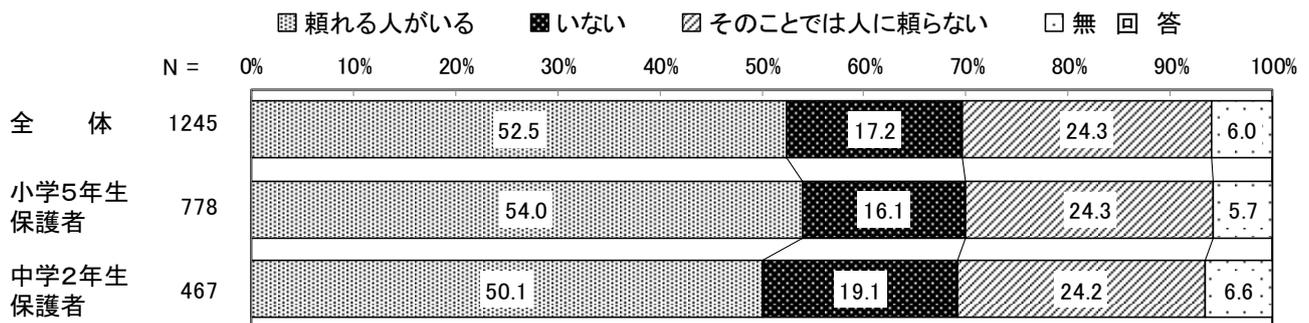


c) お金の援助

全体では、「頼れる人がいる」が 52.5%と多く、「そのことでは人に頼らない」が 24.3%、「いない」が 17.2%となっています。

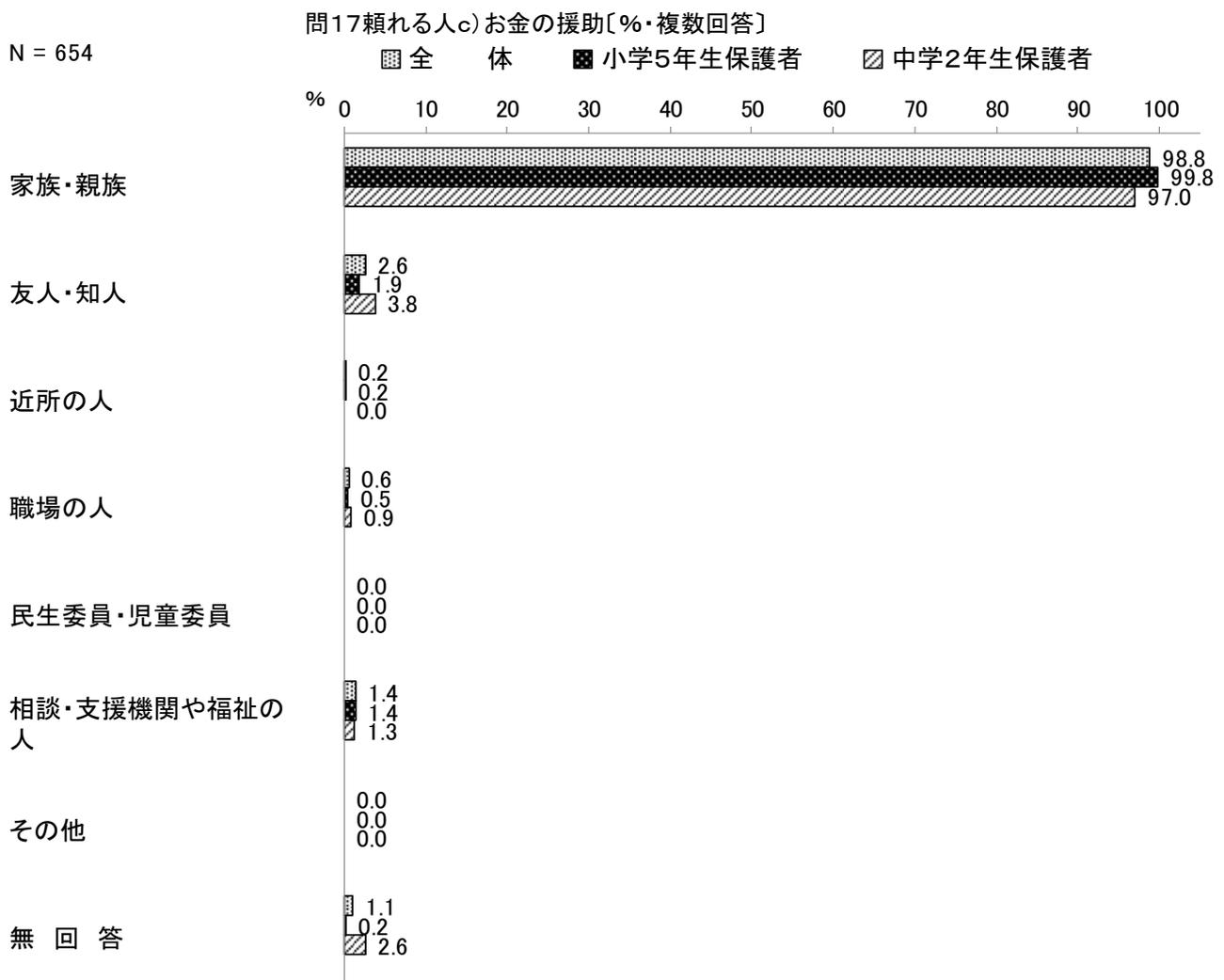
- ◆世帯年収別では、200万円未満で「いない」が33.3%と多くなっています。
- ◆生活状況別では、中央値の1/2未満で「いない」が29.9%と多くなっています。
- ◆世帯別では、ひとり親世帯（計）で「いない」が34.5%と多くなっています。
- ◆こころの健康状況別では、要注意（10点以上）で「いない」が34.9%と多くなっています。（図表3-15）

問17頼れる人の有無c) お金の援助[%]



頼れる人

全体では、「家族・親族」が 98.8%と多く、「友人・知人」が 2.6%、「相談・支援機関や福祉の人」が 1.4%となっています。



問18 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。

全体では、「ふつう」が 58.5%と多く、「苦しい」が 19.9%、「ゆとりがある」が 11.9% となっています。

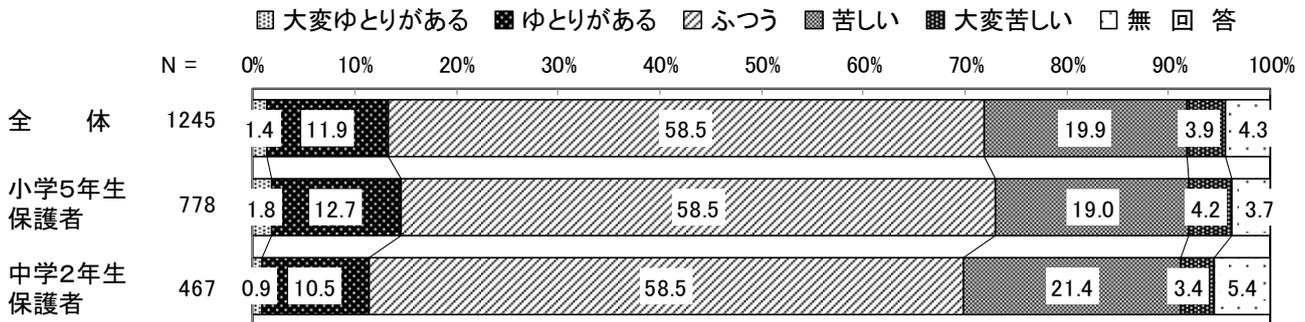
◆世帯年収別では、「苦しい」は 200 万円未満で 42.4%、200～400 万円未満で 36.5%、400～600 万円未満で 29.9%と多くなっています。

◆生活状況別では、「苦しい」は中央値の 1/2 未満で 40.2%、中央値の 1/2 以上中央値未満で 30.2%と多くなっています。

◆世帯別では、ひとり親世帯（計）で「苦しい」が 33.6%と多くなっています。

◆こころの健康状況別では、要注意（10 点以上）で「苦しい」が 40.6%と多くなっています。（図表 3-16）

問18現在の暮らしの状況[%]

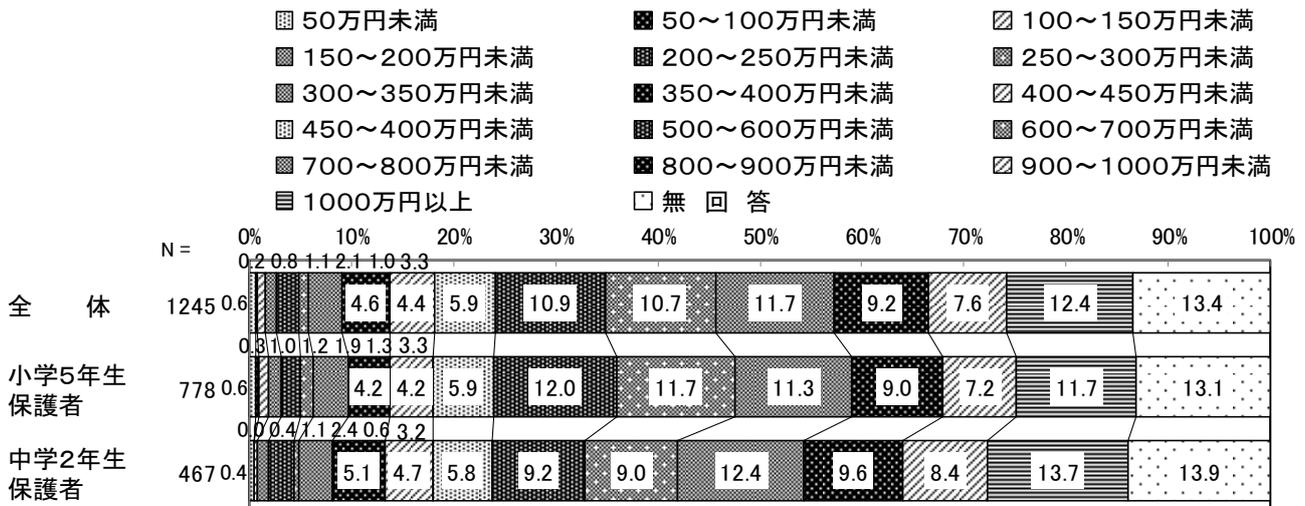


問19 世帯全体のおおその年間収入(税込)はいくらですか。

全体では、「1000 万円以上」が 12.4%、「700～800 万円未満」が 11.7%、「500～600 万円未満」が 10.9%となっています。

◆世帯別では、ひとり親世帯（計）で「200～250 万円未満」が 16.4%と多くなっています。（図表 3-17）

問19世帯全体の年間収入(税込)[%]

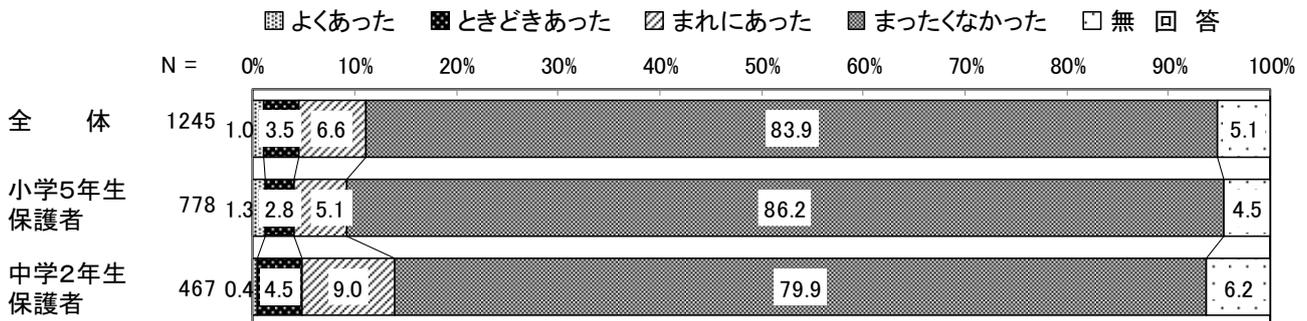


問20 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。

全体では、「まったくなかった」が83.9%と多く、「まれにあった」が6.6%、「ときどきあった」が3.5%となっています。

- ◆生活状況別では、中央値の1/2未満で「まれにあった」が22.7%と多くなっています。
- ◆世帯別では、ひとり親世帯（計）で「まれにあった」が17.2%と多くなっています。
- ◆こころの健康状況別では、要注意（10点以上）で「まれにあった」が15.1%、「ときどきあった」が12.5%と多くなっています。
- ◆現在の暮らしの状況別では、大変苦しいで「まれにあった」が26.5%、「ときどきあった」が24.5%と多くなっています。（図表3-18）

問20年間に家族が必要な食料が買えなかったこと[%]

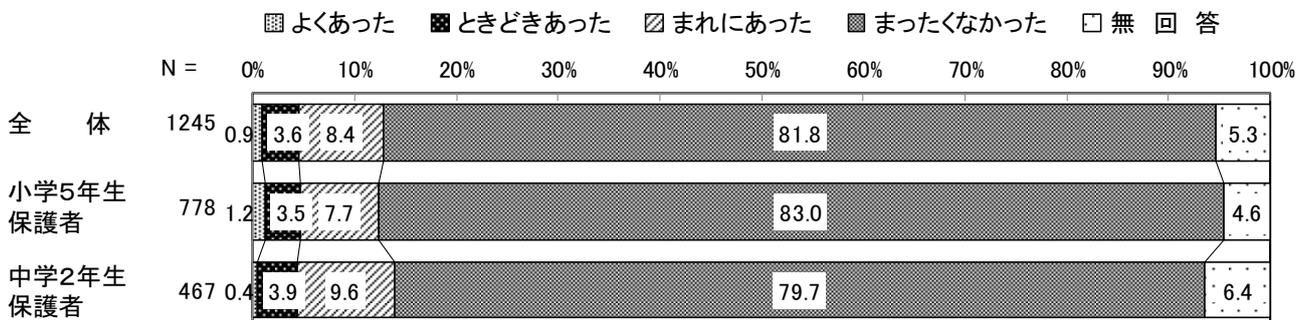


問21 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。

全体では、「まったくなかった」が81.8%と多く、「まれにあった」が8.4%、「ときどきあった」が3.6%となっています。

- ◆生活状況別では、中央値の1/2未満で「まれにあった」が24.7%と多くなっています。
- ◆現在の暮らしの状況別では、大変苦しいで「ときどきあった」が30.6%、「まれにあった」が26.5%と多くなっています。（図表3-19）

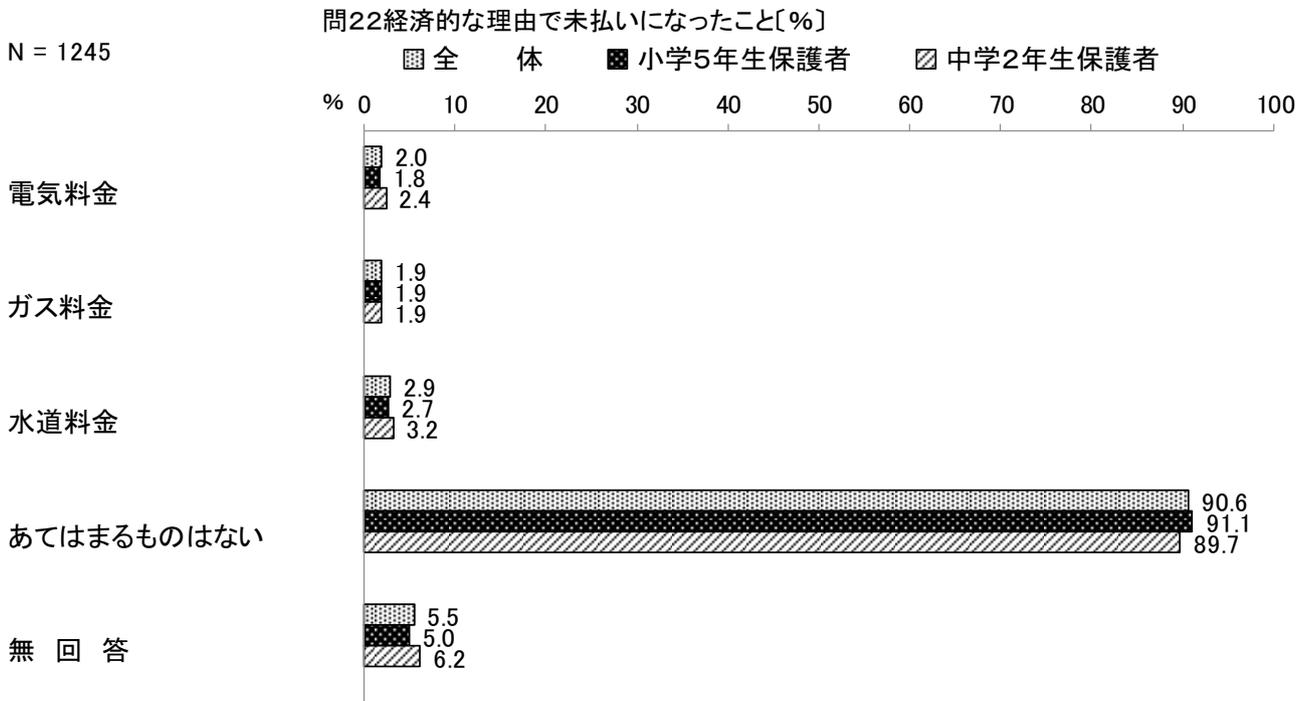
問21年間に家族が必要な衣類が買えなかったこと[%]



問22 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありますか。

全体では、「あてはまるものはない」が90.6%と多く、次いで「水道料金」が2.9%、「電気料金」が2.0%となっています。

◆生活状況別では、中央値の1/2未満で「水道料金」が15.5%、「ガス料金」が10.3%と多くなっています。(図表3-20)

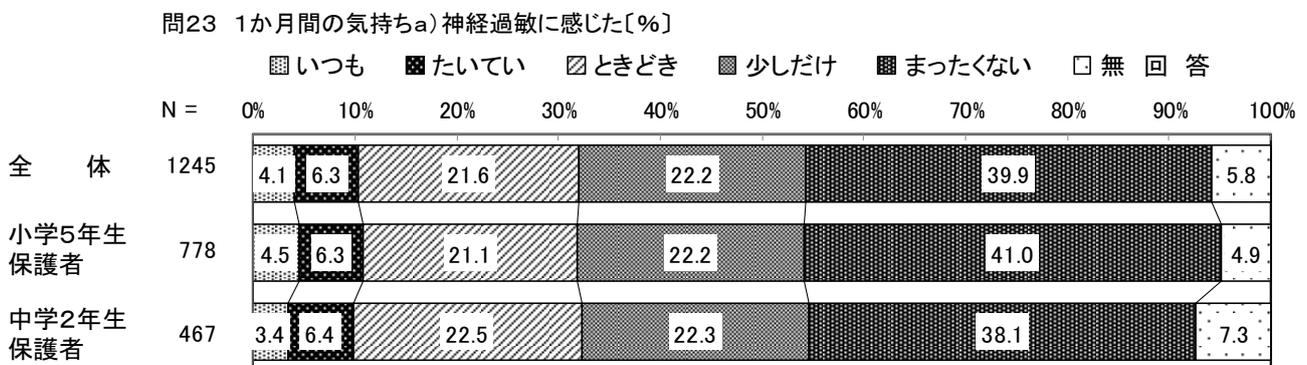


問23 次のa)~f)の質問について、この1か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。

a) 神経過敏に感じた

全体では、「まったくない」が39.9%と多く、「少しだけ」が22.2%、「ときどき」が21.6%となっています。

◆世帯年収別では、200~400万円未満で「いつも」が10.9%と多くなっています。(図表3-21)

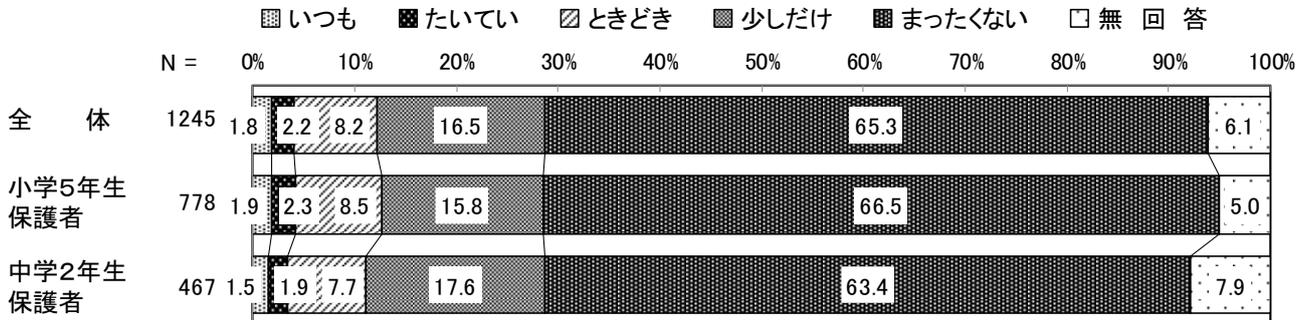


b) 絶望的だと感じた

全体では、「まったくない」が 65.3%と多く、「少しだけ」が 16.5%、「ときどき」が 8.2%となっています。

◆世帯年収別では、200万円未満で「いつも」が 9.1%と多くなっています。(図表 3-22)

問23 1か月の気持ちb) 絶望的だと感じた[%]

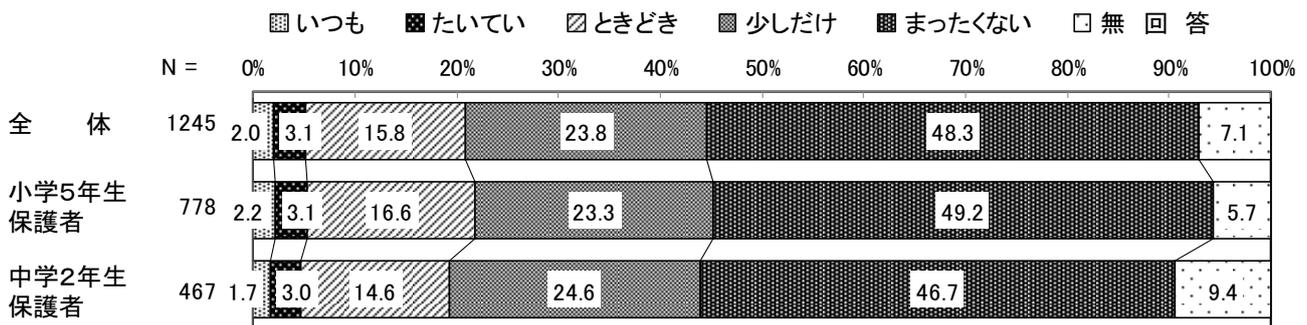


c) そわそわ落ち着かない

全体では、「まったくない」が 48.3%と多く、「少しだけ」が 23.8%、「ときどき」が 15.8%となっています。

◆世帯年収別では、200万円未満で「いつも」が 9.1%と多くなっています。(図表 3-23)

問23 1か月の気持ちc) そわそわ落ち着かない[%]

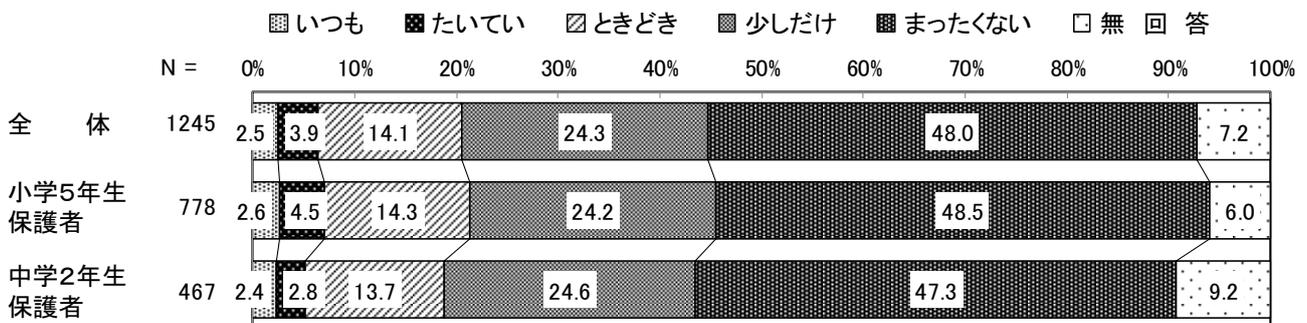


d) 気分が沈んで気が晴れない

全体では、「まったくない」が 48.0%と多く、「少しだけ」が 24.3%、「ときどき」が 14.1%となっています。

◆世帯年収別では、200万円未満で「いつも」が 12.1%と多くなっています。(図表 3-24)

問23 1か月の気持ちd) 気分が沈んで気が晴れない[%]

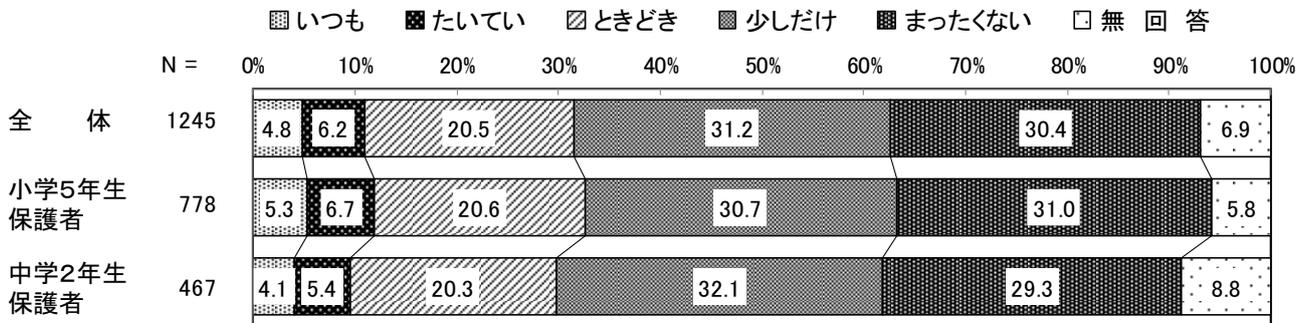


e) 何をするのも面倒だ

全体では、「少しだけ」が 31.2%と多く、「まったくない」が 30.4%、「ときどき」が 20.5%となっています。

◆世帯年収別では、200～400 万円未満で「いつも」が 12.4%と多くなっています。(図表 3-25)

問23 1か月間の気持ちe)何をするのも面倒だ[%]

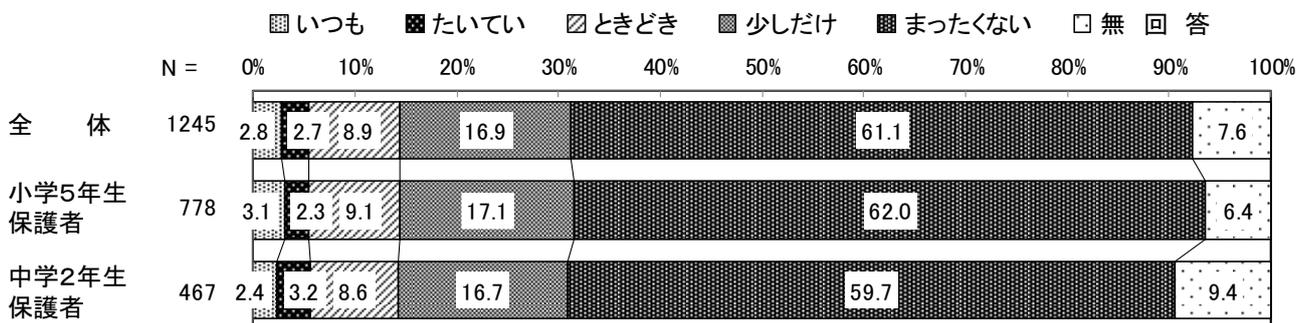


f) 自分は価値のない人間だ

全体では、「まったくない」が 61.1%と多く、「少しだけ」が 16.9%、「ときどき」が 8.9%となっています。

◆世帯年収別では、200 万円未満で「いつも」が 12.1%と多くなっています。(図表 3-26)

問23 1か月間の気持ちf)自分は価値のない人間だ[%]



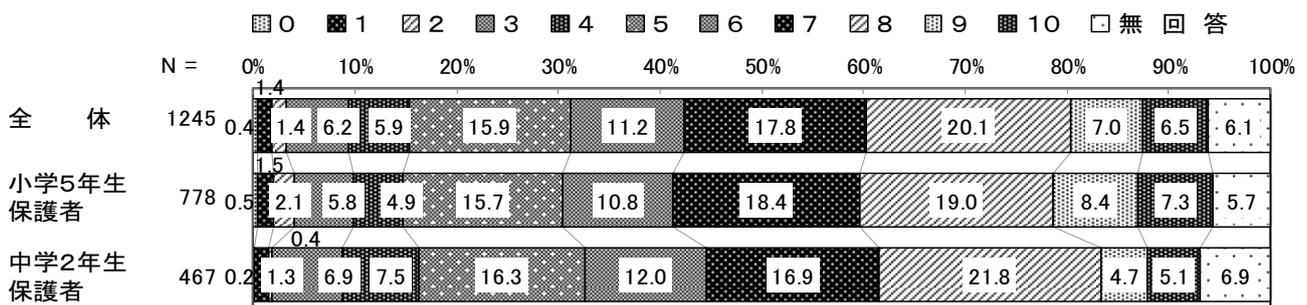
問24 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」(まったく満足していない)から「10」(十分に満足している)までの数字で教えてください。

全体では、「8」が 20.1%、「7」が 17.8%、「5」が 15.9%となっています。

◆こころの健康状況別では、要注意 (10 点以上) で「3」が 23.4%と多くなっています。

◆現在の暮らしの状況では、大変苦しいで「3」が 30.6%と多くなっています。(図表 3-27)

問24最近の生活の満足度[%]



問25 あなたのご家庭の現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大や物価高騰の影響を受け、2020年2月以前と比べ、どのように変わりましたか。

a) 世帯収入の変化

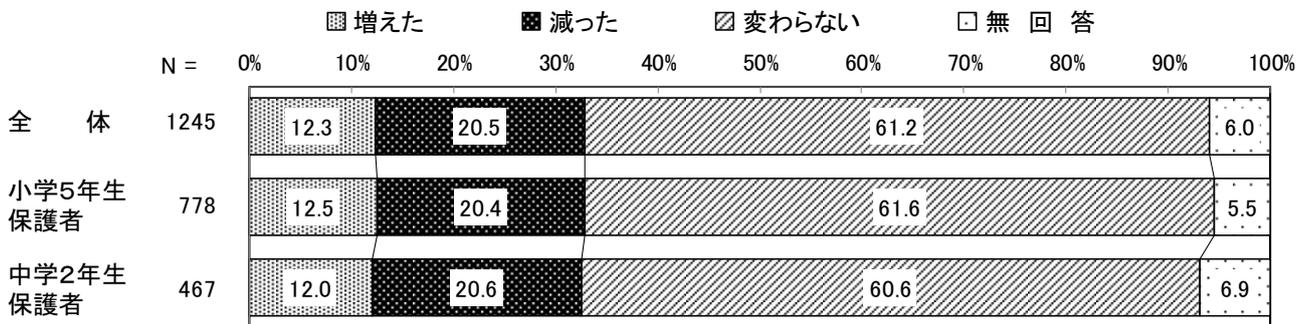
全体では、「変わらない」が61.2%と多く、「減った」が20.5%、「増えた」が12.3%となっています。

◆世帯年収別では、800万円以上で「変わらない」が70.4%、「増えた」が20.3%と多くなっています。一方、「減った」は200万円未満で39.4%、200～400万円未満で35.8%と多くなっています。

◆生活状況別では、中央値の1/2未満で「減った」が41.2%と多くなっています。

◆こころの健康状況別では、要注意（10点以上）で「減った」が32.8%と多くなっています。（図表3-28）

問25物価高騰等の影響a) 世帯収入の変化[%]

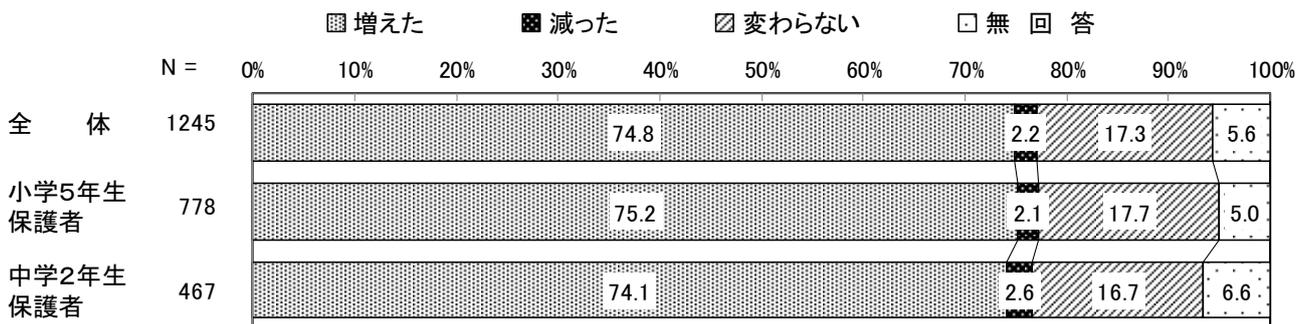


b) 生活に必要な支出の変化

全体では、「増えた」が74.8%と多く、「変わらない」が17.3%、「減った」が2.2%となっています。

◆こころの健康状況別では、「増えた」は要観察（5～9点）で86.1%、要注意（10点以上）で85.9%と多くなっています。（図表3-29）

問25物価高騰等の影響b) 生活に必要な支出の変化[%]



c) 食料や衣服を買えない

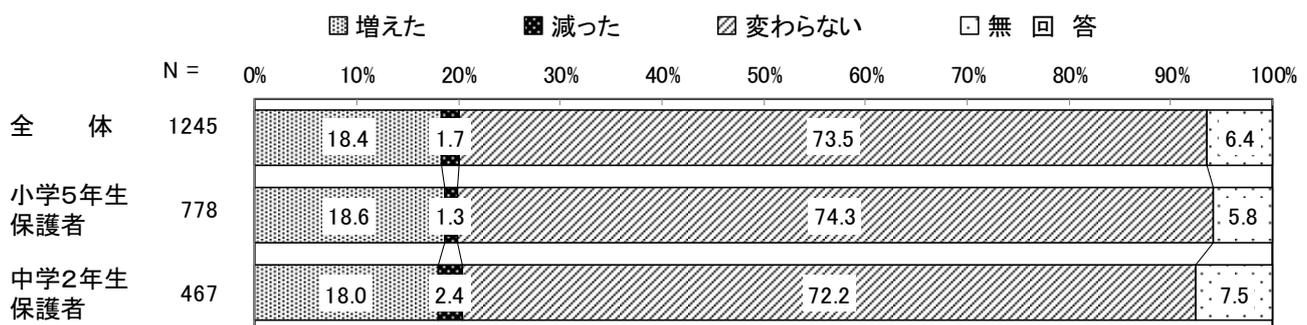
全体では、「変わらない」が73.5%と多く、「増えた」が18.4%、「減った」が1.7%となっています。

◆世帯年収別では、800万円以上で「変わらない」が90.7%と多くなっています。一方、「増えた」は200万円未満で45.5%、200～400万円未満で35.0%、400～600万円未満で26.9%と多くなっています。

◆生活状況別では、中央値の1/2未満で「増えた」が43.3%と多くなっています。

◆こころの健康状況別では、要注意（10点以上）で「増えた」が41.1%と多くなっています。（図表3-30）

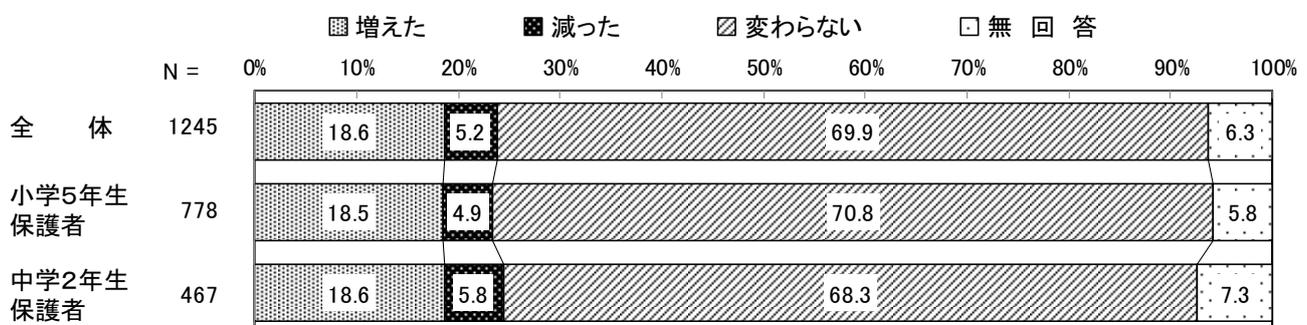
問25物価高騰等の影響c)食料や衣服を買えない[%]



d) 子どもとの会話

全体では、「変わらない」が69.9%と多く、「増えた」が18.6%、「減った」が5.2%となっています。

問25物価高騰等の影響d)子どもとの会話話[%]

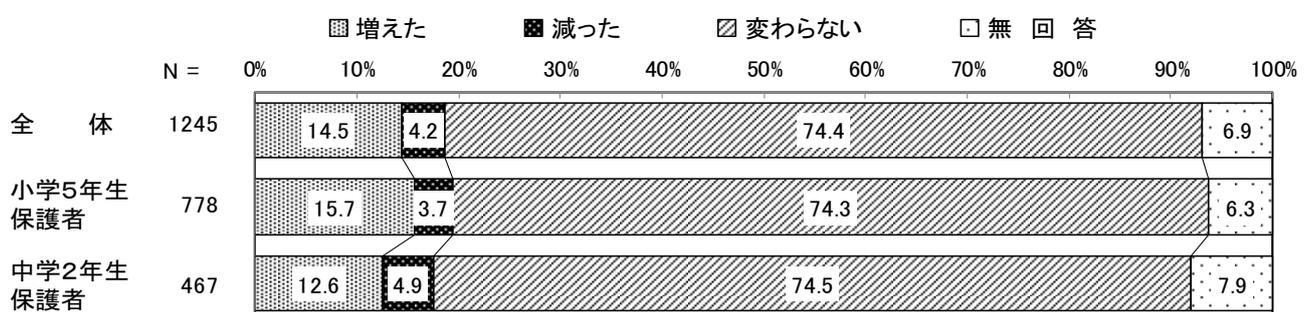


e) 家庭内で言い争い・もめごと

全体では、「変わらない」が74.4%と多く、「増えた」が14.5%、「減った」が4.2%となっています。

◆こころの健康状況別では、「増えた」は要注意（10点以上）で36.5%、要観察（5～9点）で22.1%と多くなっています。（図表3-31）

問25物価高騰等の影響e)家庭内で言い争い・もめごと[%]



f) イライラや不安、気分が沈む

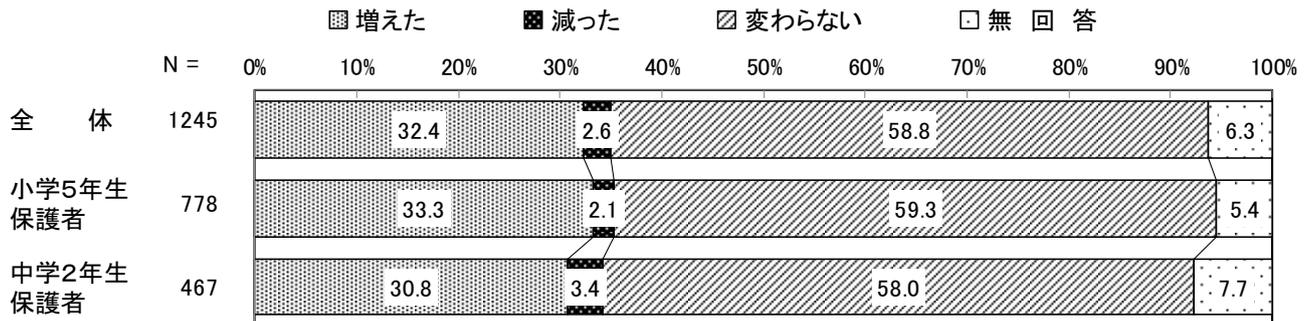
全体では、「変わらない」が58.8%と多く、「増えた」が32.4%、「減った」が2.6%となっています。

◆世帯年収別では、800万円以上で「変わらない」が74.0%と多くなっています。一方、「増えた」は200～400万円未満で50.4%と多くなっています。

◆生活状況別では、中央値の1/2未満で「増えた」が56.7%と多くなっています。

◆こころの健康状況別では、「増えた」は要注意（10点以上）で74.0%、要観察（5～9点）で52.1%と多くなっています。（図表3-32）

問25物価高騰等の影響f) イライラや不安、気分が沈む[%]



問26 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。また、「3 利用したことがない」場合、その理由は何ですか。

a) 就学援助

全体では、「利用したことがない」が 83.6%と多く、「現在利用している」が 7.4%、「現在利用していないが以前利用したことがある」が 3.1%となっています。

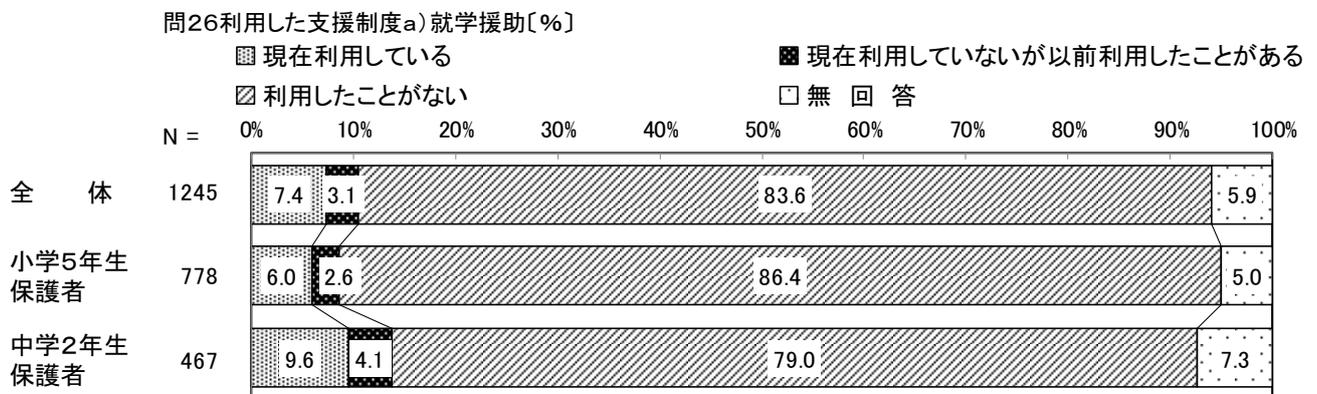
◆世帯年収別では、「現在利用している」は 200 万円未満で 60.6%、200～400 万円未満で 32.8%と多くなっています。

◆世帯の子ども数別では、4人以上で「現在利用している」が19.7%と多くなっています。

◆生活状況別では、中央値の1/2未満で「現在利用している」が49.5%と多くなっています。

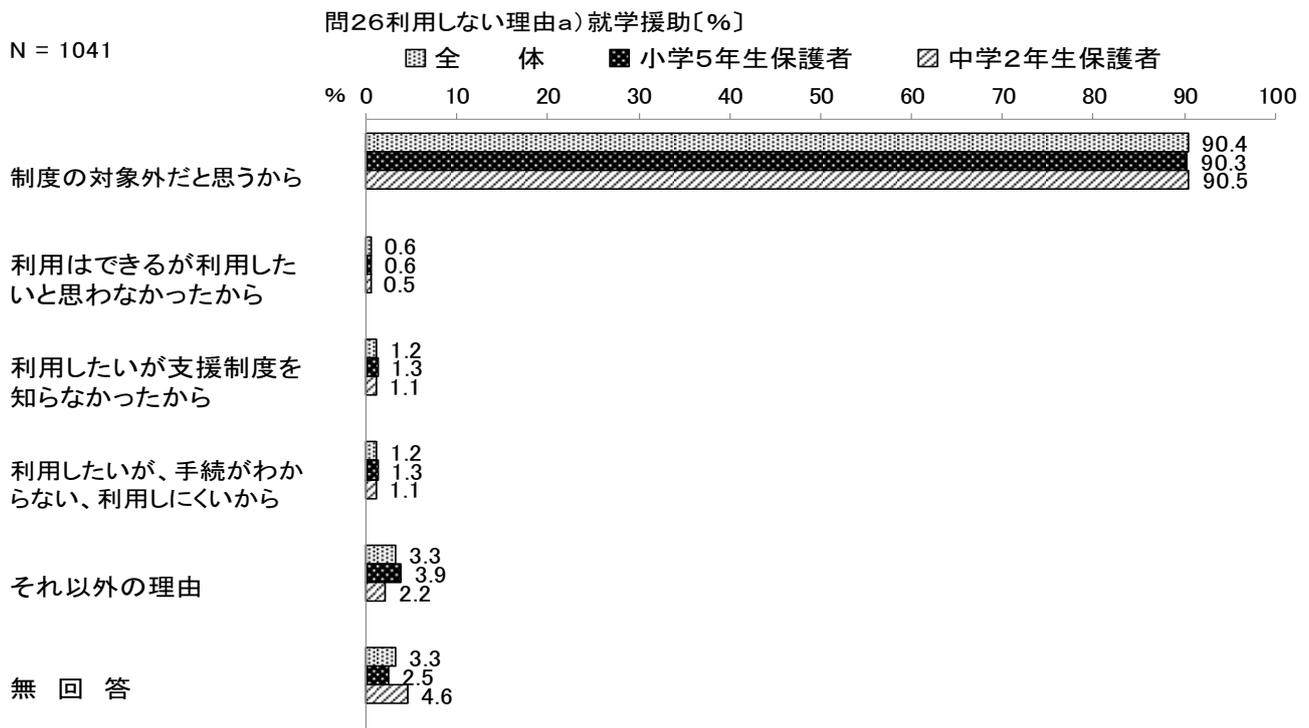
◆世帯別では、ひとり親世帯（計）で「現在利用している」が43.1%と多くなっています。

(図表 3-33)



利用しない理由

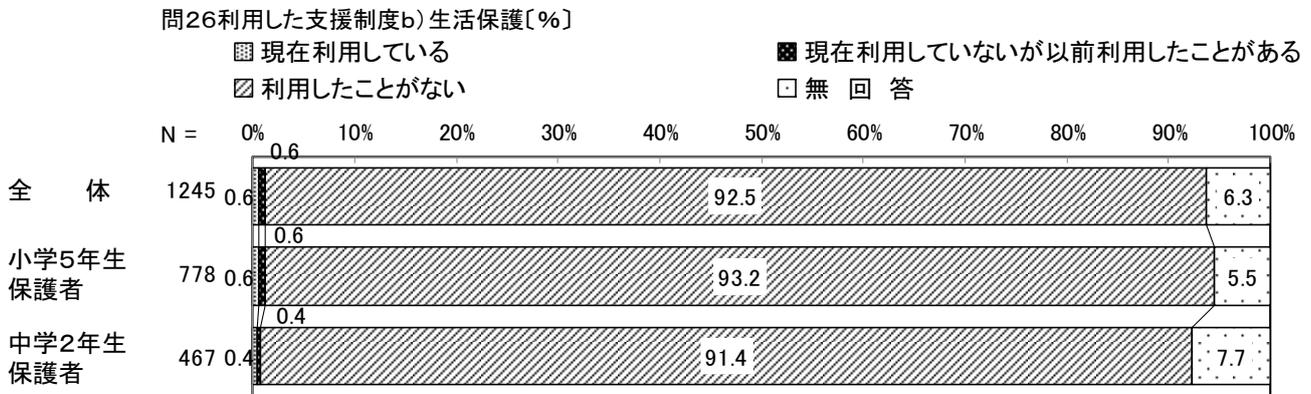
全体では、「制度の対象外だと思うから」が 90.4%と多く、「それ以外の理由」が 3.3%、「利用したいが支援制度を知らなかったから」と「利用したいが、手続きがわからない、利用しにくいから」がともに 1.2%となっています。



b) 生活保護

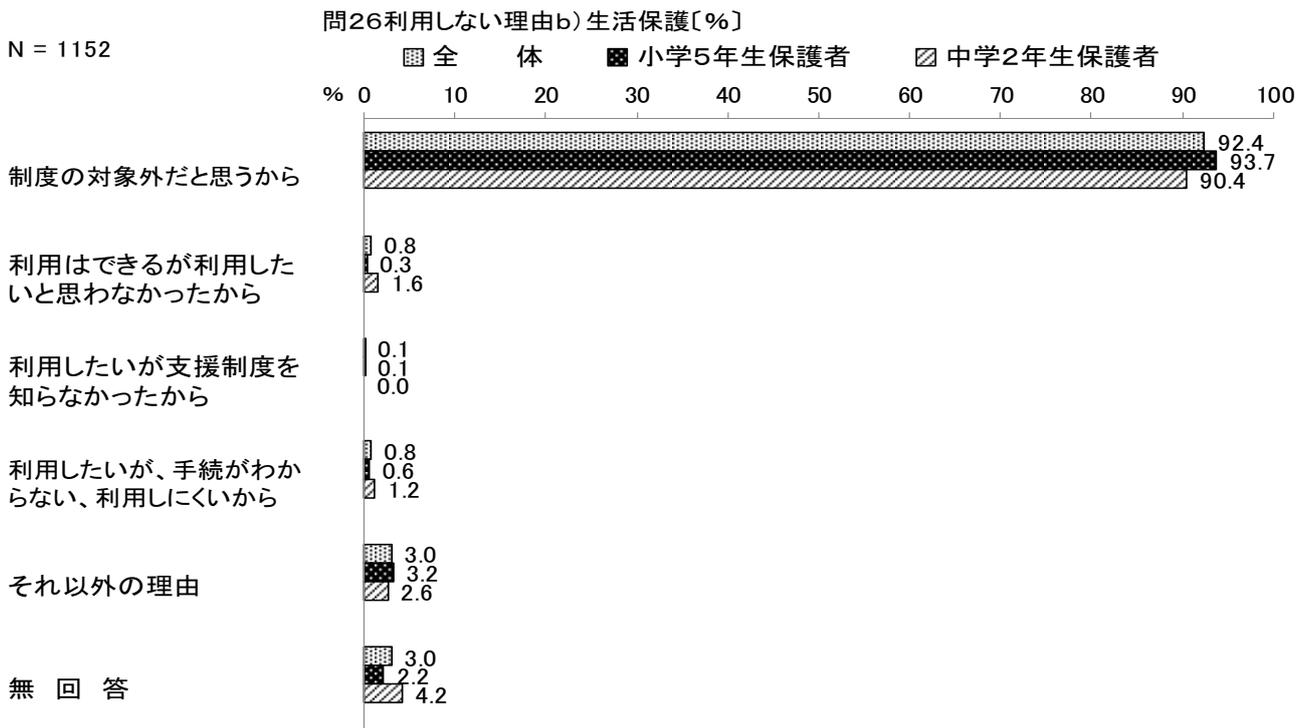
全体では、「利用したことがない」が 92.5%と多く、「現在利用している」と「現在利用していないが以前利用したことがある」が 0.6%となっています。

◆世帯年収別では、「現在利用している」は 200 万円未満で 12.1%と多くなっています。(図表 3-34)



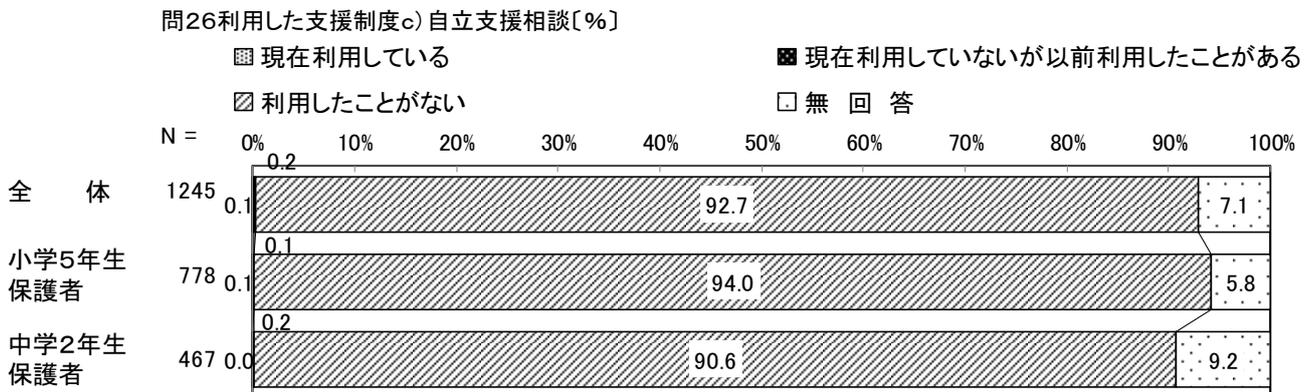
利用しない理由

全体では、「制度の対象外だと思うから」が 92.4%と多く、「それ以外の理由」が 3.0%、「利用はできるが利用したいと思わなかったから」が 0.8%となっています。



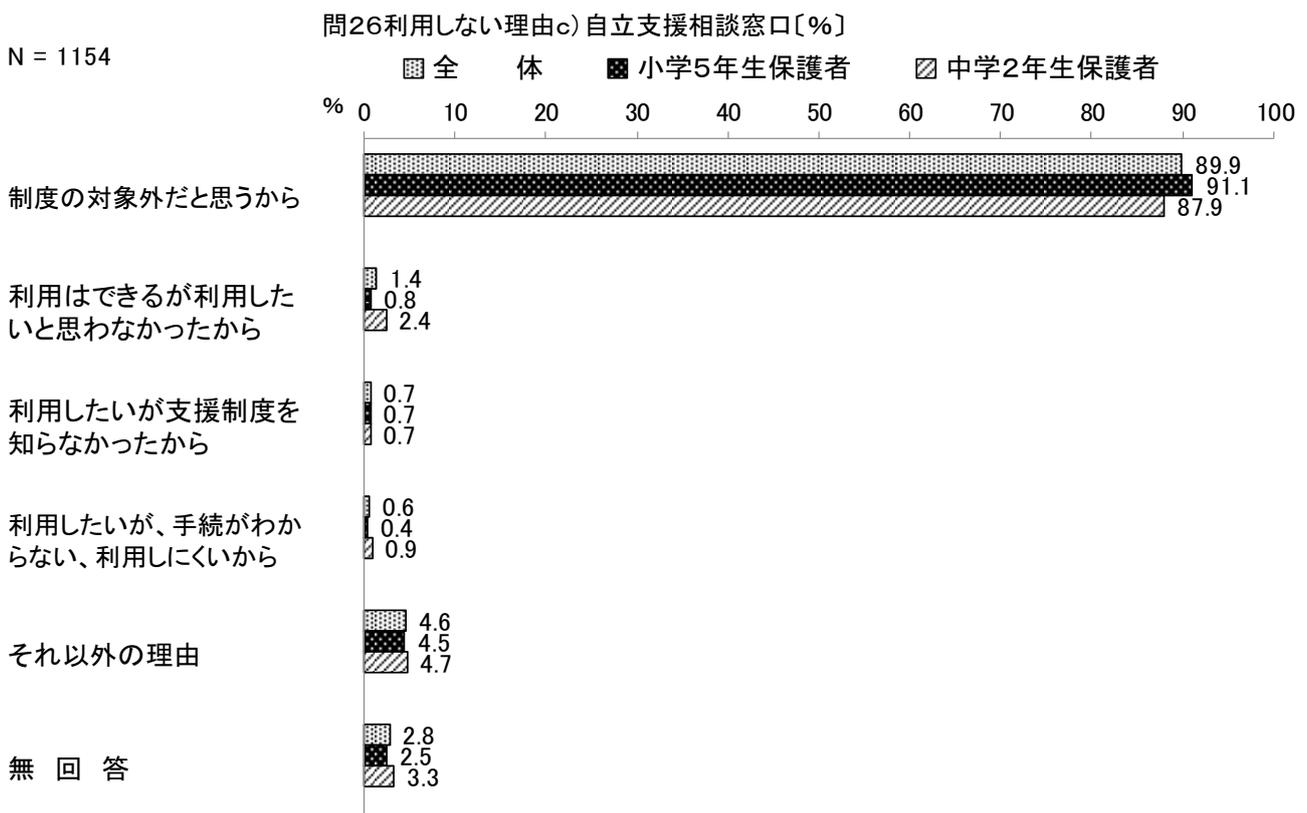
### c) 自立支援相談

全体では、「利用したことがない」が 92.7%と多く、「現在利用していないが以前利用したことがある」が 0.2%、「現在利用している」が 0.1%となっています。



### 利用しない理由

全体では、「制度の対象外だと思うから」が 89.9%と多く、「それ以外の理由」が 4.6%、「利用はできるが利用したいと思わなかったから」が 1.4%となっています。



d) 児童扶養手当

全体では、「利用したことがない」が78.6%と多く、「現在利用している」が10.4%、「現在利用していないが以前利用したことがある」が3.1%となっています。

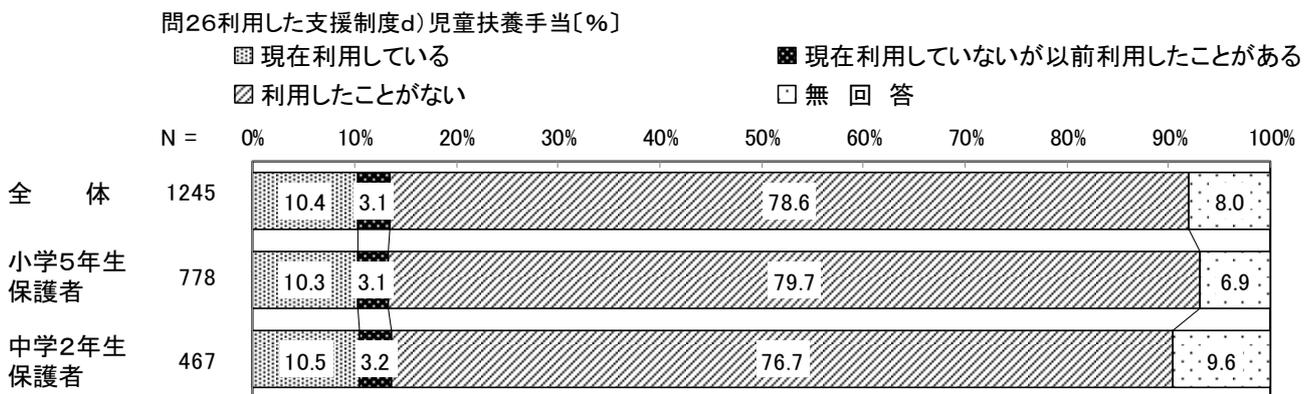
◆世帯年収別では、「現在利用している」は200万円未満で63.6%、200～400万円未満で30.7%と多くなっています。

◆世帯の子ども数別では、4人以上で「現在利用している」が17.1%と多くなっています。

◆生活状況別では、中央値の1/2未満で「現在利用している」が47.4%と多くなっています。

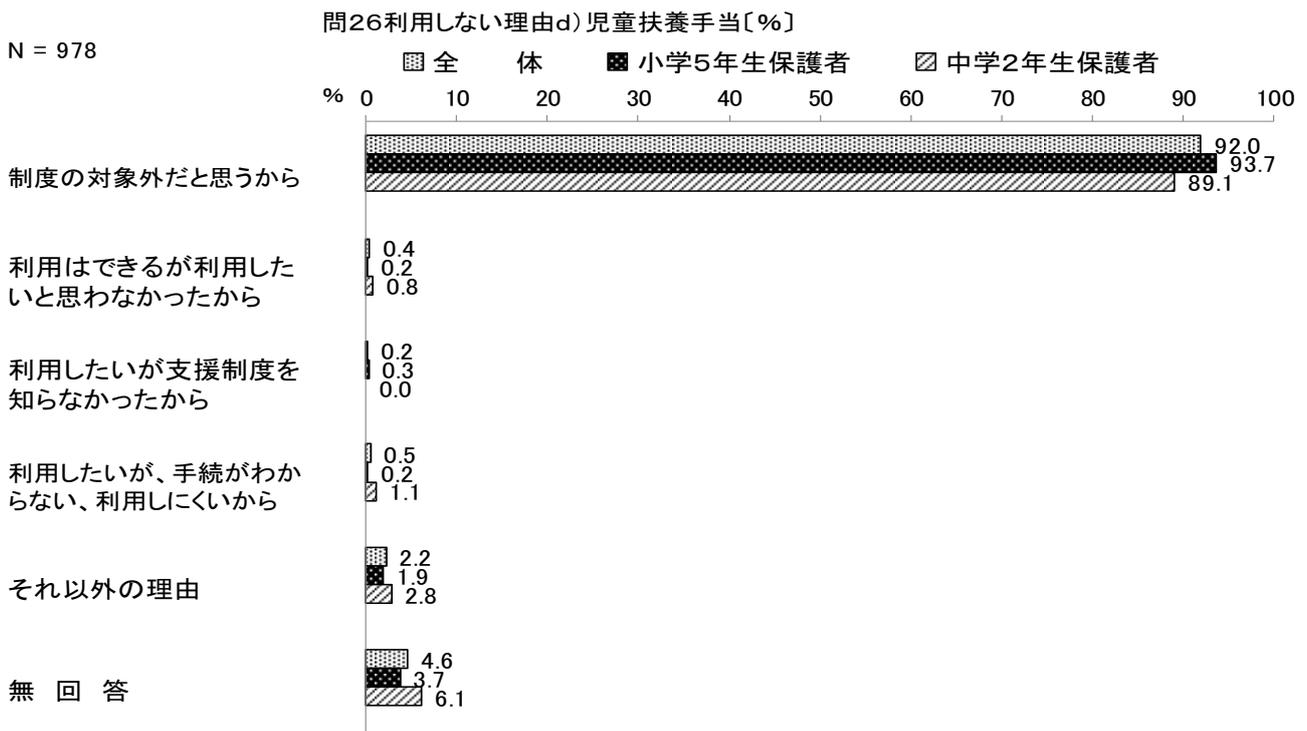
◆世帯別では、ひとり親世帯（計）で「現在利用している」が50.9%と多くなっています。

◆こころの健康状況別では、要注意（10点以上）で「現在利用している」が19.3%と多くなっています。（図表3-35）



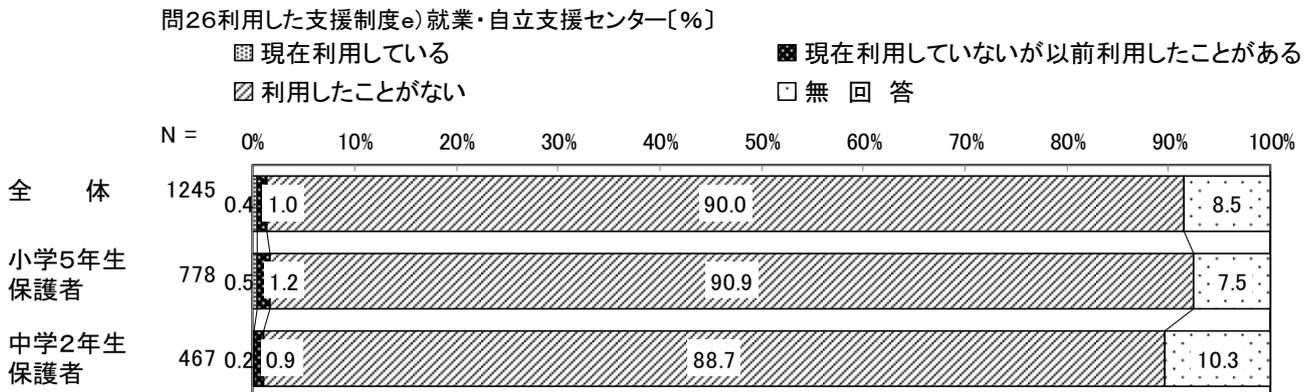
利用しない理由

全体では、「制度の対象外だと思うから」が92.0%と多く、「それ以外の理由」が2.2%、「利用したいが、手続きがわからない、利用しにくいから」が0.5%となっています。



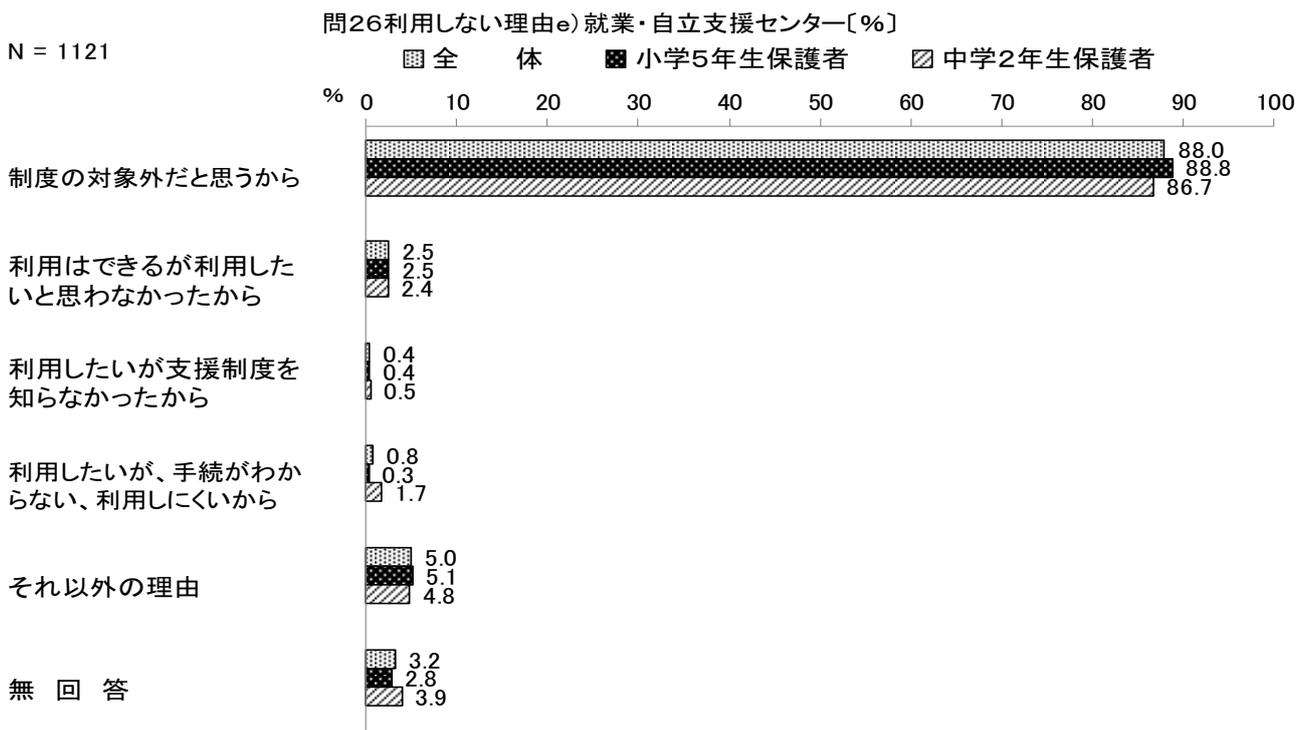
e) 就業・自立支援センター

全体では、「利用したことがない」が 90.0%と多く、「現在利用していないが以前利用したことがある」が 1.0%、「現在利用している」が 0.4%となっています。



利用しない理由

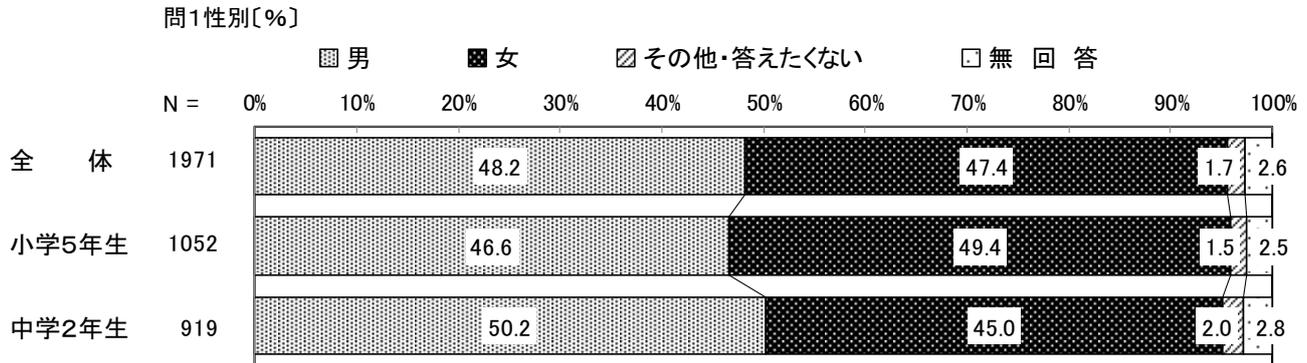
全体では、「制度の対象外だと思うから」が 88.0%と多く、「それ以外の理由」が 5.0%、「利用はできるが利用したいと思わなかったから」が 2.5%となっています。



### 3.2 小・中学生

問1 あなたの性別を教えてください。

全体では、「男」が48.2%、「女」が47.4%となっています。

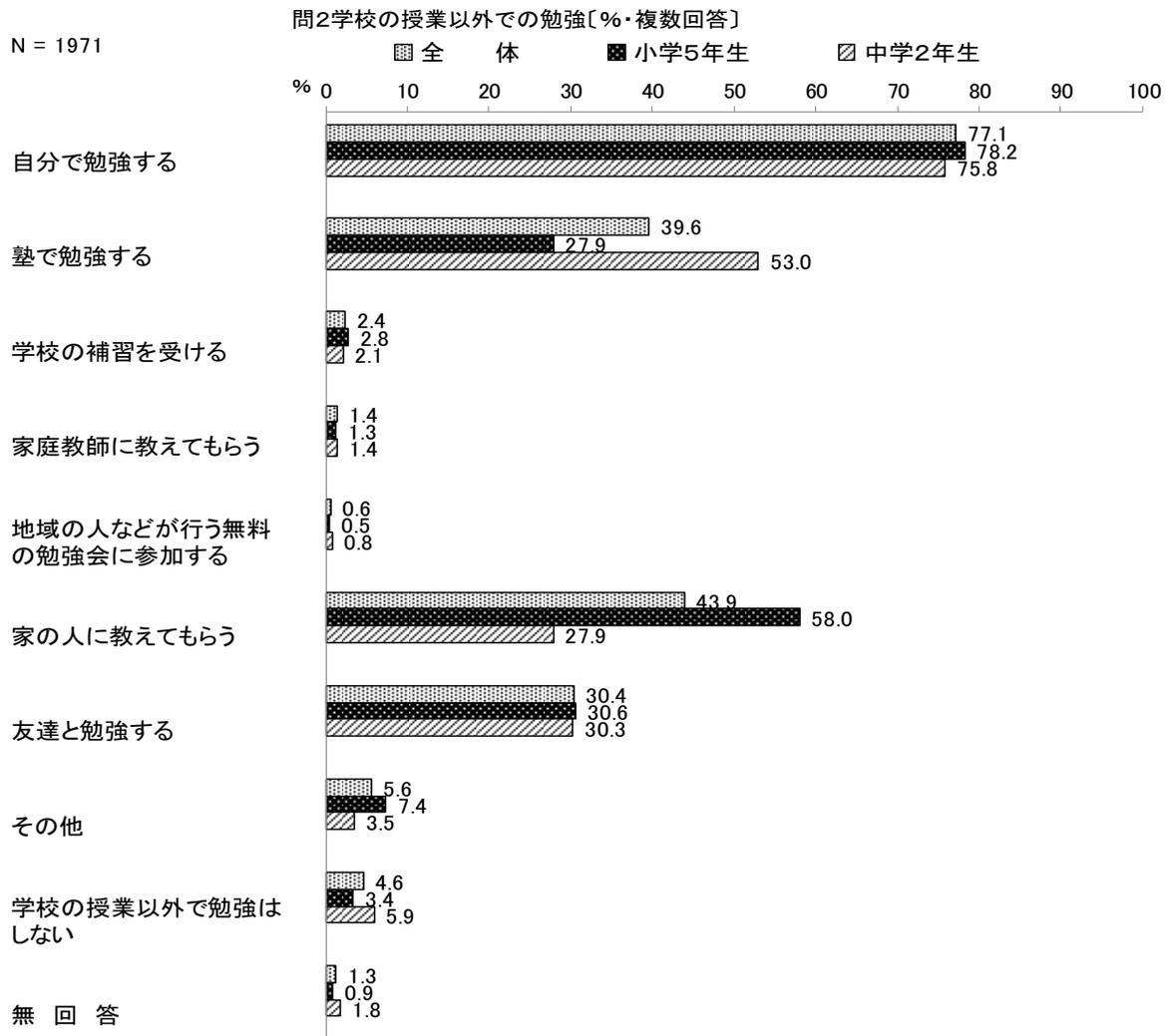


問2 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。※勉強には学校の宿題もふくみます。

全体では、「自分で勉強する」が77.1%と最も多く、次いで「家の人に教えてもらう」が43.9%、「塾で勉強する」が39.6%となっています。

小学5年生で「家の人に教えてもらう」が58.0%、中学2年生で「塾で勉強する」53.0%と多くなっています。

◆生活状況別では、「塾で勉強する」は中央値の1/2未満で22.8%、中央値の1/2以上中央値未満で29.0%と少なくなっています。(図表3-36)



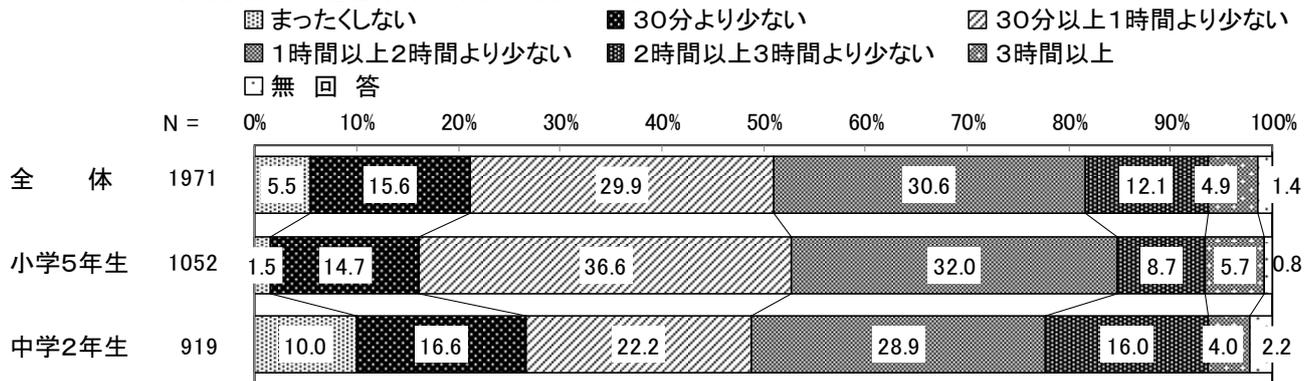
問3 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。※ 学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。

ア) 学校がある日

全体では、「1時間以上2時間より少ない」が30.6%、「30分以上1時間より少ない」が29.9%、「30分より少ない」が15.6%となっています。

「30分以上1時間より少ない」は小学5年生で36.6%と多く、中学2年生で22.2%と少なくなっています。

問3授業以外の勉強時間ア)学校がある日[%]

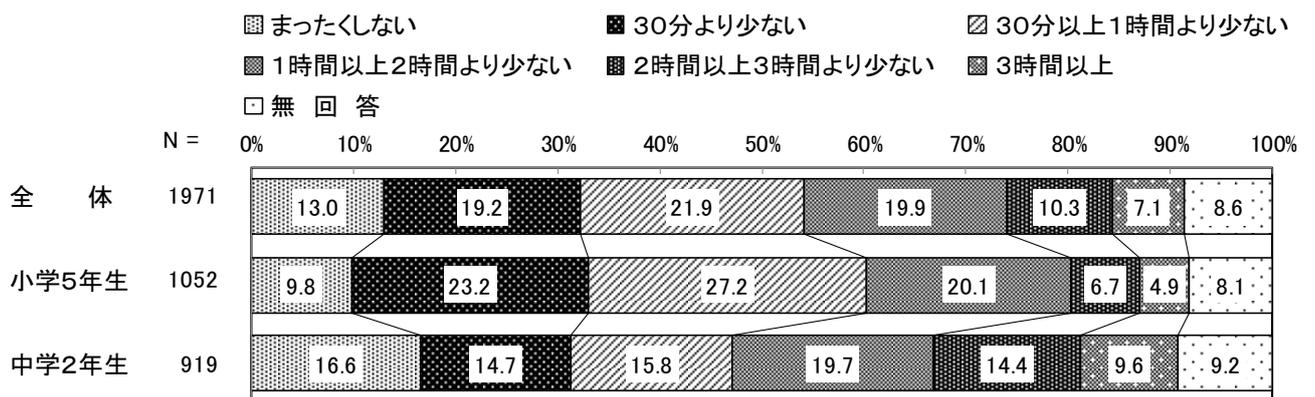


イ) 学校がない日

全体では、「30分以上1時間より少ない」が21.9%、「1時間以上2時間より少ない」が19.9%、「30分より少ない」が19.2%となっています。

「30分以上1時間より少ない」は小学5年生で27.2%と多く、中学2年生で15.8%と少なくなっています。

問3授業以外の勉強時間イ)学校がない日[%]

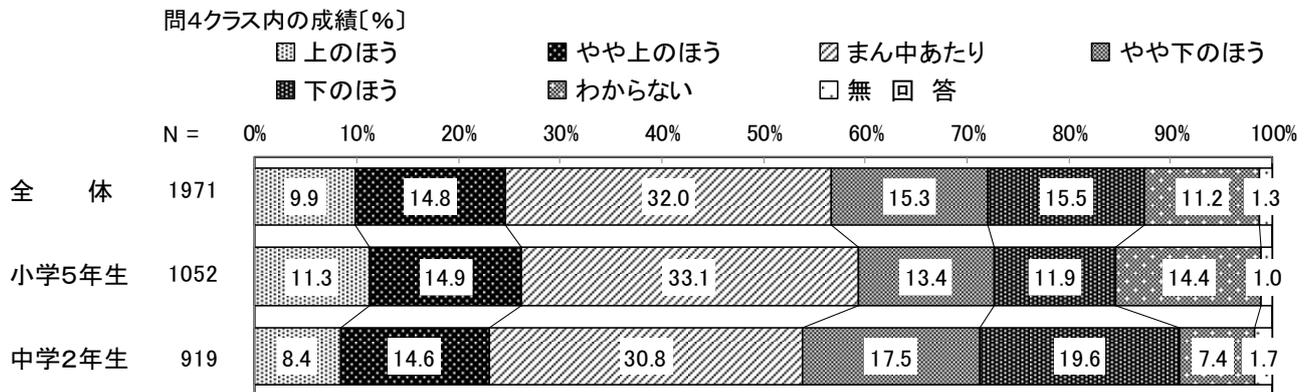


問4 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。

全体では、「まん中あたり」が32.0%と多く、「下のほう」が15.5%、「やや下のほう」が15.3%となっています。

◆授業以外の勉強時間（学校がある日）別では、まったくしないで「下のほう」が40.7%、3時間以上で「上のほう」が24.7%と多くなっています。

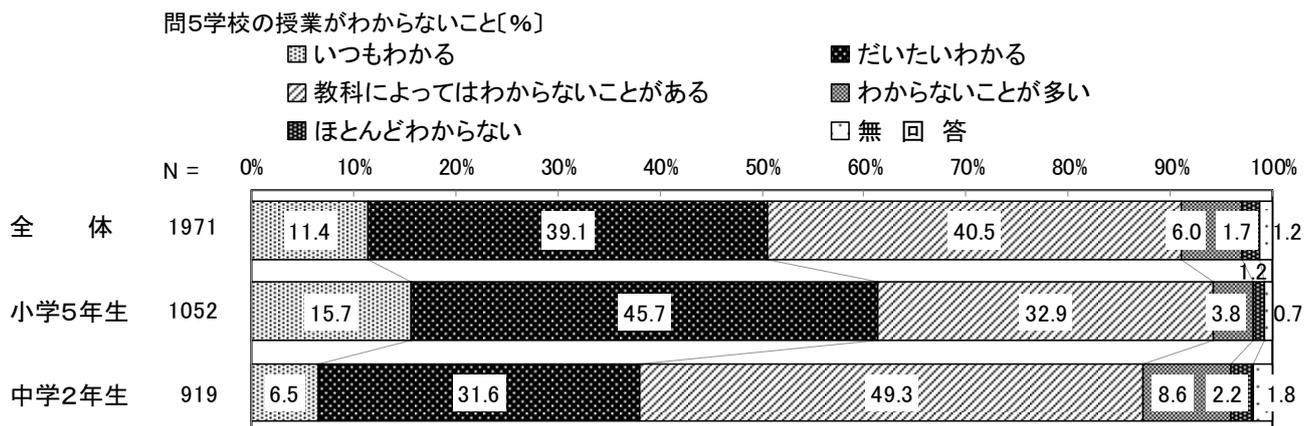
◆授業以外の勉強時間（学校がない日）別では、まったくしないで「下のほう」が29.3%、3時間以上で「上のほう」が34.3%と多くなっています。（図表3-37）



問5 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。

全体では、「教科によってはわからないことがある」が40.5%、「だいたいわかる」が39.1%、「いつもわかる」が11.4%となっています。

「教科によってはわからないことがある」は小学5年生で32.9%と少なく、中学2年生で49.3%と多くなっています。「だいたいわかる」は小学5年生で45.7%と多く、中学2年生で31.6%と少なくなっています。



問6 前の質問で「教科によってはわからないことがある」「わからないことが多い」「ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします。いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。

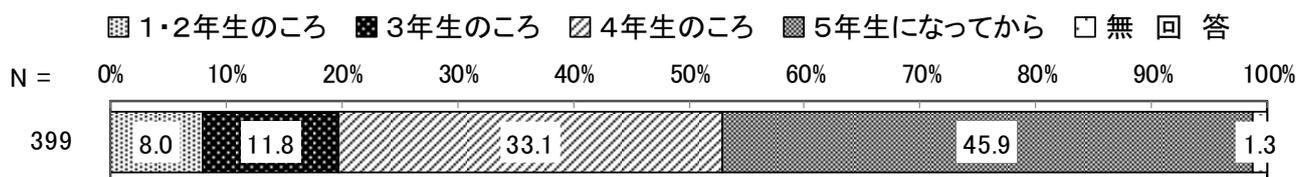
【小学生】

全体では、「5年生になってから」が45.9%と多く、「4年生のころ」が33.1%、「3年生のころ」が11.8%となっています。

◆世帯の子ども数別では、1人で「5年生になってから」が58.3%と多くなっています。

◆世帯別では、ひとり親世帯（計）で「5年生になってから」が58.1%と多くなっています。（図表 3-38）

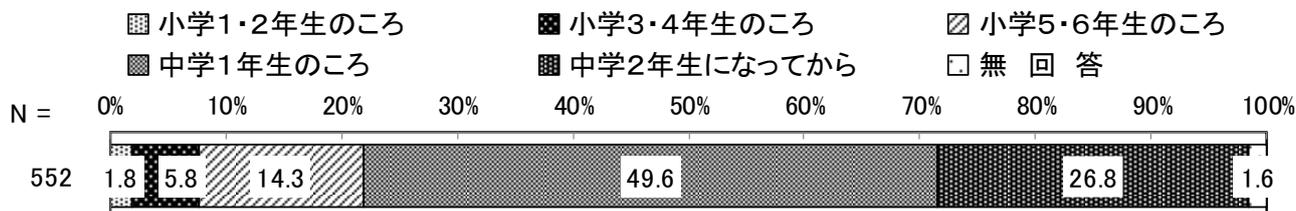
問6授業がわからなくなった時期(小学生) [%]



【中学生】

全体では、「中学1年生のころ」が49.6%と多く、「中学2年生になってから」が26.8%、「小学5・6年生のころ」が14.3%となっています。

問6授業がわからなくなった時期(中学生) [%]



問7 あなたは、将来、どの学校に進学したいですか。

全体では、「中学、高校（5年制の高専）、大学」が30.1%、「まだわからない」が28.7%、「中学、高校、専門学校」が15.6%となっています。

「中学、高校（5年制の高専）、大学」は小学5年生で23.8%と少なく、中学2年生で37.4%と多くなっています。

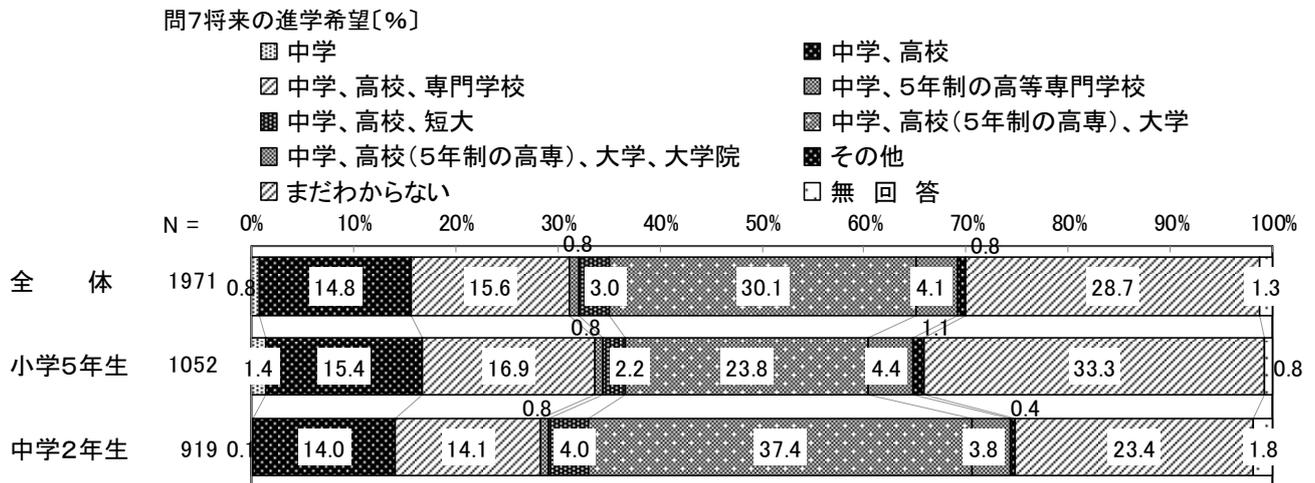
◆世帯年収別では、200～400万円未満で「中学、高校」が28.0%と多くなっています。

◆世帯の子ども数別では、1人で「中学、高校（5年制の高専）、大学」が40.9%と多くなっています。

◆生活状況別では、中央値の1/2未満で「中学、高校（5年制の高専）、大学」が17.4%と少なく、「中学、高校」が28.3%と多くなっています。

◆母親の学歴別では、「中学、高校（5年制の高専）、大学」の子どもは中学、高校（5年制高専）、大学で45.6%と多くなっています。

◆父親の学歴別では、「中学、高校（5年制の高専）、大学」の子どもは中学、高校（5年制高専）、大学、大学院で44.1%、中学、高校（5年制高専）、大学で40.6%と多くなっています。（図表3-39）

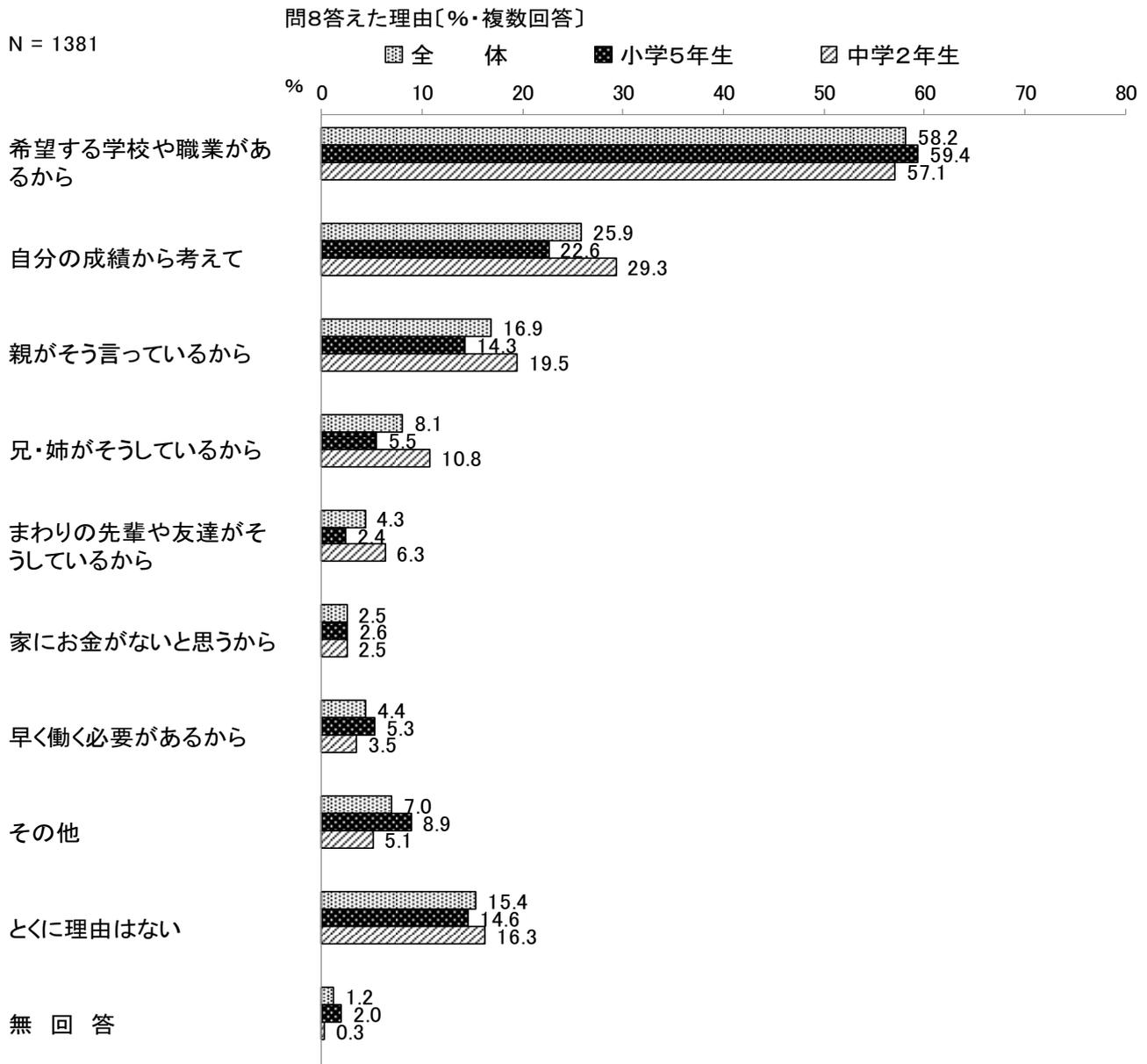


問8 前の質問で進路希望があると答えた場合、その理由を教えてください。

全体では、「希望する学校や職業があるから」が 58.2%と多く、「自分の成績から考えて」が 25.9%、「親がそう言っているから」が 16.9%となっています。

◆世帯の子ども数別では、1人で「親がそう言っているから」が 28.5%と多くなっています。

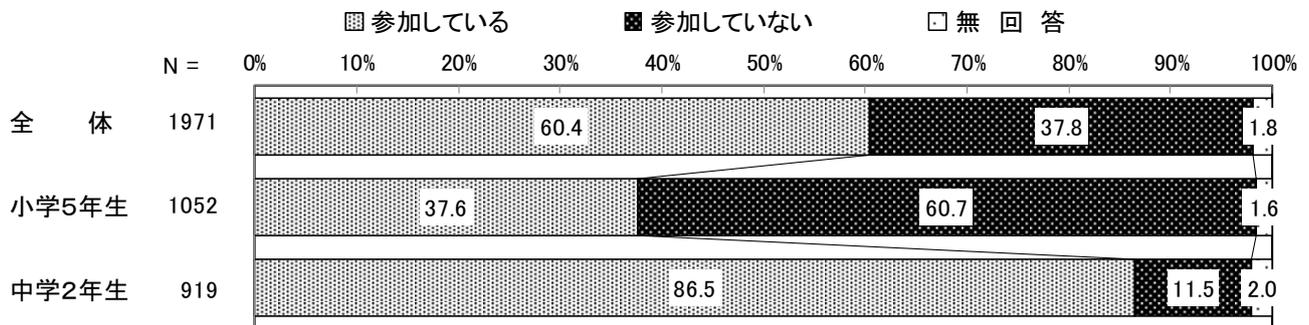
◆将来の進学希望別では、中学、高校、専門学校と中学、5年制高専と中学、高校（5年制の高専）、大学、大学院で「希望する学校や職業があるから」が 70%を超えて多くなっています。（図表 3-40）



問9 あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。

全体では、「参加している」が60.4%、「参加していない」が37.8%となっています。  
 中学2年生で「参加している」が86.5%と多くなっています。

問9スポーツクラブや文化クラブの参加[%]

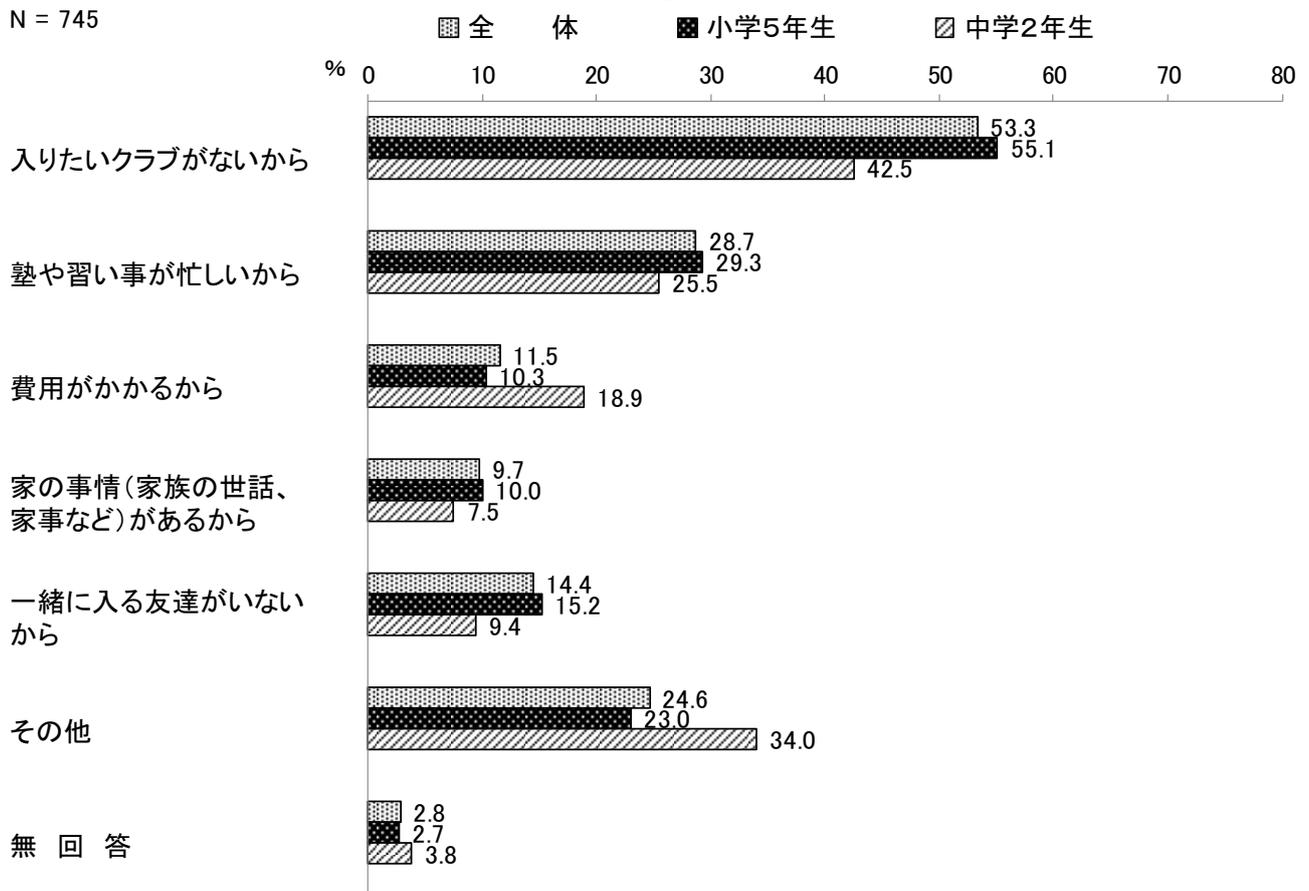


問10 前の質問で「参加していない」と答えた人にお聞きします。参加していない理由は何ですか。

全体では、「入りたいクラブがないから」が53.3%と最も多く、次いで「塾や習い事が忙しいから」が28.7%、「一緒に入る友達がないから」が14.4%となっています。

中学2年生で「費用がかかるから」が18.9%と多くなっています。

問10参加していない理由[%・複数回答]



問11 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。

ア) 朝食

全体では、「毎日食べる（週7日）」が79.7%と多く、「週5～6日」が11.3%、「週1～2日、ほとんど食べない」が4.4%となっています。

問11食事の状況ア)朝食[%]

■ 毎日食べる(週7日) ■ 週5～6日 ▨ 週3～4日 ■ 週1～2日、ほとんど食べない □ 無回答

N = 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



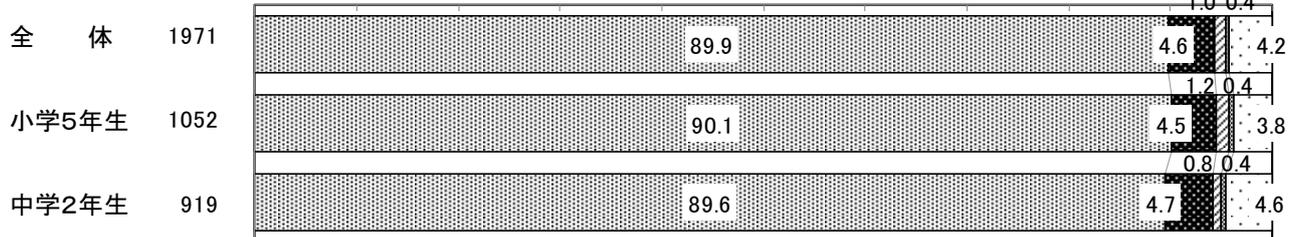
イ) 夕食

全体では、「毎日食べる（週7日）」が89.9%と多く、「週5～6日」が4.6%、「週3～4日」が1.0%となっています。

問11食事の状況イ)夕食[%]

■ 毎日食べる(週7日) ■ 週5～6日 ▨ 週3～4日 ■ 週1～2日、ほとんど食べない □ 無回答

N = 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



ウ) 夏休み等期間の昼食

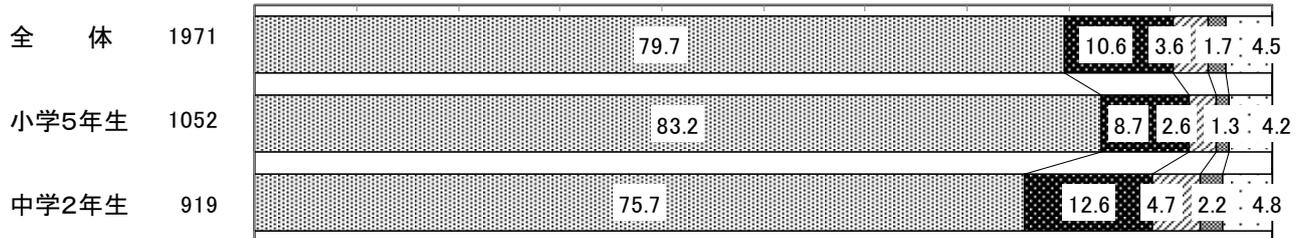
全体では、「毎日食べる（週7日）」が79.7%と多く、「週5～6日」が10.6%、「週3～4日」が3.6%となっています。

◆世帯別では、ひとり親世帯（計）で「毎日食べる（週7日）」が70%を下回っています。（図表3-41）

問11食事の状況ウ)夏休み等期間の昼食[%]

■ 毎日食べる(週7日) ■ 週5～6日 ▨ 週3～4日 ■ 週1～2日、ほとんど食べない □ 無回答

N = 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

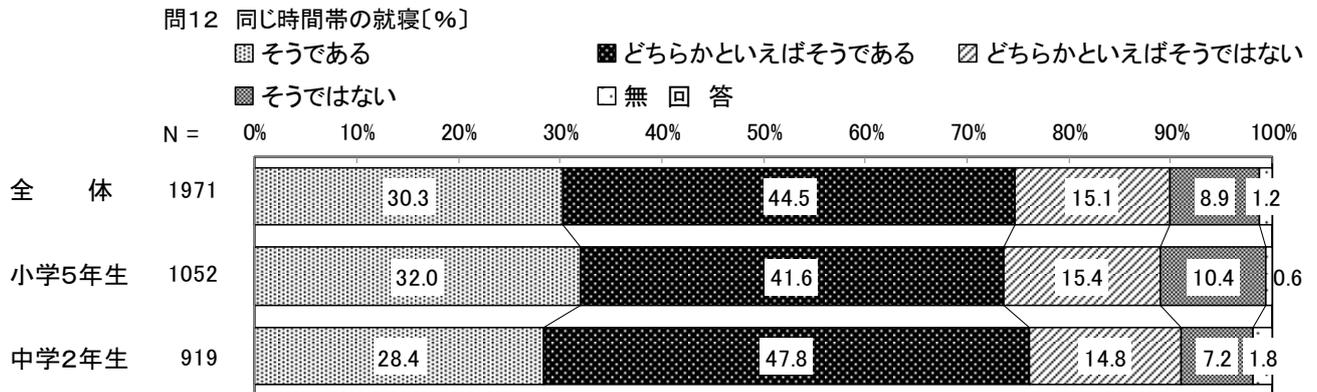


問12 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。

全体では、「どちらかといえばそうである」が44.5%と多く、「そうである」が30.3%、「どちらかといえばそうではない」が15.1%となっています。

◆世帯別では、ひとり親世帯(父親のみ)で「どちらかといえばそうである」が57.9%と多くなっています。

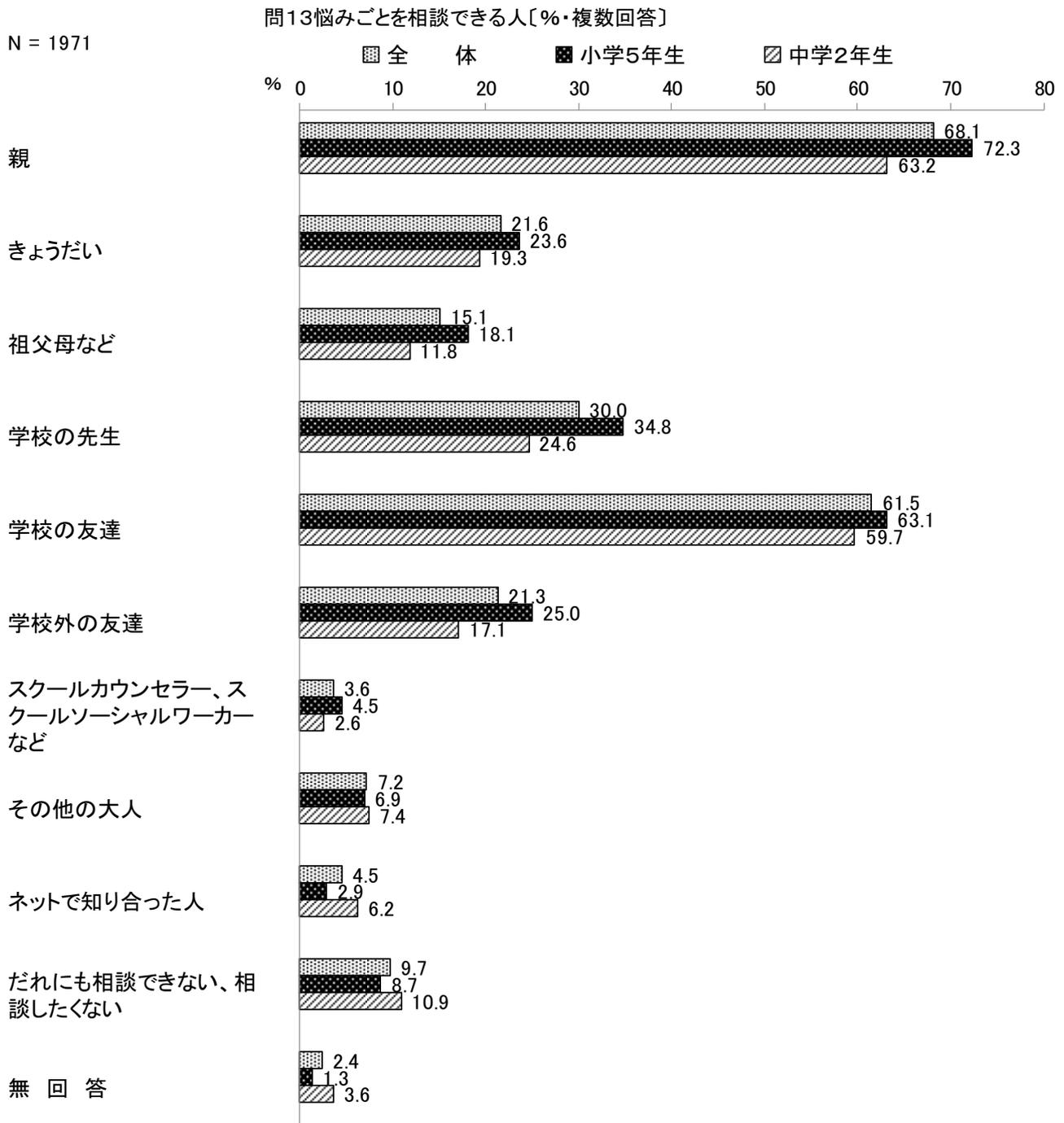
◆食事の状況ア)朝食では、週3～4日と週1～2日、ほとんど食べないで「そうである」がそれぞれ20%を下回っています。(図表3-42)



問13 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。

全体では、「親」が 68.1%、「学校の友達」が 61.5%と多く、「学校の先生」が 30.0%となっています。

◆子どもの学年・性別では、「学校の先生」が小学5年生男で 40.0%と多く、中学2年生女で 19.8%となっています。(図表 3-43)



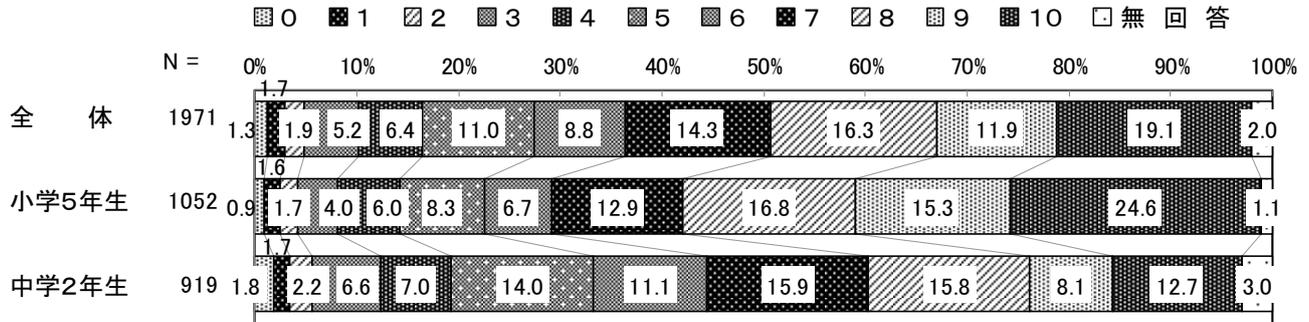
問14 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）までの数字で教えてください。

全体では、「10」が19.1%、「8」が16.3%、「7」が14.3%となっています。

「10」は小学5年生で24.6%、中学2年生で12.7%となっています。

◆悩みごとの相談相手でスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど回答した人は少ないが、「10」が32.4%と多くなっています。（図表3-44）

問14最近の生活の満足度[%]

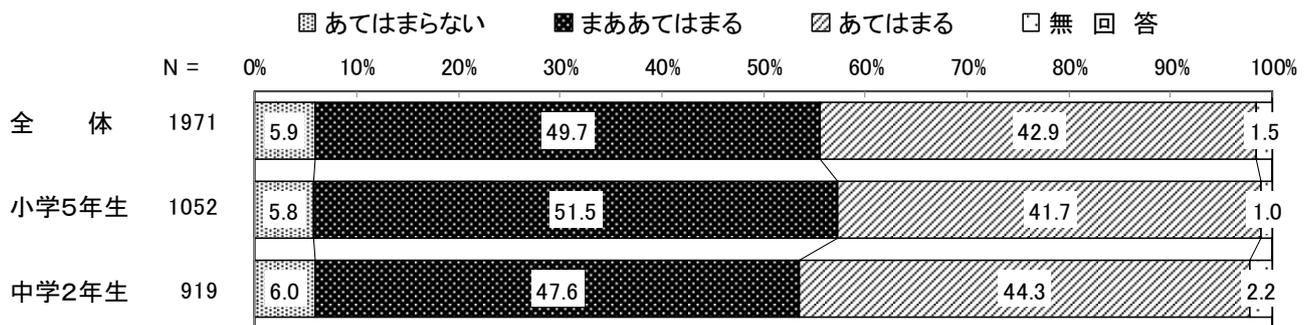


問15 以下のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて教えてください。

ア) 他人に対して親切にしている

全体では、「まああてはまる」が49.7%、「あてはまる」が42.9%、「あてはまらない」が5.9%となっています。

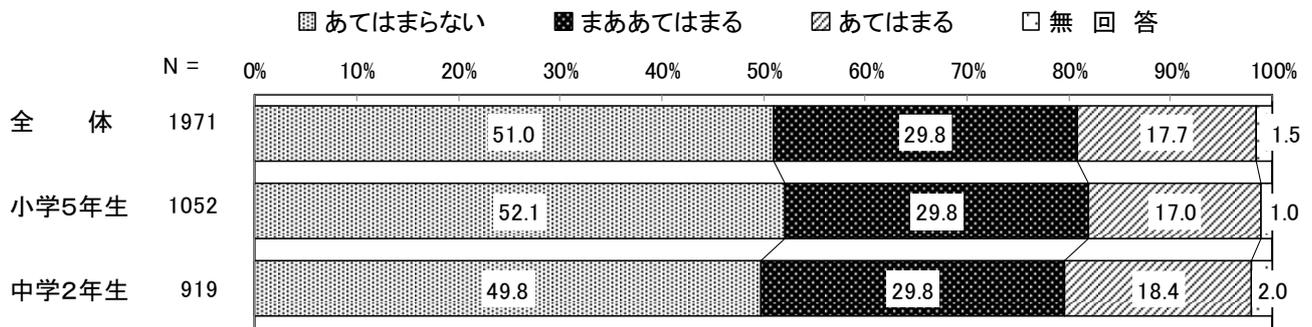
問15ア)他人に対して親切にしている[%]



イ) よく頭やお腹がいたくなる

全体では、「あてはまらない」が51.0%と多く、「まああてはまる」が29.8%、「あてはまる」が17.7%となっています。

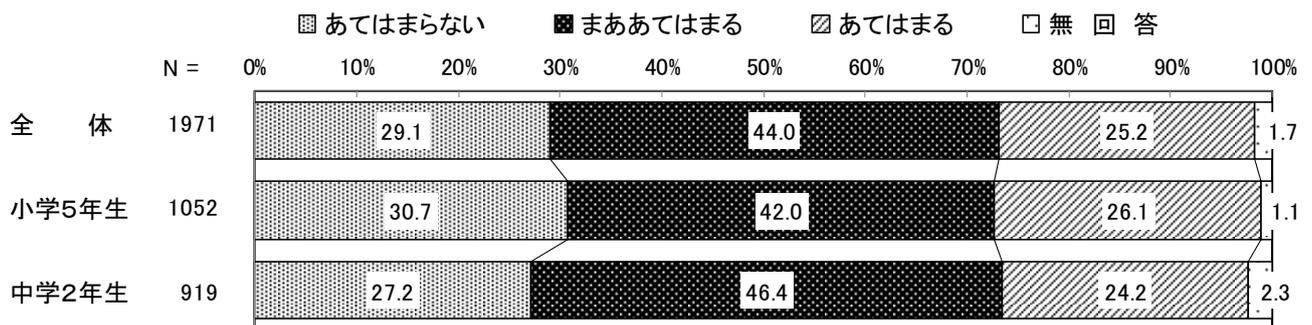
問15イ)よく頭やお腹がいたくなる[%]



ウ) 他の子どもたちとよく分け合う

全体では、「まああてはまる」が44.0%と多く、「あてはまらない」が29.1%、「あてはまる」が25.2%となっています。

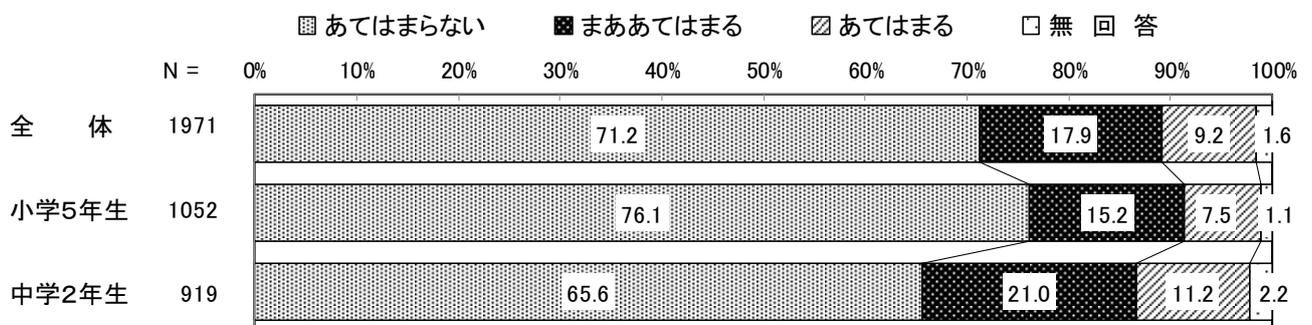
問15ウ)他の子どもたちとよく分け合う[%]



エ) たいてい一人でいる

全体では、「あてはまらない」が71.2%と多く、「まああてはまる」が17.9%、「あてはまる」が9.2%となっています。

問15エ)たいてい一人でいる[%]



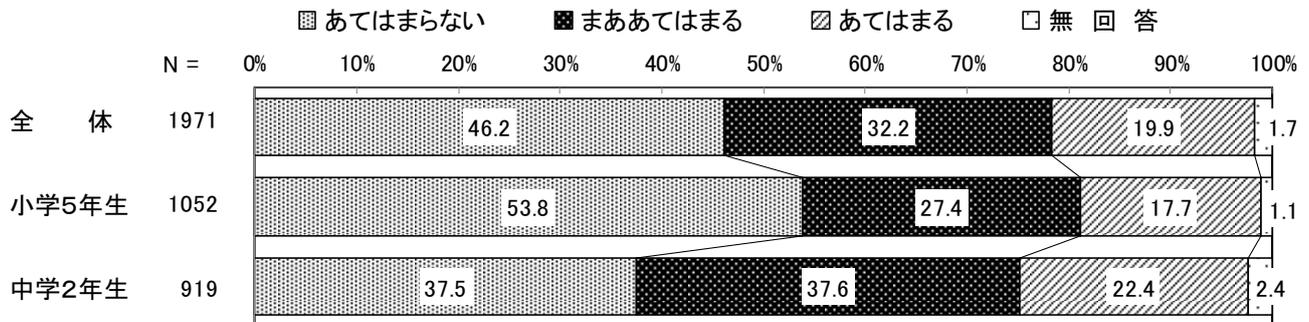
オ) 心配ごとが多くていつも不安だ

全体では、「あてはまらない」が46.2%と多く、「まああてはまる」が32.2%、「あてはまる」が19.9%となっています。

中学2年生で「まああてはまる」が37.6%と多くなっています。

◆子どもの学年・性別では、「あてはまらない」が小学5年生男子は61.0%と多く、中学2年生女子で33.3%と少なくなっています。(図表3-45)

問15オ) 心配ごとが多くていつも不安だ[%]



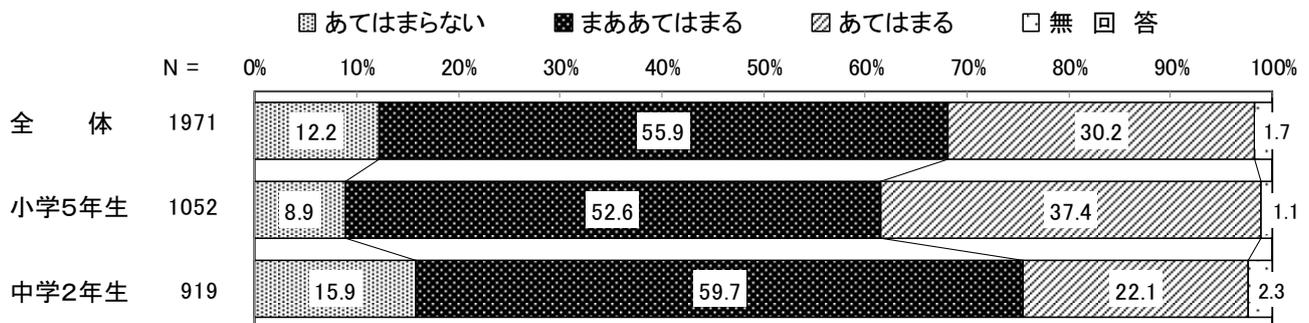
カ) 人が心を痛めていたらすすんで助ける

全体では、「まああてはまる」が55.9%と多く、「あてはまる」が30.2%、「あてはまらない」が12.2%となっています。

「あてはまる」は小学5年生で37.4%と多く、中学2年生で22.1%と少なくなっています。

◆子どもの学年・性別では、「あてはまる」が小学5年生女子で40.4%と多く、中学2年生男子で20.0%と少なくなっています。(図表3-46)

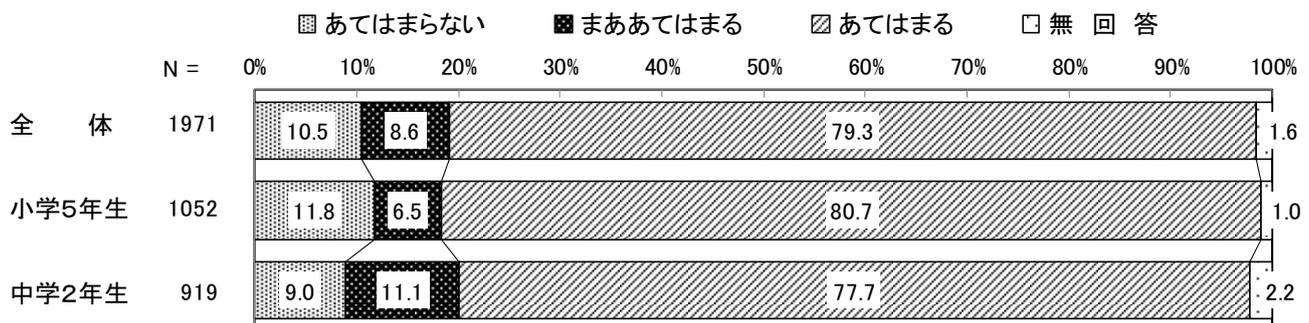
問15カ) 人が心を痛めていたらすすんで助ける[%]



キ) 仲の良い友だちが少なくとも一人はいる

全体では、「あてはまる」が79.3%と多く、「あてはまらない」が10.5%、「まああてはまる」が8.6%となっています。

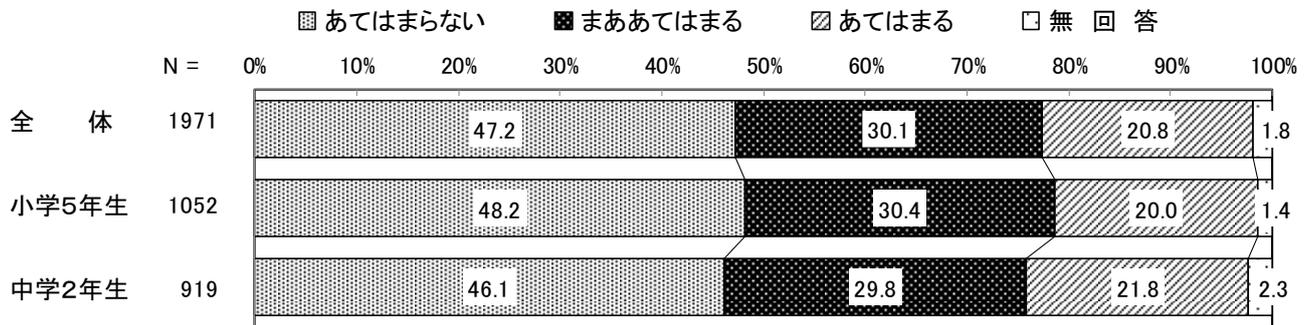
問15キ) 仲の良い友だちが少なくとも一人はいる[%]



ク) 落ち込んでしずんだりすることがよくある

全体では、「あてはまらない」が47.2%と多く、「まああてはまる」が30.1%、「あてはまる」が20.8%となっています。

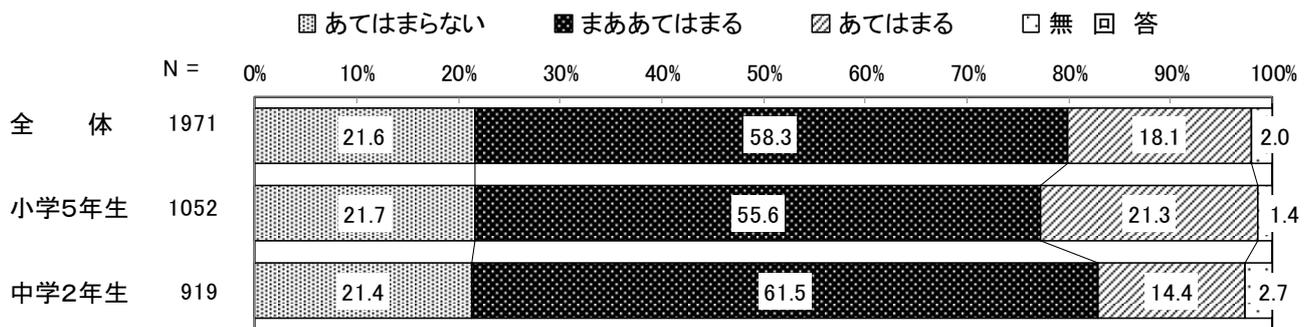
問15ク) 落ち込んでしずんだりすることがよくある[%]



ケ) 同じくらいの年齢の子どもから好かれている

全体では、「まああてはまる」が58.3%と多く、「あてはまらない」が21.6%、「あてはまる」が18.1%となっています。

問15ケ) 同じくらいの年齢の子どもから好かれている[%]



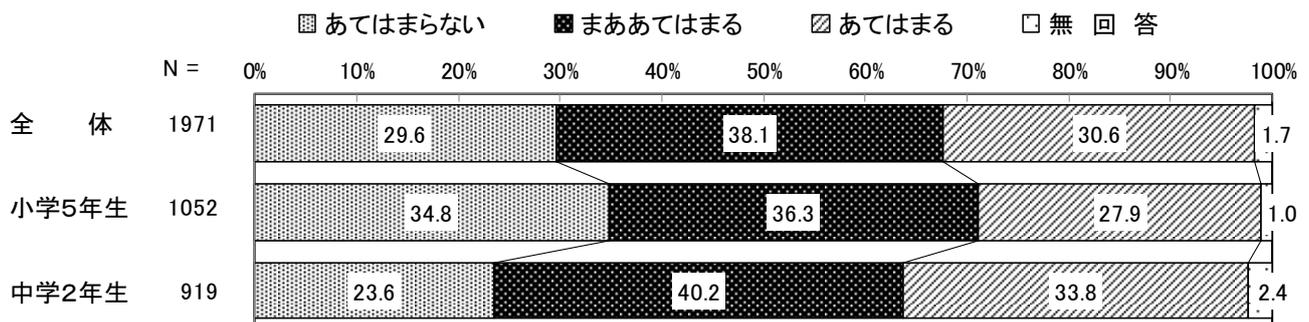
コ) 新しい場面に直面すると不安になりやすい

全体では、「まああてはまる」が38.1%、「あてはまる」が30.6%、「あてはまらない」が29.6%となっています。

「あてはまらない」は小学5年生で34.8%と多く、中学2年生で23.6%と少なくなっています。

◆子どもの学年・性別では、小学5年生男子で「あてはまらない」が40.0%、中学2年生女子で「あてはまる」が41.8%とそれぞれ多くなっています。(図表3-47)

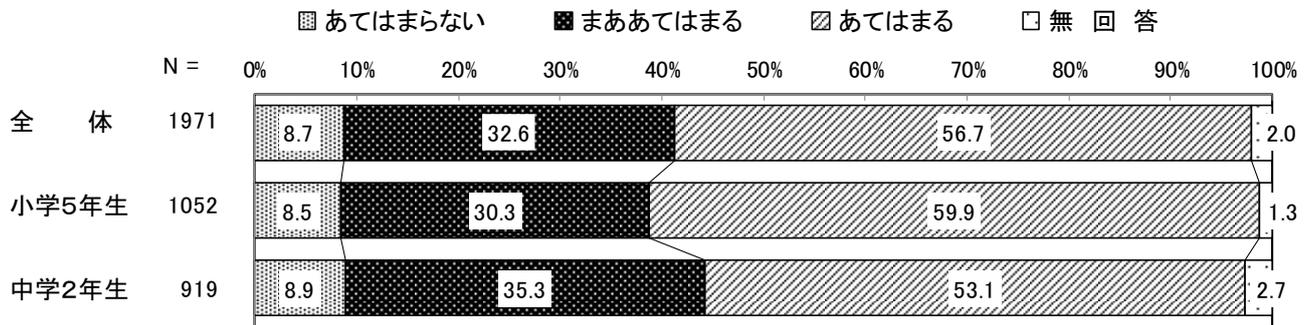
問15コ) 新しい場面に直面すると不安になりやすい[%]



サ) 年下の子どもたちにやさしくしている

全体では、「あてはまる」が56.7%と多く、「まああてはまる」が32.6%、「あてはまらない」が8.7%となっています。

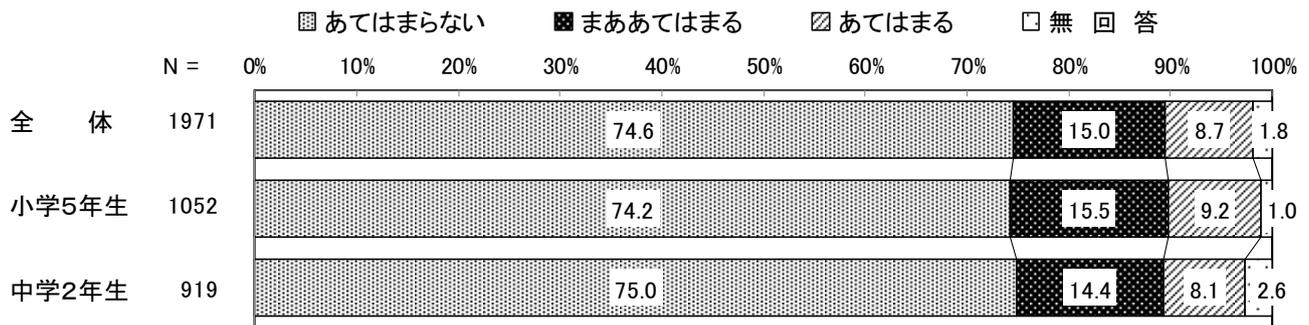
問15サ) 年下の子どもたちにやさしくしている[%]



シ) 他の子どもからいじめられたりする

全体では、「あてはまらない」が74.6%と多く、「まああてはまる」が15.0%、「あてはまる」が8.7%となっています。

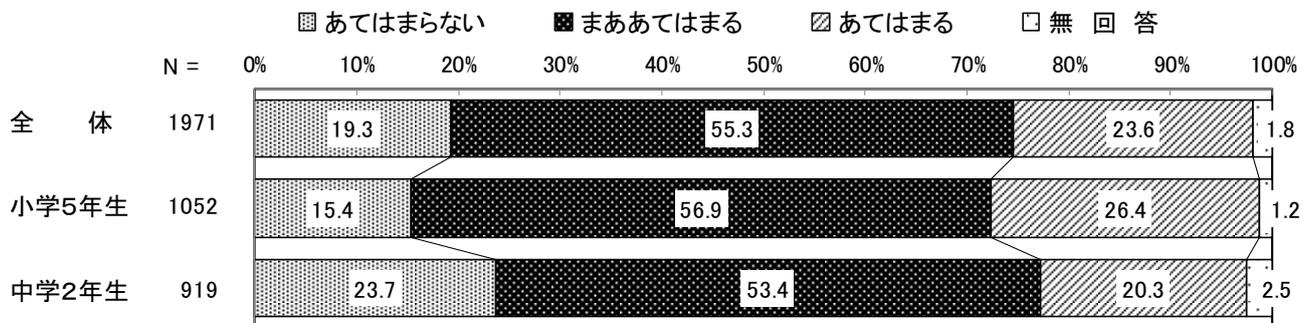
問15シ) 他の子どもからいじめられたりする[%]



ス) すずんでよくお手伝いをする

全体では、「まああてはまる」が55.3%と多く、「あてはまる」が23.6%、「あてはまらない」が19.3%となっています。

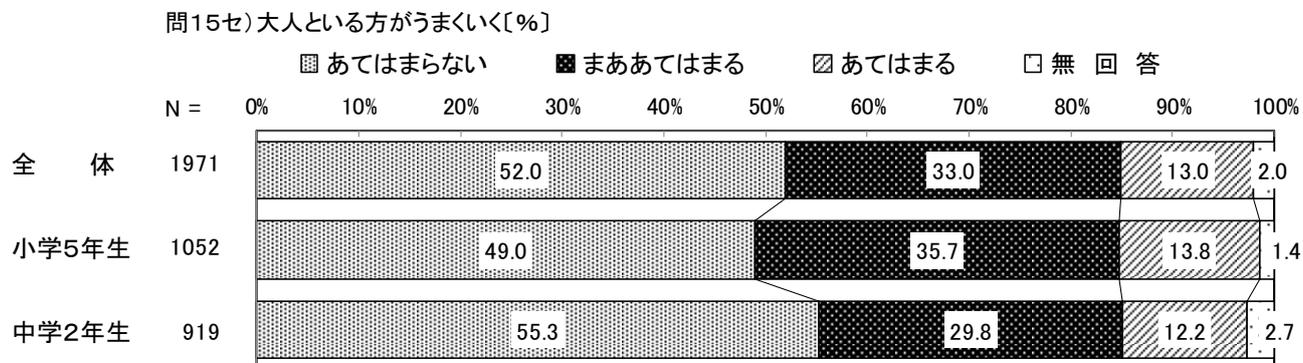
問15ス) すずんでよくお手伝いをする[%]



セ) 大人という方がうまくいく

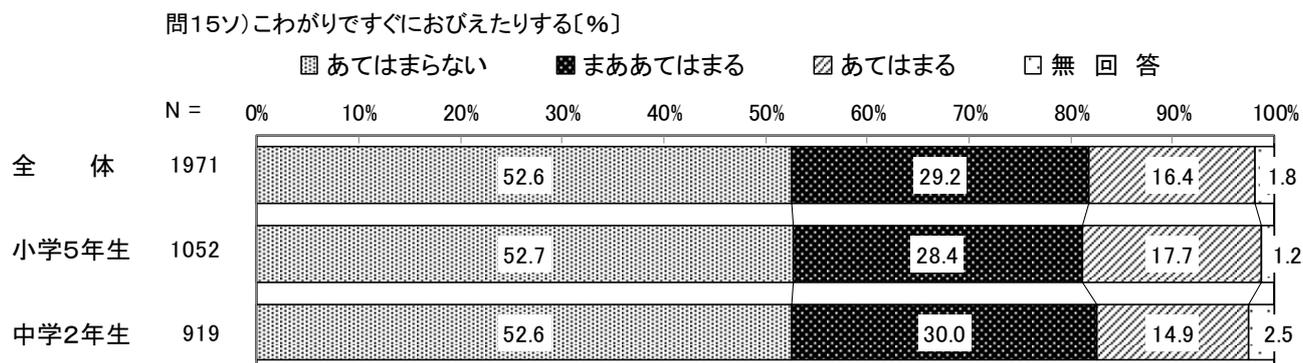
全体では、「あてはまらない」が52.0%と多く、「まああてはまる」が33.0%、「あてはまる」が13.0%となっています。

◆世帯の子ども数別では、4人以上で「まああてはまる」が21.9%と少なくなっています。  
(図表 3-48)



ソ) こわがりですぐにおびえたりする

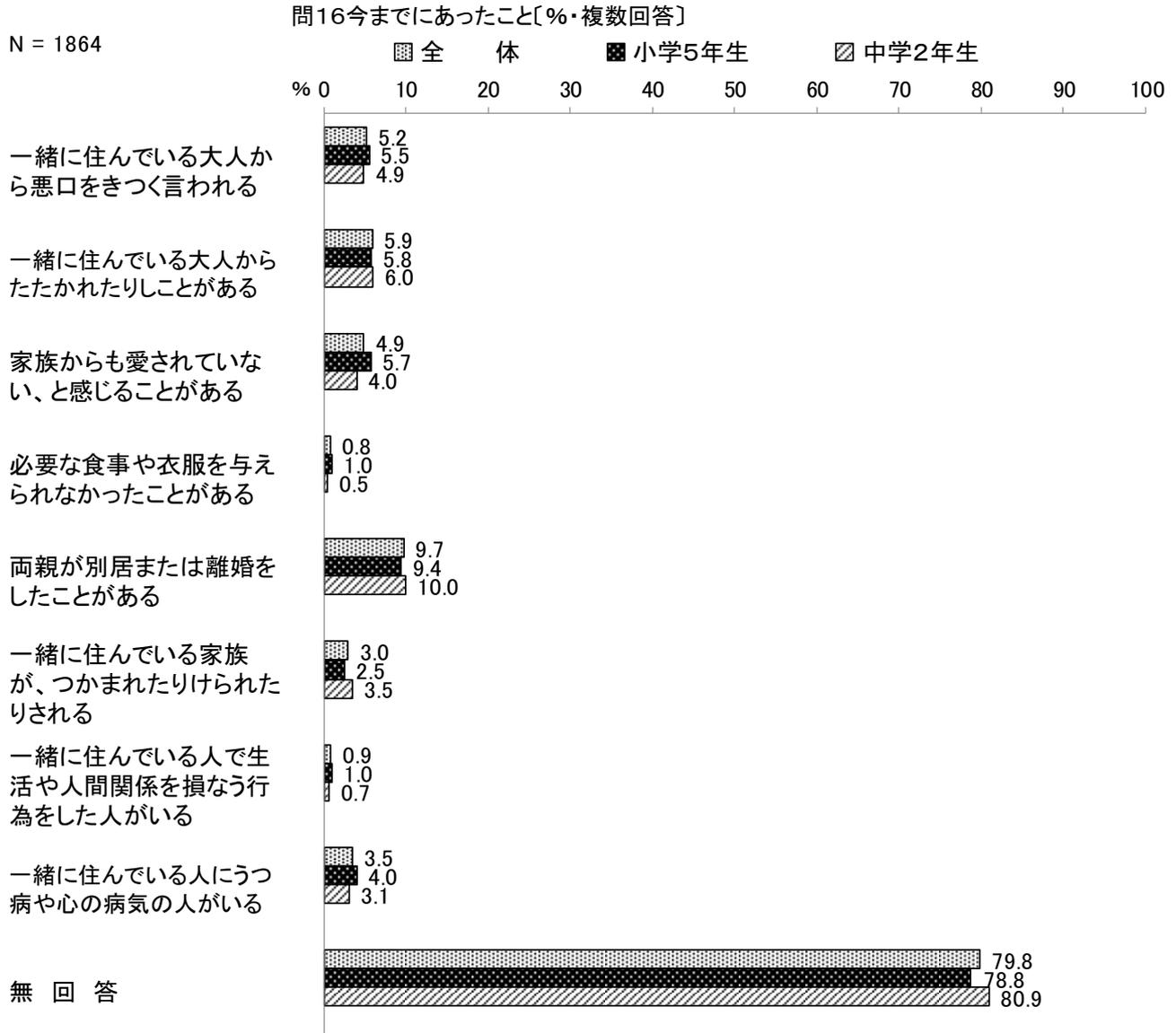
全体では、「あてはまらない」が52.6%と多く、「まああてはまる」が29.2%、「あてはまる」が16.4%となっています。



問16 あなたは今までに、以下のようなことがありましたか。

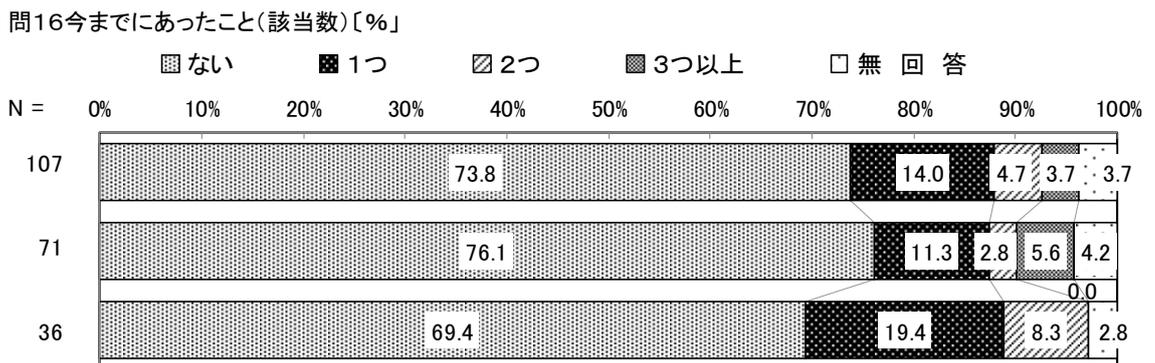
市調査

全体では、「両親が別居または離婚をしたことがある」が9.7%、次いで「一緒に住んでいる大人からたたかれたりしことがある」が5.9%、「一緒に住んでいる大人から悪口をきつく言われる」が5.2%となっています。



県調査

全体では、「ない」が73.8%と多く、「1つ」が14.0%、「2つ」が4.7%となっています。中学2年生で「1つ」が19.4%と多くなっています。

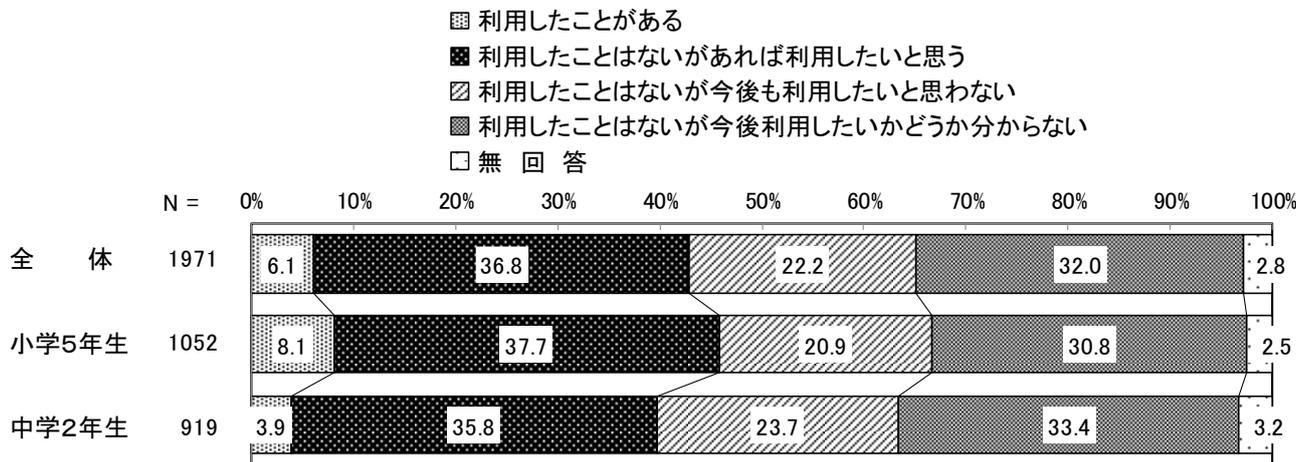


問17 あなたは、次のア～ウのような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いませんか。

ア) こども食堂など

全体では、「利用したことはないがあれば利用したいと思う」が 36.8%、次いで「利用したことはないが今後利用したいかどうか分からない」が 32.0%、「利用したことはないが今後利用したいと思わない」が 22.2%となっています。

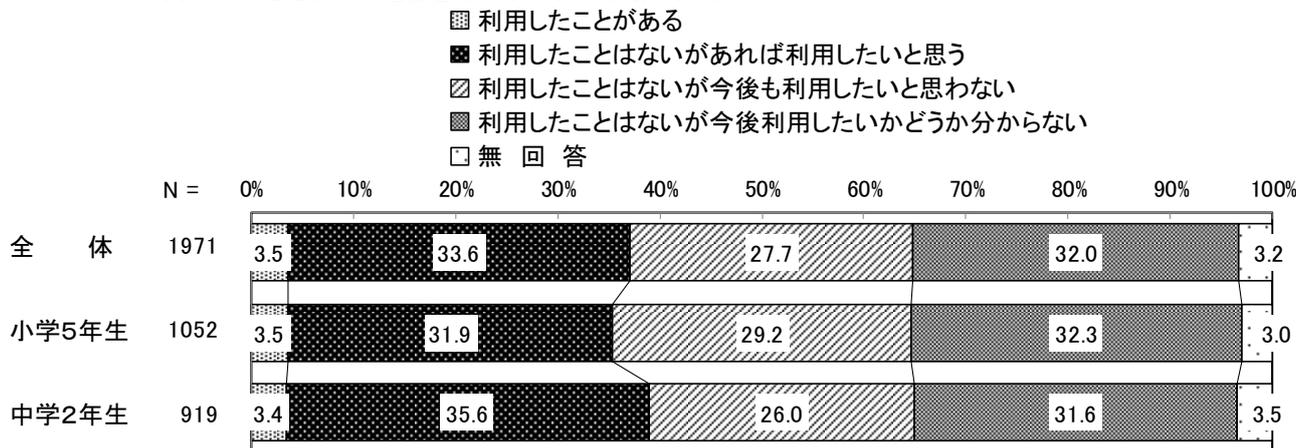
問17利用したものア)こども食堂など[%]



イ) 勉強を無料でみてくれる場所

全体では、「利用したことはないがあれば利用したいと思う」が 33.6%、「利用したことはないが今後利用したいかどうか分からない」が 32.0%、「利用したことはないが今後利用したいと思わない」が 27.7%となっています。

問17利用したものイ)勉強を無料でみてくれる場所[%]

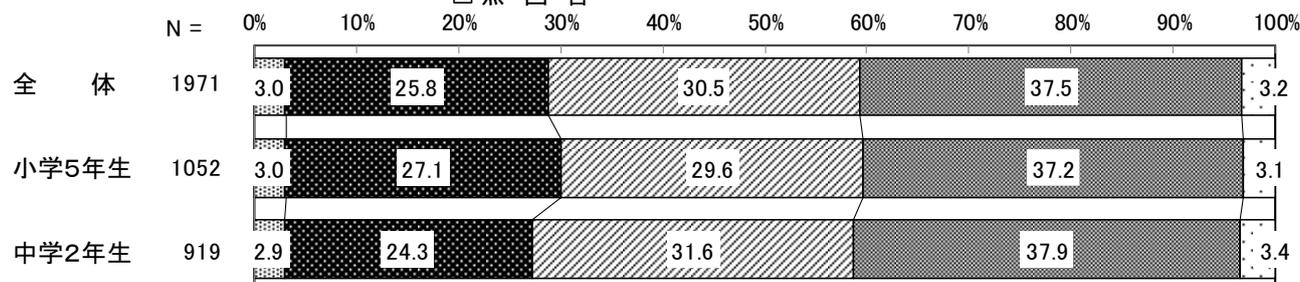


ウ) 何でも相談できる場所

全体では、「利用したことはないが今後利用したいかどうか分からない」が 37.5%、「利用したことはないが今後も利用したいと思わない」が 30.5%、「利用したことはないがあれば利用したいと思う」が 25.8%となっています。

問17利用したものウ)何でも相談できる場所〔%〕

- 利用したことがある
- 利用したことはないがあれば利用したいと思う
- 利用したことはないが今後も利用したいと思わない
- 利用したことはないが今後利用したいかどうか分からない
- 無 回 答

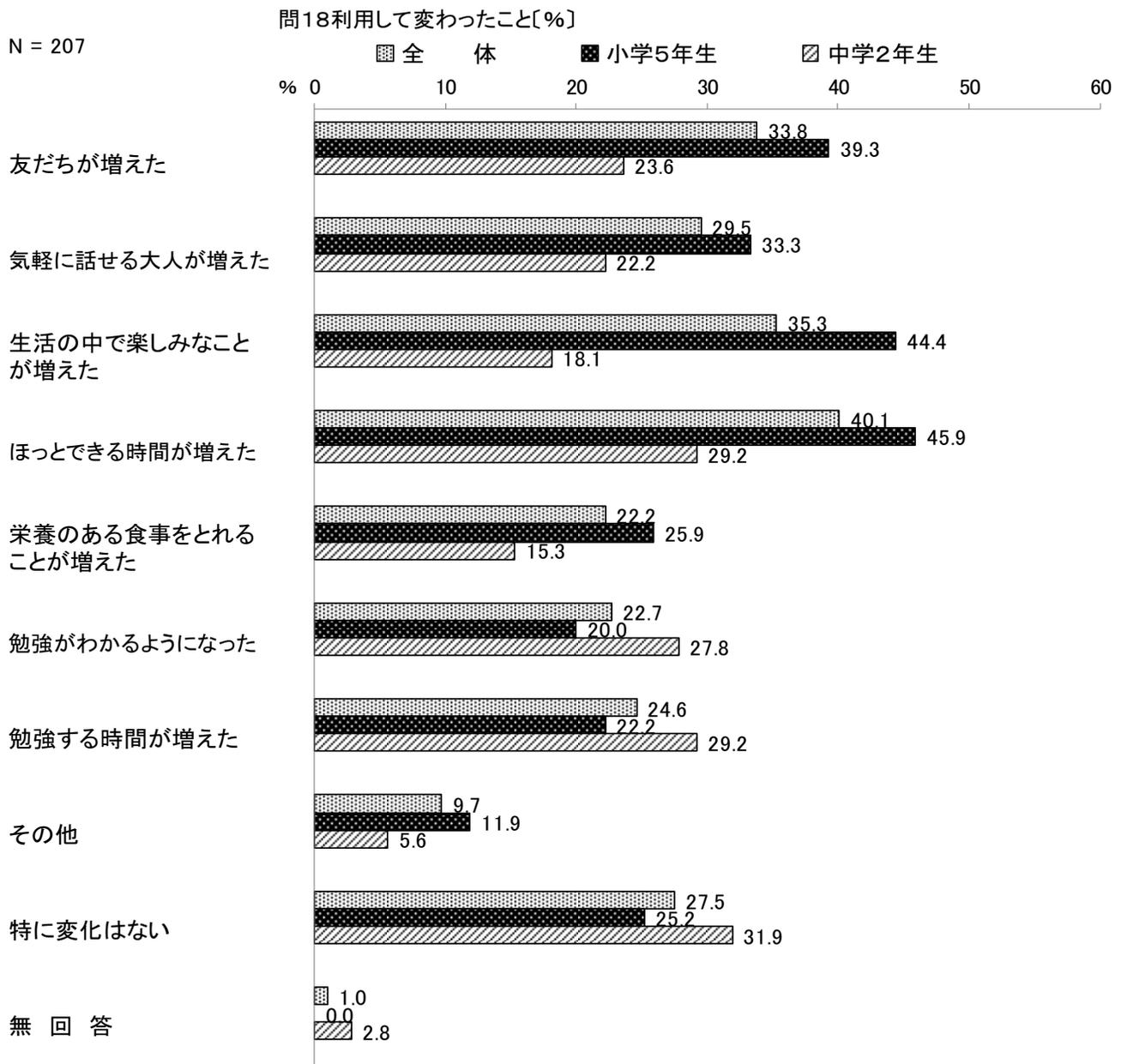


問18 前の質問で、1つでも「利用したことがある」と答えた方にお聞きします。そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。

全体では、「ほっとできる時間が増えた」が40.1%、次いで「生活の中で楽しみなことが増えた」が35.3%、「友だちが増えた」が33.8%となっています。

小学5年生で「ほっとできる時間が増えた」が45.9%、「生活の中で楽しみなことが増えた」が44.4%、中学2年生で「勉強がわかるようになった」が27.8%と多くなっています。

◆子どもの学年・性別では、小学5年生男で「友だちが増えた」が44.2%、「栄養のある食事をとれることが増えた」が38.5%とそれぞれ多くなっています。(図表3-49)



### 3.3 アンケート結果から見える現状・課題

#### 【小学5年生保護者・中学2年生保護者】

##### ○子どもとの関わりについて

問9では働き方の割合に学年間の大きな差は見られませんが、問14では中学2年生保護者では学校イベントへの参加がやや少なくなっています。これは、子どもの学年が上がるとともに、保護者の会社での責任が増えることや、問18で中学2年生保護者の方が若干ではありますが暮らしの状況が“苦しい”と回答している割合が増えていることなどにより、仕事（給料）の重要性が増しているため、参加率が低くなっていることが予想されます。県の調査でも、世帯年収が低いほど、参加率が低くなる傾向がみられます。

##### ○生活状況

問19の世帯年収は中学2年生保護者の方が多くなっており、これは親の年齢・勤続年数に合わせて収入が上がっていると考えられます。一方、問18では、若干ではありますが、中学2年生保護者の方が暮らしの状況が“苦しい”と回答している割合が多くなっています。このことから、子ども年齢が上がると学費やその他の出費（塾の月謝等）が増えますが、それに年収が追いついていないことが伺えます。子どもの成長段階を踏まえた施策の検討が必要となっています。

#### 【小学5年生・中学2年生】

##### ○学力について

問2『学習習慣』では、小学5年生で「家の人に教えてもらう」が58.0%、中学2年生で「塾で勉強する」が53.0%と「自分で勉強する」に次いで2番目に多くなっています（県の調査と同様）。

問3『1日あたりの勉強時間』では、『学校がある日』は小学5年生で「30分以上1時間より少ない」が36.6%、中学2年生で「1時間以上2時間より少ない」が28.9%と最も多くなっています。県の調査では、小学5年生、中学2年生ともに、「30分以上1時間より少ない」が最も多く、県調査よりも中学2年生の学習時間はやや多いと考えられます。

##### ○悩みの相談について

問13『信頼できる大人・友人』では、小学5年生、中学2年生ともに、「親」、次いで「学校の友達」、「学校の先生」となっています。県調査では、小学5年生は同様だが、中学では「学校の友達」（69.9%）の割合が最も高く、次いで「親」（64.0%）、「学校の先生」（32.7%）となっています。

生活状況別でみると、相談先は「中央値の1/2未満」では「中央値以上」や「中央値の1/2以上中央値未満」よりやや割合が少なく、「だれにも相談できない、相談したくない」のみやや多くなっています。

## 【生活困難状況について】

### ○生活困難状況

「中央値の1/2未満」の割合は県全体が10.3%、本調査では7.8%と県より若干少なくなっています。また、離婚している世帯では、「中央値の1/2未満」の割合が38.1%と高く、離婚している世帯の収入は400万円未満が多くなっています。現在の暮らしの状況についても、「中央値の1/2未満」は苦しいと大変苦しいがあわせて59.8%と多く、「中央値の1/2以上中央値未満」（周辺層）においても、苦しいが30.2%となっています。県より「中央値の1/2未満」の割合は低いものの、現在の暮らしの状況は世帯収入の低さやひとり親家庭などで苦しいと感じていることが伺えます。

収入が低いと低学歴、非正規雇用の割合が高い傾向は県全体と同様にみられます。

### ○子どもの学習状況や進路

学習状況については、概ね年収が低いほど学校以外での学習時間が少なくなり、成績や授業の理解度も低下傾向で、県調査でも同じような傾向がみられます。

進路状況については、「中央値の1/2未満」で「中学、高校」が多く、「中央値の1/2以上中央値未満」と「中央値以上」では「中学、高校（5年制の高専）、大学」が多くなっています。その理由としては、生活状況別に関係なく、「希望する学校や職業があるから」が最も多く、「自分の成績から考えて」と続いています。また、「中央値の1/2未満」では、「早く働く必要があるから」が「中央値以上」や「中央値の1/2以上中央値未満」より多くなっています。

保護者の回答をみると、ひとり親家庭や「中央値の1/2未満」では、「中学、高校」または「中学、高校、専門学校」が多くなっています。

### ○食事や就寝などの生活習慣について

食事の状況について、「中央値の1/2未満」で「中央値以上」や「中央値の1/2以上中央値未満」より「毎日食べる（週7日）」の割合が低くなっています。朝食と夏休み等期間の昼食については県調査と同様の傾向ですが、夕食については、本市では8割を超えているものの、「中央値以上」や「中央値の1/2以上中央値未満」より低くなっており、これは県調査とは異なる傾向です。

就寝時間（同じ時間に寝ているか）については、「そうである」のみをみると大きく差はないですが、「そうである」と「どちらかといえばそうである」を合わせてみると、「中央値の1/2未満」で「中央値以上」や「中央値の1/2以上中央値未満」より低くなっており、これについても県調査とは異なる傾向です。

### ○支援の利用について

各支援について、生活状況別で「利用したことがある」はいずれも1割を下回っています。県調査では「a）（自分や友人の家以外で）ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）」の割合がやや高くなっています。

利用希望については、「ア）子ども食堂など」と「イ）勉強を無料でみてくれる場所」を利用したいと思う割合は、「中央値の1/2未満」が最も高くなっています。また、「ウ）何でも相談できる場所」については、「中央値以上」が最も高くなっています。

## ○現在の暮らしと生活の満足度について

生活状況別でみると、年収が低いほど現在の暮らしの状況が「苦しい」「大変苦しい」と回答する割合が多くなっています。また、生活の満足度についても、年収が低いほど点数が低くなる傾向がみられます。

## ○保護者のこころの健康状況による影響

こころの健康状態が要注意（10 点以上）では、現在の暮らしの状況が「苦しい」「大変苦しい」が多いです。「中央値の1/2未満」のうち要注意（10 点以上）は県全体が33.8%と生活困窮層で高く、本市では39.2%と県調査よりも高くなっており、生活困窮層でこころの健康状況で注意が必要な状態の割合が高く、生活の質や満足度、生活への意欲やこどもとの関わり方等への影響が懸念されます。